

| 授 業 科 目 名 | 形態         | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員      |
|-----------|------------|----|----|-----|-----|----------|--------------|
| 文章表現      | 演習         | 2  | 必修 | 必修  | 必修  | 1年・前期    | 先川尚美<br>手塚早苗 |
| 科目コード     | HGAAB10001 |    |    |     |     |          | 担当形態：オムニバス   |

|            |  |
|------------|--|
| 科目に含める必要事項 |  |
|------------|--|

|             |  |
|-------------|--|
| 受講する上での注意事項 | 卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。<br>将来、保育士、幼稚園教諭や保育教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。 |
|-------------|--|

|                 |  |
|-----------------|--|
| 授 業 の 目 的 ・ 概 要 | <p>学生時代及び社会生活において、小論文やレポート、報告、伝達、記録等、自分の考えや、伝えるべき事柄の確かな文章によって表現することが求められる。授業では、基本的な日本語の表現技術、伝える力を身に付けることを目的とし、実践的な練習を通して、文の構造、分かりやすく明快な文章を書く技術や、ビジネス文書、手紙等の基本的な書き方を学ぶ。（先川）</p> <p>社会人になると、伝えたい情報、知識、自らの考え等を他者に正確にわかりやすく伝達するスキルが求められる。授業では、人前で話す際の心構え、準備、技術を、トレーニングを重ねることにより、「話す」「伝える」力の向上を目指す。（手塚）</p> |
|-----------------|--|

|      |  |
|------|--|
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 基本的な日本語の表現技術、伝える力を身に付ける。</li> <li>② 実践的な練習を通して文の構造、分かりやすく明快な文章、ビジネス文書、手紙等の基本的な書き方を学ぶ。</li> <li>③ 敬語表現を含めた心構え、分かりやすい文章力を身に付ける。</li> <li>④ 自己紹介による自己表現、これらのトレーニングを通して、よりよく「伝える」を考える。</li> </ol> |
|------|--|

|        |   |
|--------|---|
| 授業の進め方 | <p>様々な資料、例文等を題材に、日本語の文章表現を多角的に学ぶ。課題に則した文章を書くという実践を通し、文章表現力を養う。（先川）</p> <p>テキストプリントを配付し、発音・発声・読み方を実践中心に学ぶ。また、短いスピーチを考え、互いに発表し、聴き合うことでプレゼン技術の向上を目指す。自ら進んで発言・発表する姿勢を強く求める。（手塚）</p> |
|--------|---|

|  |   |
|--|---|
|  | <p>（先川）</p> <p>第 1 回 文章を書く目的<br/> 【学修内容】 思考を文章化することの意義、簡潔な表現（新聞の社説の内容を要約する）を理解する。<br/> 【事前学修】 保育に関連する新聞記事を探し、目を通しておく。（2時間）<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを整理し、内容要約に関する課題をまとめる。（2時間）</p> <p>第 2 回 文の構造<br/> 【学修内容】 文章における主語と述語の関係を学ぶ。<br/> 【事前学修】 前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間）<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間）</p> <p>第 3 回 敬語表現Ⅰ<br/> 【学修内容】 敬語の特徴、尊敬語と謙譲語を理解する。<br/> 【事前学修】 前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間）<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間）</p> <p>第 4 回 敬語表現Ⅱ<br/> 【学修内容】 丁寧語と美化語、敬意表現、敬語の誤った使い方を学ぶ。<br/> 【事前学修】 前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間）<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間）</p> <p>第 5 回 文章の書き方Ⅰ<br/> 【学修内容】 手紙、ビジネス文書の書き方（保護者宛の連絡文を作成する）を学ぶ。<br/> 【事前学修】 前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間）<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間）</p> <p>第 6 回 文章の書き方Ⅱ<br/> 【学修内容】 レポート、小論文の書き方を理解する。<br/> 【事前学修】 前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間）<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間）</p> <p>第 7 回 文章の書き方Ⅲ<br/> 【学修内容】 履歴書、エントリーシート、メールの書き方を理解する。<br/> 【事前学修】 前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間）<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間）</p> |
|--|---|

|                      |  |
|----------------------|--|
| 授 業 計 画              | <p>第 8 回            まとめ<br/> 【学修内容】 全回の授業内容を振り返る。要点を整理し、語彙に関する問題を解き学ぶ。<br/> 【事前学修】 これまでの配付資料すべてに目を通し、まとめ、ファイリングする。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを整理・確認し、まとめる。課題を解く。(2時間)</p> <p>(手塚)</p> <p>第 9 回            読む I<br/> 【学修内容】 その基礎－呼吸法、発音、アクセント他<br/> 【事前学修】 意識しよう！自分の声は相手に伝わっているだろうか？声はしっかり出ているか？発音は明瞭か？(1時間)<br/> 【事後学修】 発音発声を意識しよう。(2時間)</p> <p>第10回            読む II<br/> 【学修内容】 その実践－聞き手に、わかりやすく読む<br/> 【事前学修】 配付されたテキストプリントに目を通し授業に備えよう。(1時間)<br/> 【事後学修】 講義の復習。絵本を選ぶ。(3時間)</p> <p>第11回            絵本の読み聞かせ<br/> 【学修内容】 グループで絵本を読み合う<br/> 【事前学修】 読み聞かせの練習しよう。声に出して、聴き手を意識して練習しよう。(2時間)<br/> 【事後学修】 提出プリントをまとめる。いろいろな絵本を読もう。(3時間)</p> <p>第12回            話す I<br/> 【学修内容】 その基礎－一人前に立って話す<br/> 【事前学修】 人前で話す時に大事なことは何か考えてみよう。(1時間)<br/> 【事後学修】 講義の復習とプレゼン発表の準備。(2時間)</p> <p>第13回            話す II<br/> 【学修内容】 その基礎－場面に応じた話し方<br/> 【事前学修】 目上の人との会話で気を付けていること、コミュニケーションを取る上で大切な事は何か考えよう。(1時間)<br/> 【事後学修】 プレゼンの準備。(4時間)</p> <p>第14回            話す III<br/> 【学修内容】 プレゼンテーションの実践<br/> 【事前学修】 プレゼンテーションの内容を吟味し、練習しよう。(3時間)<br/> 【事後学修】 提出レポートのまとめ。(1時間)</p> <p>第15回            まとめ<br/> 【学修内容】 人前で話す時に大切なポイントを考える。オンラインでのコミュニケーションを考える。<br/> 【事前学修】 履修した内容の疑問点等を整理し授業に臨もう。(3時間)<br/> 【事後学修】 提出レポートのまとめ。(1時間)</p> |
| 評 価 方 法              | 筆記試験(90%)、平常点(10%)、提出レポート、平素の受講態度等を加味する。(先川)<br>提出物(提出状況・内容充実度)(100%)、平素の受講態度を加味する。(手塚)  |
| 教 科 書                | 使用しない。<br>授業プリントを配付する。   |
| 参 考 書 等<br>参 考 資 料 等 | 適宜紹介する。  |
| 備 考                  | 提出物の期限厳守。  |

| 授 業 科 目 名   | 形態   | 単位         | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|-------------|--|------------|----|-----|-----|----------|---------|
| 心理学の世界      | 講義   | 2          | 選択 | 選択  | 選択  | 1年・前期    | 田 鍋 佳 子 |
| 科目コード       | HgaaA10002   |            |    |     |     |          | 担当形態：単独 |
|             |  | 科目に含める必要事項 |    |     |     |          |         |
| 受講する上での注意事項 | 保育関係の仕事に限らず、広く活用できるよう、楽しみながら積極的に受講すること。  |            |    |     |     |          |         |
| 授業の目的・概要    | <p>① 現代社会に生きるため、自分や周りの人間の理解と関係の維持、又は、専門分野の仕事に心理学の知識が参考になると考える。本講義は、人間の心と行動を理解しようとして、欧米で発達し展開されてきた学問を紹介することが主の目的である。</p> <p>② 講義は具体的に次の3つの内容で構成される。(1)心理学の概念・用語(2)個人の心的過程(3)個人と集団とのかわり これらを中心とし、授業を聴きながらこれらについてノートを取ることが学修にとって重要である。</p>  |            |    |     |     |          |         |
| 到達目標        | 人の基本的認知能力について概観し、個人と個人ないし社会と個人の関係において生じる心理的事象について考察する。その上で、私たち自身が実際に組織や広く社会の中で、よりよいパフォーマンスを生み出すためにはどうしたらよいかを考え、実践へとつなげていく。   |            |    |     |     |          |         |
| 授業の進め方      | 授業は、配付資料に基づき行う。<br>毎時間、講義内容に関連した課題を課す。   |            |    |     |     |          |         |
|             | <p>第 1 回 心理学的発想と心理検査法<br/>【学修内容】 様々な心理検査手法を学び、“心理学的に考える”とはどういうことかを理解する。<br/>【事前学修】 自分の体験を振り返りつつ「心理学」とは何か、自分なりの意見をまとめておく。(1.5時間)<br/>【事後学修】 授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。(2.5時間)</p> <p>第 2 回 感覚・知覚・認知<br/>【学修内容】 人間の基本的な感覚・知覚・認知機能について概観する。<br/>【事前学修】 普段我々が外界の情報をどのように処理しているか、振り返り自分なりにまとめておく。(1.5時間)<br/>【事後学修】 授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。(2.5時間)</p> <p>第 3 回 記憶のメカニズム(1)<br/>【学修内容】 記憶の種類と基本的なメカニズムを理解する。<br/>【事前学修】 自分なりの「記憶する」時の習慣や特徴について、振り返ってまとめておく。(1.5時間)<br/>【事後学修】 授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。(2.5時間)</p> <p>第 4 回 記憶のメカニズム(2)<br/>【学修内容】 記憶のバイアス・誤りについて理解し、司法面接法を学ぶ。<br/>【事前学修】 うまく思い出せない／記憶が間違っていたなどの自分自身の具体的な体験をまとめておく。(1.5時間)<br/>【事後学修】 授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。(2.5時間)</p> <p>第 5 回 対人スキル<br/>【学修内容】 コミュニケーションにおいて必要な対人スキルを学ぶ。<br/>【事前学修】 他者と上手くいった／いかなかった体験などを振り返り、そのプロセスをまとめておく。(1.5時間)<br/>【事後学修】 授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。(2.5時間)</p> <p>第 6 回 ストレスとコーピング<br/>【学修内容】 ストレスの仕組みを知り、疾病との関連を理解し、対処方法を考える。<br/>【事前学修】 自分でストレスだと感じることや自分なりの対処方法について、振り返ってまとめておく。(1.5時間)<br/>【事後学修】 授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。(2.5時間)</p> <p>第 7 回 言語と発達<br/>【学修内容】 新生児の言語発達段階を学び、その諸問題やその後の発達について理解する。<br/>【事前学修】 自分自身の乳幼児期の言葉に関するエピソードを養育者から聞き取りまとめておく。(1.5時間)<br/>【事後学修】 授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。(2.5時間)</p> |            |    |     |     |          |         |

|                    |  |
|--------------------|--|
| 授 業 計 画            | <p>第 8 回 自己理解の心理過程<br/> 【学修内容】 自己概念の種類と形成過程について学ぶ。<br/> 【事前学修】 自分自身をどのように捉えているか、改めて見つめ直してまとめておく。(1.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。(2.5時間)</p> <p>第 9 回 他者理解の心理過程<br/> 【学修内容】 他者を理解する際に陥りやすい認知バイアスについて学ぶ。<br/> 【事前学修】 普段、他者を理解する際にどのような点に気をつけているか、振り返ってまとめておく。(1.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。(2.5時間)</p> <p>第 10 回 説得的コミュニケーション(1)<br/> 【学修内容】 説得に利用される心理メカニズムについて学ぶ。<br/> 【事前学修】 普段他者を説得するときどのような点に気をつけているか、振り返ってまとめておく。(1.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。(2.5時間)</p> <p>第 11 回 説得的コミュニケーション(2)<br/> 【学修内容】 具体的な説得テクニックと騙されないための予防策を学ぶ。<br/> 【事前学修】 他者から意図せぬ説得を受けた体験を思い出し、具体的エピソードをまとめておく。(1.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。(2.5時間)</p> <p>第 12 回 集団意思決定(1)<br/> 【学修内容】 集団で議論する際に陥りやすい問題点について学ぶ。<br/> 【事前学修】 集団で議論した実際の場面を思い出し、そのプロセスや特徴についてまとめておく。(1.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。(2.5時間)</p> <p>第 13 回 集団意思決定(2)<br/> 【学修内容】 よりよい意思決定に至るための集団技法を学ぶ。<br/> 【事前学修】 前回の講義で学んだ集団意思決定の落とし穴に相当する体験を思い出してまとめておく。(1.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。(2.5時間)</p> <p>第 14 回 非対面コミュニケーション<br/> 【学修内容】 非対面状況でのコミュニケーションの利便性と危険性、デマ・流言に影響を受けるプロセスについて学ぶ。<br/> 【事前学修】 インターネットを利用する中で経験した様々な諸問題をまとめておく。(1.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。(2.5時間)</p> <p>第 15 回 まとめ<br/> 【学修内容】 半期間の講義内容を総括し、今後の生活にどのように活かすか議論する。<br/> 【事前学修】 半期間の講義を振り返り、自分自身の生活との関わりについて考える。(1.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。(2.5時間)</p> |
| 評 価 方 法            | 課題(提出状況・内容充実度)(100%)   |
| 教 科 書              | 使用しない。資料を授業時に配付する。   |
| 参 考 書 等<br>参 考 資 料 | 適宜紹介する。  |
| 備 考                | 特に記載事項なし。  |

| 授 業 科 目 名 | 形態         | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員        |
|-----------|------------|----|----|-----|-----|----------|----------------|
| 国際文化      | 講義         | 2  | 選択 | /   | /   | 1年・後期    | 南部ユンクィアンしず子 ほか |
| 科目コード     | HgZZA10004 |    |    |     |     |          | 担当形態：オムニバス     |

|            |  |
|------------|--|
| 科目に含める必要事項 |  |
|            |  |

|             |                                     |
|-------------|-------------------------------------|
| 受講する上での注意事項 | 国際社会へ広く目を向けて、楽しみながら積極的かつ主体的に受講すること。 |
|-------------|-------------------------------------|

|                 |   |
|-----------------|---|
| 授 業 の 目 的 ・ 概 要 | <p>国際文化とは、世界の国々に目を向け、その国の歴史、自然、経済、教育等について学びながら、各国の現在の状況を把握し、それを根拠として成り立つ文化を理解することである。</p> <p>他国の文化への理解を深め、柔軟な発想で社会の諸問題に対応できる洞察力や問題解決能力を養うとともに、改めて日本の文化を敬愛する心を育てる。</p> |
|-----------------|---|

|         |  |
|---------|--|
| 到 達 目 標 | <p>① 世界の国々に目を向け、文化や歴史について理解を深め、国際交流の視点から考察する。</p> <p>② 世界各国の異文化とのかかわりについて相互理解する。</p> |
|---------|--|

|             |  |
|-------------|--|
| 授 業 の 進 め 方 | 本講義では、ビデオやスライド、外国人講師による授業も含めながら、各国の文化を肌で感じられる講義を通して理解を深める。 |
|-------------|--|

|        |   |
|--------|---|
| 第 1 回  | 国際文化の概論、ヨーロッパの文化 I                          |
| 【学修内容】 | シラバスに沿って授業の概要を説明し、ヨーロッパの文化について理解を深める。       |
| 【事前学修】 | 事前にシラバスに目を通し、授業の主旨について確認する。(2時間)            |
| 【事後学修】 | 授業内で配付した資料等を参照し、ヨーロッパの文化について学修内容をまとめる。(2時間) |
| 第 2 回  | ヨーロッパの文化 II                                 |
| 【学修内容】 | 第1回目の授業内容に引き続き、ヨーロッパの文化について理解を深める。          |
| 【事前学修】 | 前回の授業内容を振り返り、ヨーロッパの国々の文化や歴史について調べる(2時間)     |
| 【事後学修】 | 授業内で配付した資料等を参照し、ヨーロッパの文化について学修内容をまとめる。(2時間) |
| 第 3 回  | ヨーロッパの文化 III                                |
| 【学修内容】 | 第1回、第2回の授業内容に引き続き、ヨーロッパの文化について理解を深める。       |
| 【事前学修】 | 前回の授業内容を振り返り、ヨーロッパの国々の文化や歴史について調べる。(2時間)    |
| 【事後学修】 | 授業内で配付した資料等を参照し、ヨーロッパの文化について学修内容をまとめる。(2時間) |
| 第 4 回  | 日本の文化 I                                     |
| 【学修内容】 | 年中行事と行事食                                    |
| 【事前学修】 | 日本の年中行事にはどのようなものがあるか、また食とのつながりについて調べる。(2時間) |
| 【事後学修】 | 授業で学んだ年中行事の中で特に興味を持ったものについてさらに調べる。(2時間)     |
| 第 5 回  | 日本の文化 II                                    |
| 【学修内容】 | 日本茶の基礎知識：歴史と伝来                              |
| 【事前学修】 | 日本茶のルーツや世界の茶事情を調べる。(2時間)                    |
| 【事後学修】 | 伝来した茶がその後どのように普及していったかを調べる。(2時間)            |
| 第 6 回  | 日本の文化 III                                   |
| 【学修内容】 | 日本茶の基礎知識：正しい茶の淹れ方                           |
| 【事前学修】 | 日本の主な茶の生産地について調べる。(2時間)                     |
| 【事後学修】 | 実際に入れてみた経験をもとに、それぞれの茶の特徴をまとめる。(2時間)         |
| 第 7 回  | 日本の文化 IV                                    |
| 【学修内容】 | 郷土料理と伝統・地域野菜                                |
| 【事前学修】 | 日本の郷土料理について、どのようなものがあるか調べておく。(2時間)          |
| 【事後学修】 | 自分の出身地の郷土料理や特徴ある野菜について調べ理解を深める。(2時間)        |

|                      |   |
|----------------------|---|
| 授 業 計 画              | <p>第 8 回 アメリカの文化 I<br/> 【学修内容】 概要、歴史、選挙制度について学ぶ。<br/> 【事前学修】 アメリカ合衆国について、地理・歴史など基本情報を調べ確認する。(2時間)<br/> 【事後学修】 配付資料を確認し、地理、歴史、選挙制度について学んだことを復習する。(2時間)</p> <p>第 9 回 アメリカの文化 II<br/> 【学修内容】 人々の暮らしについて学ぶ。<br/> 【事前学修】 現代のアメリカ合衆国に関するニュースなどを調べ情報収集する。(2時間)<br/> 【事後学修】 配付資料を確認し、アメリカの人々の暮らしについて学んだことを復習する。(2時間)</p> <p>第 10 回 イスラムの文化 I<br/> 【学修内容】 イスラム圏の人々と宗教、美術、食文化について学ぶ。<br/> 【事前学修】 イスラム教の国々について新聞記事やニュースなどから情報収集する。(2時間)<br/> 【事後学修】 配付資料を確認し、イスラム圏の人々の暮らしについて学んだことをまとめる。(2時間)</p> <p>第 11 回 イスラムの文化 II<br/> 【学修内容】 エジプトの歴史、食文化について学ぶ。<br/> 【事前学修】 前回資料からイスラム圏の文化を再確認し、エジプトの基本情報を調べる。(2時間)<br/> 【事後学修】 配付資料を確認し、エジプトの歴史や人々の暮らしについて学んだことを復習する。(2時間)</p> <p>第 12 回 アジアの文化 I<br/> 【学修内容】 台湾の歴史をオランダ人、明、清、日本と蒋介石の統治を経て今日までの概略を理解する。<br/> 【事前学修】 台湾に関する書籍やインターネットの情報に目を通し、日本との関係を考え討論する。(2時間)<br/> 【事後学修】 講義の資料について更に調べ理解を深める。(2時間)</p> <p>第 13 回 アジアの文化 II<br/> 【学修内容】 今日の台湾の日常生活(特に食、住や音楽)を紹介し認識してもらう。<br/> 【事前学修】 台湾に関する書籍やインターネットの情報に目を通し、授業で学んだ事を振り返り討論する。(2時間)<br/> 【事後学修】 講義の資料について更に調べ理解を深める。(2時間)</p> <p>第 14 回 アジアの文化 III<br/> 【学修内容】 韓国の食文化：年中行事、食文化<br/> 【事前学修】 韓国・韓国文化について調べておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 講義で学んだ内容を復習し、感想や疑問点を書く。(2時間)</p> <p>第 15 回 アジアの文化 IV<br/> 【学修内容】 韓国の大衆文化：韓国ドラマ、K-POP<br/> 【事前学修】 事前に予告した内容について自分で調べる。(2時間)<br/> 【事後学修】 講義で学んだ内容を復習し、感想を書く。(2時間)</p> |
| 評 価 方 法              | 課題(提出状況・内容充実度)(100%)、平常点や受講態度など総合的に評価する。  |
| 教 科 書                | 使用しない。  |
| 参 考 書 等<br>参 考 資 料 等 | 適宜紹介する。   |
| 備 考                  | 提出物の期限厳守。   |

| 授 業 科 目 名   | 形態  | 単位   | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員        |
|-------------|---|--|----|-----|-----|----------|----------------|
| 情報処理        | 演習  | 2  | 必修 | 必修  | 必修  | 1年・後期    | 中山 理智恵         |
| 科目コード       | HGAAB10006  |  |    |     |     |          | 担当形態：単独        |
| 科目に含める必要事項  |   |  |    |     |     |          |                |
| 受講する上での注意事項 | 卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。<br>将来、保育士、幼稚園教諭や保育教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。  |  |    |     |     |          |                |
| 授 業 的 意 図   | 世の中のあらゆるところで情報通信技術が使われている現代において、コンピュータやネットワークは、必要不可欠なものとなり、安全かつ有益に使いこなすことの重要性が高まっている。<br>この講義では、情報処理の基礎知識として、コンピュータの基本構成やオフィスツールの操作方法について学び、最終的には、実践的な側面からも完成度の高いドキュメントやプレゼン資料を作成できるテクニックと情報セキュリティなどを含めた幅広い知識を修得する。<br>進化する情報社会の中でICTの適切な利活用の仕方を探求し、履修や就職後のICT利活用の為に実用的な知識と操作能力を会得することを目的とする。 |  |    |     |     |          |                |
| 到達目標        | ① 基礎知識をしっかりとマスターし、オフィスツールの様々な機能を駆使した課題を効率良く作成できるようにする。<br>② 個々の基本的資質を高め、この授業をきっかけとして学んだことを保育の現場でも実践できる能力を養う。  |  |    |     |     |          |                |
| 授業の進め方      | アプリケーションごとに操作技法を解説し、操作上の疑問点はその都度対応していく。<br>各回で説明した内容に対応した演習問題と指定課題を出題して修得状況を確認し、その後の授業内容を工夫しながら進めていく。また、アプリケーションごとに作成した操作ガイドを参考資料として授業内で配布するので課題作成時に活用してもらう。<br>演習問題と指定課題については、授業内で解説する。  |  |    |     |     |          |                |
|             | 第 1 回   | ガイダンス（授業の進め方・留意事項）、PC 基本操作について解説<br>【学修内容】<br>PC起動時に必要なパスワードの設定と授業で使用するフォルダについて解説する。<br>【事前学修】<br>PCキーボードの入力に不慣れな場合は、入力練習をしておく。<br>【事後学修】<br>授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。                   |    |     |     |          | (2時間)<br>(2時間) |
|             | 第 2 回   | Word による文書作成Ⅰ：文字書式・段落書式の設定、罫線作成<br>【学修内容】<br>配布する操作ガイドと例題を使い、Wordの様々な書式設定について解説する。<br>【事前学修】<br>PCキーボードの入力に不慣れな場合は、入力練習をしておく。<br>【事後学修】<br>授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。                     |    |     |     |          | (2時間)<br>(2時間) |
|             | 第 3 回   | Word による文書作成Ⅱ：インデント・タブの設定、段組み設定<br>【学修内容】<br>例題を使い「インデントとタブ設定」「段組み」について解説する。<br>【事前学修】<br>操作ガイドの「インデントとタブ設定」「段組み」の項目について目を通しておく。<br>【事後学修】<br>授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。                  |    |     |     |          | (2時間)<br>(2時間) |
|             | 第 4 回   | Word による文書作成Ⅲ：ページレイアウトの設定、差し込み印刷<br>【学修内容】<br>ExcelデータをWordファイルへリンクして印刷する方法とレイアウト設定について解説する。<br>【事前学修】<br>操作ガイドの「ページレイアウトの設定」「差し込み印刷」について目を通しておく。<br>【事後学修】<br>授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。 |    |     |     |          | (2時間)<br>(2時間) |
|             | 第 5 回   | Word による文書作成Ⅳ：SmartArtの作成、図形の作成、図の挿入<br>【学修内容】<br>図形作成のポイントと画像と文章のレイアウトについて解説する。<br>【事前学修】<br>操作ガイドの「Smartart」「図の挿入」の項目について目を通しておく。<br>【事後学修】<br>授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。               |    |     |     |          | (2時間)<br>(2時間) |
|             | 第 6 回   | Word による文書作成Ⅴ：目次と表紙の設定、ページ番号の設定<br>【学修内容】<br>長文作成時に利用する「目次と表紙」「ページ番号」の設定について解説する。<br>【事前学修】<br>操作ガイドの「目次と表紙」「ページ番号」の設定について目を通しておく。<br>【事後学修】<br>授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。                |    |     |     |          | (2時間)<br>(2時間) |
|             | 第 7 回   | Word による課題作成：（園だより）<br>【学修内容】<br>授業で解説した操作を利用して「園だより」を作成する。<br>【事前学修】<br>授業で行った内容を操作ガイドを用いて復習しておく。<br>【事後学修】<br>課題作成時に困惑した点や操作についての解決策をまとめておく。   |    |     |     |          | (2時間)<br>(2時間) |

|                    |  |  |       |
|--------------------|--|--|-------|
| 授 業 計 画            | 第 8 回  | Word による課題作成：（クラスだより）                    |       |
|                    | 【学修内容】   | 授業で解説した操作を利用して「クラスだより」を作成する。             |       |
|                    | 【事前学修】   | 授業で行った内容を操作ガイドを用いて復習しておく。                | (2時間) |
|                    | 【事後学修】   | 課題作成時に困惑した点や操作についての解決策をまとめておく。           | (2時間) |
|                    | 第 9 回  | Excelによるデータ処理Ⅰ：効率的なデータ入力と表作成             |       |
|                    | 【学修内容】   | Excelの基本操作と「データの入力規則」を利用したデータ作成について解説する。 |       |
|                    | 【事前学修】   | Excelを利用するとどのようなことができるかを考えてみる。           | (2時間) |
|                    | 【事後学修】   | 授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。            | (2時間) |
|                    | 第 10 回   | Excelによるデータ処理Ⅱ：四則演算と関数を利用した計算、グラフの作成     |       |
|                    | 【学修内容】   | 例題を元に、計算式の作成とさまざまな関数の使い方を解説する。           |       |
|                    | 【事前学修】   | 配布する操作ガイドに目を通してExcelの機能について確認しておく。       | (2時間) |
|                    | 【事後学修】   | 授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。            | (2時間) |
|                    | 第 11 回   | Excelによるデータ処理Ⅲ：データベース機能を利用した名簿作成         |       |
|                    | 【学修内容】   | 作成したデータを活かすためのデータベース機能とフラッシュ機能について解説する。  |       |
|                    | 【事前学修】   | 操作ガイドの「データベース機能」について目を通しておく。             | (2時間) |
| 【事後学修】             | 授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。  | (2時間)                                    |       |
| 第 12 回             | Excelによる課題作成   |  |       |
| 【学修内容】             | 授業で解説したExcelの操作を利用して課題を作成する。   |  |       |
| 【事前学修】             | 授業で行った内容を操作ガイドを用いて復習しておく。  | (2時間)                                    |       |
| 【事後学修】             | 課題作成時に困惑した点や操作についての解決策をまとめておく。   | (2時間)                                    |       |
| 第 13 回             | PowerPointによるプレゼンテーション資料作成Ⅰ：基本操作   |  |       |
| 【学修内容】             | スライドの作成と編集、ファイル保存までの操作を解説する。   |  |       |
| 【事前学修】             | どの様な場面でPowerPointを活用できるかを考えてみる。  | (2時間)                                    |       |
| 【事後学修】             | 授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。  | (2時間)                                    |       |
| 第 14 回             | PowerPointによるプレゼンテーション資料作成Ⅱ：応用操作   |  |       |
| 【学修内容】             | プレゼンテーション時に利用できる操作とポイントを解説する。  |  |       |
| 【事前学修】             | プレゼン資料を作成するために必要な基本操作を復習しておく。  | (2時間)                                    |       |
| 【事後学修】             | 授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。  | (2時間)                                    |       |
| 第 15 回             | 総括：Word・Excel・PowerPointを利用した横断的な活用方法  |  |       |
| 【学修内容】             | アプリケーション間のデータリンクを含めた総合的な解説と各自のフォルダを整理する。   |  |       |
| 【事前学修】             | 授業で学んだことを復習し、不明な点や質問を整理しておく。   | (2時間)                                    |       |
| 【事後学修】             | 授業で行った操作を振り返り、活用できるようにポイントをノートに整理しておく。   | (2時間)                                    |       |
| 評 価 方 法            | 演習問題と指定課題の提出（80％）、平常点（20％）平素の受講態度などを加味する。  |  |       |
| 教 科 書              | 使用しない。   |  |       |
| 参 考 書<br>参 考 資 料 等 | アプリケーションごとに作成した独自の操作ガイド（プリント）を授業内で配付する。<br>それ以外の参考資料は授業内で説明する。   |  |       |
| 備 考                | <ul style="list-style-type: none"> <li>指定する提出物については、授業内で口頭や紙面にて提示するので休まず出席すること。</li> <li>指定課題は、成績評価と修得状況を把握する上で重視するので提出期日を守り忘れずに提出すること。</li> </ul> |  |       |



| 授 業 科 目 名    | 形態   | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員    |
|--------------|--|----|----|-----|-----|----------|------------|
| 芸術鑑賞・教養講座Ⅰ   | 演習   | 1  | 必修 |     |     | 1年・通年    | 保育科教員 ほか   |
| 科目コード        | HGZZB10007   |    |    |     |     |          | 担当形態：オムニバス |
| 科目に含める必要事項   |  |    |    |     |     |          |            |
| 受講する上での注意事項  | 卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。<br>本学キャンパスで行われる特別授業・講演や学外での芸術鑑賞・特別講座等を含むため各自開講日時を確認して受講すること。  |    |    |     |     |          |            |
| 授業の目的・概要     | 美術や音楽等の芸術を鑑賞し知性や感性を磨く。また、社会で求められるマナーや知識を身に付け、常識や教養を高める。<br>芸術鑑賞（美術館やコンサートホール等で実際に鑑賞する。）<br>教養講座（時代の流れに即した内容をテーマにした講演会を受講する。）<br>特別授業（外部講師による特別に開講される授業を受講する。）<br>マナー講座（社会で求められているマナーに関する授業を受講する。）  |    |    |     |     |          |            |
| 到達目標         | ① 美術や音楽等の芸術を鑑賞し、知性や感性を磨き、豊かな教養を身に付ける。<br>② 社会で求められているマナーや知識を身に付け、女性としての常識や教養を身に付ける。  |    |    |     |     |          |            |
| 授業の進め方       | 各回のテーマに添った講演・講座の受講、美術・音楽等の鑑賞をする。<br>レポート・ワークシートを作成する。  |    |    |     |     |          |            |
| 授業計画         | 第 1 回                    オリエンテーション<br>【学修内容】            授業概要の説明、レポートの書き方<br>【事前学修】            シラバスに目を通しておく。（0.5時間）<br>【事後学修】            レポートの書き方を復習する。（0.5時間）<br>第 2 回～第14回        芸術鑑賞、教養講座、特別授業、マナー講座等<br>【学修内容】            実際に美術館やコンサートホールに赴き、美術や音楽等の芸術鑑賞を行い知性や感性を磨く。時代の流れに即した内容をテーマにした講演会を受講し、教養を身につける。外部講師による特別に開講される授業を受講し、見識を深める。社会で求められているマナーに関する授業を受講し、社会人としての知識や技術を身に付ける。<br>※具体的な内容については、その都度授業前に公示する。<br>【事前学修】            公示されたテーマについて事前に文献やインターネット等を活用し調べる。（授業1回につき0.5時間）<br>【事後学修】            学修内容について振り返り、感想や興味を持った事柄について考察しレポート等にまとめる。（授業1回につき0.5時間）<br>第15 回                    まとめ<br>【学修内容】            本科目で学んだことを振り返る。<br>【事前学修】            これまでの授業を振り返る。（0.5時間）<br>【事後学修】            学修内容、感想等をレポートにまとめる。（0.5時間） |    |    |     |     |          |            |
| 評価方法         | レポート等（50%）、平常点（50%）平素の受講態度等を加味する。  |    |    |     |     |          |            |
| 教科書          | 使用しない。   |    |    |     |     |          |            |
| 参考書<br>参考資料等 | 適宜紹介する。  |    |    |     |     |          |            |
| 備考           | 提出物の期限厳守。  |    |    |     |     |          |            |

| 授 業 科 目 名 | 形態         | 単位 | 卒業             | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|-----------|------------|----|----------------|-----|-----|----------|---------|
| 英語Ⅰ       | 演習         | 2  | 必修             | 必修  | 必修  | 1年・前期    | 盛 合 直 人 |
| 科目コード     | HGAAB10009 |    | フランス語Ⅰとどちらかを必修 |     |     |          | 担当形態：単独 |

|            |  |  |  |  |  |  |  |
|------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 科目に含める必要事項 |  |  |  |  |  |  |  |
|------------|--|--|--|--|--|--|--|

|             |  |
|-------------|--|
| 受講する上での注意事項 | 卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。英語Ⅰを履修しなければ、英語Ⅱ・英語Ⅲの科目選択はできない。また、英語Ⅰからフランス語Ⅱへの履修はできない。 |
|-------------|--|

|                 |  |
|-----------------|--|
| 授 業 の 目 的 ・ 概 要 | <p><b>目的</b><br/>グローバル化を見据えた「使える英語」の学校教育を目指し、日本の英語教育開始年齢は年々早期化している。2018年～2020年にかけて小・中・高の英語教育が変化の時代に突入する。帰国子女や、海外生活経験のある保護者が近年増加傾向にあり、未就学児の保育現場においても、英語に関連した活動を導入するところが増えている。</p> <p>本授業では、保育士・幼稚園教諭としてこれから関わってゆく幼児たちに「英語は楽しい！」という印象を与え、「もっとできるようになりたい！」という興味や意欲をもたせられるようになるための基礎を作ることを目的とする。</p> <p><b>授業概要</b></p> <p>① 苦手意識を作らないための心構え・土台となる理念を学び、実践的ノウハウ、歌やゲーム等、現場に合わせて応用できる具体的なアイデアを修得する。</p> <p>② 保育・幼児教育の場は常にチームワークが求められるので、本授業も2人ペア、あるいは少人数のグループに分かれ協力し合って一つの課題に取り組む練習を多く取り入れる。毎時間ポートフォリオを提出する。</p> |
|-----------------|--|

|         |   |
|---------|---|
| 到 達 目 標 | 学期終了時には学生自身が「英語は楽しい!」「もっとできるようになりたい!」と思えるようになっていくこと、また、「学んだことを子どもたちにも教えてあげたい!」という熱意を持って、将来携わる幼児教育・保育で活かせるようになることを目標とする。 |
|---------|---|

|             |  |
|-------------|--|
| 授 業 の 進 め 方 | 各回ごとに修得目標を設定し、それに合わせた書き込み式のプリント（ポートフォリオ）を使用。学んだことをその場で実践する形式をとる。レベル、修得状況に応じて進めていく。発表やレポート提出など適宜実施する。 |
|-------------|--|

|        |  |
|--------|--|
| 第 1 回  | 英語基礎知識の確認 / オリエンテーション（受講心得、持参するもの等）      |
| 【学修内容】 | 基礎力確認テストを実施。シラバスに沿って授業概要、主旨、評価方法の説明をする。  |
| 【事前学修】 | 授業前にシラバスに目を通しておく。（2時間）                   |
| 【事後学修】 | シラバスで説明されたことを確認する。基礎力確認テストの内容を復習する。（2時間） |
| 第 2 回  | 毎回のルーティン（あいさつ、天気、曜日、日付） / 自己紹介をする        |
| 【学修内容】 | 挨拶、天気、曜日、日付の表現を学ぶ。自己紹介の英文作成をする。          |
| 【事前学修】 | 自己紹介のための要点をまとめ、文章を事前に作成する。（2時間）          |
| 【事後学修】 | 自己紹介で伝えるべきポイントを整理し、伝わりやすい表現を確認する。（2時間）   |
| 第 3 回  | 英語の音を楽しむ                                 |
| 【学修内容】 | （発音の基礎、基本の単語練習、インターネットの活用法）              |
| 【事前学修】 | アルファベットの基本と発音を理解する。インターネットの活用を考える。（2時間）  |
| 【事後学修】 | 単語による発音の変化などについて確認する。（2時間）               |
| 第 4 回  | 英語で指示出し                                  |
| 【学修内容】 | （コツとポイント、実演）（英語話者の体験談）                   |
| 【事前学修】 | 分かり易い英語での指示出しと、表現について調べる。（2時間）           |
| 【事後学修】 | 年齢の違いによる理解度や、体の動きの違いを復習しておく。（2時間）        |
| 第 5 回  | 絵本の読み聞かせ①                                |
| 【学修内容】 | 準備、下調べのポイント（外国の絵本や布絵本についても学ぶ）            |
| 【事前学修】 | 読み聞かせに使用する英語の絵本にはどのようなものがあるか調べる。（2時間）    |
| 【事後学修】 | 選んだ絵本の対象年齢や、読み方のポイントをおさらいする。（2時間）        |
| 第 6 回  | 絵本の読み聞かせ②                                |
| 【学修内容】 | 実演とフィードバック                               |
| 【事前学修】 | 事前に読む練習をし、発声のポイントを確認する。（2時間）             |
| 【事後学修】 | 自分の読みだけでなく、他の学生の取り組みを考察する。（2時間）          |
| 第 7 回  | 絵本の読み聞かせ③                                |
| 【学修内容】 | ストーリータイムをプランニング                          |
| 【事前学修】 | 選択した絵本のターゲット年齢や、内容を確認する。（2時間）            |
| 【事後学修】 | 自分の読みだけでなく、他の学生の取り組みを考察する。（2時間）          |

|                      |   |
|----------------------|---|
| 授 業 計 画              | <p>第 8 回 英語の歌①<br/> 【学修内容】 準備の仕方、インターネットの活用法<br/> 【事前学修】 幼児向けの英語の歌について調べる。(2時間)<br/> 【事後学修】 対象年齢による歌の違いを考察しておく。(2時間)</p> <p>第 9 回 英語の歌②<br/> 【学修内容】 自分で振り付け、リードする<br/> 【事前学修】 歌に合わせた振り付けを考える。(2時間)<br/> 【事後学修】 実演を通して、指示出しの英語も確認する。(2時間)</p> <p>第10 回 英語のゲーム①<br/> 【学修内容】 広い場所での体を動かすゲーム、狭い場所を活用したゲーム (flashcard) など<br/> 【事前学修】 日本と共通する遊びやゲームを調べる。(2時間)<br/> 【事後学修】 英語で行うゲームや知的ゲームの理解を深める。(2時間)</p> <p>第 11 回 英語のゲーム②<br/> 【学修内容】 ゲームタイムをプランニングしてみよう<br/> 【事前学修】 園児を対象にした英語でのゲームプランを考える。(2時間)<br/> 【事後学修】 実演したゲームを振り返り、改善点を考察する。(2時間)</p> <p>第12 回 英語で伝える<br/> 【学修内容】 (コミュニケーションのコツとポイント) (ケガや病気の表現を学ぶ)<br/> 【事前学修】 ケガや病気の英語表現を調べる。(2時間)<br/> 【事後学修】 子どもだけでなく、大人にも英語で伝える方法を復習する。(2時間)</p> <p>第13 回 乳幼児の世話をするうえで、知っておくべき英語表現を学ぶ<br/> 【学修内容】 乳幼児に関わる英単語などを学ぶ。<br/> 【事前学修】 乳幼児に関連する英単語を調べる。(2時間)<br/> 【事後学修】 英語圏でも異なる表現があることを復習する。(2時間)</p> <p>第14 回 幼児向け英語レッスンをプランニング(パペットの活用)<br/> 【学修内容】 乳児に向けた英語のレッスンを学ぶ。パペットの活用法を学ぶ。<br/> 【事前学修】 低年齢の子どもが学ぶ英単語や表現を調べる。(2時間)<br/> 【事後学修】 年齢別に使える英単語や表現の違いがあることを復習する。(2時間)</p> <p>第15 回 総まとめ<br/> 【学修内容】 1回目からの総まとめ<br/> 【事前学修】 英語を用いた意思伝達について、振り返っておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 既習事項を振り返り、英語の活用について学んだ内容を復習しておく。(2時間)</p> |
| 評 価 方 法              | ポートフォリオ・check & quiz (50%)、レポート (25%)、発表 (25%) などを総合的に評価する。   |
| 教 科 書                | 使用しない。<br>授業プリントを配付する。  |
| 参 考 書 等<br>参 考 資 料 等 | 保育所保育指針 (厚生労働省編、フレーベル館)<br>幼稚園教育要領 (文部科学省編、フレーベル館)<br>幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館)  |
| 備 考                  | 特に記載事項なし。   |

| 授 業 科 目 名 |            | 形態 | 単位 | 卒業          | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員   |
|-----------|------------|----|----|-------------|-----|-----|----------|-----------|
| フランス語Ⅰ    |            | 演習 | 2  | 必修          | 必修  | 必修  | 1年・前期    | マリオン・ヴェガス |
| 科目コード     | HGAAB10010 |    |    | 英語Ⅰとどちらかを必修 |     |     |          | 担当形態：単独   |

|            |  |
|------------|--|
| 科目に含める必要事項 |  |
|------------|--|

|             |   |
|-------------|---|
| 受講する上での注意事項 | 卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。フランス語Ⅰを履修しなければフランス語Ⅱの科目選択はできない。また、フランス語Ⅰから英語Ⅱへの履修はできない。 |
|-------------|---|

|                 |                                  |
|-----------------|----------------------------------|
| 授 業 の 目 的 ・ 概 要 | フランス語で日常生活のコミュニケーションを取るための基本を学ぶ。 |
|-----------------|----------------------------------|

|         |  |
|---------|--|
| 到 達 目 標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>① フランス語で自己紹介ができる。</li> <li>② フランス語で相手についてたずねる。</li> </ul> |
|---------|--|

|             |   |
|-------------|---|
| 授 業 の 進 め 方 | 会話を優先した授業を進める。<br>授業で学んだことを復習しながら宿題をすることによってフランス語の理解を深める。授業の最初に、前回の復習と宿題の答え合わせをする。教科書付属の録音音源を聞いて、フランス語の聞き取りや発音の練習に役立てる。 |
|-------------|---|

|   |  |
|---|--|
| 第 1 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 2 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 3 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 4 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 5 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 6 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 7 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】 | アルファベット<br>フランス語のアルファベット、単語と名前のスペルを言う練習、挨拶<br>シラバスを読む。教科書の内容を確認する。(2時間)<br>P VIII・IX・X アルファベットの復習。録音を聞く。(2時間)<br>挨拶<br>P1・2 挨拶 名前を言う・尋ねる<br>P1・2を読む。録音を聞く。(2時間)<br>授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。(2時間)<br>出会い1<br>P3 Commentを使った質問と答え。<br>P3の日本語の部分を読む。録音を聞く。(2時間)<br>授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。 P6の文法のまとめを読む。宿題。(2時間)<br>出会い2<br>P4・5 住んでいる所を聞く。いろいろな挨拶の仕方。<br>P4・5の日本語の部分を読む。録音を聞く。(2時間)<br>授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。 P6の文法のまとめ・面積と人口を読む。宿題。(2時間)<br>出会い3<br>P7・8 出身地・国名・国籍・言葉について知る。<br>P7の地図で国の位置を探す。P8の日本語の部分を読む。録音を聞く。(2時間)<br>授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。(2時間)<br>出会い4<br>P9 職業・言語・休暇中の滞在先。<br>P9の日本語の部分を読む。録音を聞く。(2時間)<br>授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。(2時間)<br>出会い5<br>P10・11 数字。電話番号を尋ねる。自己紹介。<br>P10・11の日本語の部分を読む。録音を聞く。(2時間)<br>授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。(2時間) |
|---|--|

|         |  |
|---------|--|
| 授 業 計 画 | <p>第 8 回 出会い6<br/> 【学修内容】 P11 クラスメートに質問する。P12 文法のまとめ。<br/> 【事前学修】 P11・12を読む。録音を聞く。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。(2時間)</p> <p>第 9 回 紹介1<br/> 【学修内容】 P14 人を紹介するための表現。 P18 文法。<br/> 【事前学修】 P14の日本語の部分を読む。録音を聞く。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。(2時間)</p> <p>第 10 回 紹介2<br/> 【学修内容】 P13・15 地名を覚える。人を紹介する。<br/> 【事前学修】 P13の地図で地名を探す。P15の日本語の部分を読む。録音を聞く。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。(2時間)</p> <p>第 11 回 紹介3<br/> 【学修内容】 P16 住んでいる所や出身地を尋ねる。P18 文法。<br/> 【事前学修】 P16の日本語の部分とP18の文法のまとめを読む。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。(2時間)</p> <p>第 12 回 紹介4<br/> 【学修内容】 P16 フランスの地名やその他の国名。P18の文法。<br/> 【事前学修】 P16 日本語の部分を読む。P18の文法のまとめを読む。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。(2時間)</p> <p>第 13 回 紹介5<br/> 【学修内容】 P17 人物の紹介。<br/> 【事前学修】 P17の日本語の部分を読む。録音を聞く。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。(2時間)</p> <p>第 14 回 まとめ<br/> 【学修内容】 総復習：前半。<br/> 【事前学修】 最初から読む。録音を聞く。(2時間)<br/> 【事後学修】 復習。(2時間)</p> <p>第 15 回 まとめ<br/> 【学修内容】 総復習：後半。手紙を読む。オーラルの練習。<br/> 【事前学修】 手紙を書く。(2時間)<br/> 【事後学修】 総復習。(2時間)</p> |
| 評 価 方 法 | 口頭試験(80%)、平素の受講態度(20%)。  |
| 教 科 書   | EN SCENE I Troisième édition 場面で学ぶフランス語1(三修社)  |
| 参 考 書 等 | 適宜紹介する。  |
| 備 考     | 特に記載事項なし。  |

| 授 業 科 目 名 | 形態         | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|-----------|------------|----|----|-----|-----|----------|---------|
| 英語Ⅱ       | 演習         | 2  | 選択 | 選択  | 選択  | 1年・後期    | 盛合直人    |
| 科目コード     | Hgaab10011 |    |    |     |     |          | 担当形態：単独 |

|            |  |  |  |  |  |  |  |
|------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 科目に含める必要事項 |  |  |  |  |  |  |  |
|------------|--|--|--|--|--|--|--|

|             |   |
|-------------|---|
| 受講する上での注意事項 | 英語Ⅰの単位を修得した者に限る。<br>なお、英語Ⅲを履修するためには、本科目の単位を修得する必要がある。 |
|-------------|---|

|          |  |
|----------|--|
| 授業の目的・概要 | Speaking, Listening, Reading, and Writing の4領域活用し、会話やコミュニケーションの技術や能力を高め、英語を通して、食や保育にかかわらず、幅広く海外の様々な情報や、現状に多く触れる。<br>(レポートの提出や、発表などを行う。)<br>(毎回の授業でポートフォリオの提出や小テストを行う。) |
|----------|--|

|      |   |
|------|---|
| 到達目標 | 様々な項目に興味関心を持ち、自ら進んで深く探求する姿勢と、考えを表現する能力を養う。<br>(様々な場面における英語力向上を目指す。) |
|------|---|

|        |  |
|--------|--|
| 授業の進め方 | 映像・Powerpoint・プリント等を使用しながら授業を進める。<br>学習状況、修得状況に応じて進めていく。<br>授業の最後にポートフォリオをまとめて提出する。<br>発表やレポート提出を適宜実施する。 |
|--------|--|

|  |   |
|--|---|
|  | <p>第 1 回 自己紹介<br/>【学修内容】 (Self-introduction) "Home Town"<br/>【事前学修】 自分の故郷を含めた自己紹介を準備する。(2時間)<br/>【事後学修】 様々な表現や表現方法を確認する。(2時間)</p> <p>第 2 回 食文化(1)<br/>【学修内容】 味や食感、盛り付けなどの感想について表現する(感嘆文を復習)<br/>【事前学修】 味や食感の表現や感想を述べる表現を調べておく。(2時間)<br/>【事後学修】 様々な表現方法の理解を深める。(2時間)</p> <p>第 3 回 食文化(2)<br/>【学修内容】 世界の食事情<br/>【事前学修】 日本以外の食事情について調べておく。(2時間)<br/>【事後学修】 食材だけでなく様々な料理を知り知識を深める。(2時間)</p> <p>第 4 回 食文化(3)<br/>【学修内容】 メニューと注文方法・料理の提供順や物の位置や配置を表現する(前置詞を復習)<br/>【事前学修】 注文方法やテーブルセッティングなどを事前に調べておく。(2時間)<br/>【事後学修】 注文時の会話表現や、テーブルセッティングを理解する。(2時間)</p> <p>第 5 回 生活編(1)<br/>【学修内容】 建物の位置や間取り、自分の部屋の理想の物件について話す<br/>【事前学修】 建物の構造や物品の表現を調べておく。(2時間)<br/>【事後学修】 理想の間取りを表現できるように復習する。(2時間)</p> <p>第 6 回 生活編(2)<br/>【学修内容】 子どもや環境について<br/>【事前学修】 海外の子どもの置かれている環境を調べておく。(2時間)<br/>【事後学修】 日本と海外の子どもの置かれている環境について理解する。(2時間)</p> <p>第 7 回 健康編(1)<br/>【学修内容】 ケガや病気について学び、病院でのやり取りを学ぶ<br/>【事前学修】 ケガや病気の症状に関する表現を調べておく。(2時間)<br/>【事後学修】 症状の表現や病院での会話表現を復習する。(2時間)</p> |
|--|---|

|                 |   |
|-----------------|---|
| 授 業 計 画         | <p>第 8 回 健康編 (2)<br/> 【学修内容】 ドラッグストアや薬局での会話や、薬品とその効能などを学ぶ<br/> 【事前学修】 ケガや病気の症状に関する表現を調べておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 薬品とその効能などの表現の理解を深める。(2時間)</p> <p>第 9 回 娯楽編 (1)<br/> 【学修内容】 運動、遊び、スポーツ、旅行などについて経験を述べる(副詞を復習)<br/> 【事前学修】 自分の経験に関する発表を事前に準備する。(2時間)<br/> 【事後学修】 様々な表現や、他者の発表から知識を深める。(2時間)</p> <p>第10 回 娯楽編 (2)<br/> 【学修内容】 自分の趣味特技や旅行などの経験を述べる<br/> 【事前学修】 自分の趣味特技に関する発表を事前に準備する。(2時間)<br/> 【事後学修】 様々な表現や、他者の発表から知識を深める。(2時間)</p> <p>第 11 回 職業編 (1)<br/> 【学修内容】 アルバイトや職業体験について述べる<br/> 【事前学修】 自分のアルバイト、職業経験に関する発表を事前に準備する。(2時間)<br/> 【事後学修】 様々な表現や、他者の発表から知識を深める。(2時間)</p> <p>第12 回 職業編 (2)<br/> 【学修内容】 理想の就職先と将来の夢を述べる<br/> 【事前学修】 自分の理想の就職先に関する発表を事前に準備する。(2時間)<br/> 【事後学修】 様々な表現や、他者の発表から知識を深める。(2時間)</p> <p>第13 回 映像編 (1)<br/> 【学修内容】 映画の宣伝映像を考察する。本編を観る①<br/> 【事前学修】 海外の映画の予告動画を事前に調べておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 映画の事前予告、Trailerの手法を理解する。(2時間)</p> <p>第14 回 映像編 (2)<br/> 【学修内容】 映画の宣伝映像を考察する。本編を観る②<br/> 【事前学修】 本編に関する情報を事前に確認しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 会話表現の幅広さを理解する。(2時間)</p> <p>第15 回 映像編 (3)<br/> 【学修内容】 本編のReviewと海外のCMについて<br/> 【事前学修】 本編のあらすじを確認しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 記憶に残る台詞の確認。日本のCMとの違いを理解する。(2時間)</p> |
| 評 価 方 法         | ポートフォリオ・check & quiz (50%)、課題レポート・授業の取り組み・発表 (50%)  |
| 教 科 書           | 使用しない。<br>資料は適宜紹介する。授業プリントを配付する。  |
| 参 考 書 参 考 資 料 等 | “First Steps in Reading English” by I.A. Richards / Christine Gibson (IBC publishing.co)<br>“Talk a Lot” by David Martin (EFL Press)  |
| 備 考             | 特に記載事項なし。   |

| 授業科目名  | 形態         | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担当教員      |
|--------|------------|----|----|-----|-----|----------|-----------|
| フランス語Ⅱ | 演習         | 2  | 選択 | 選択  | 選択  | 1年・後期    | マリオン・ヴェガス |
| 科目コード  | HgaaB10012 |    |    |     |     |          | 担当形態：単独   |

|            |  |
|------------|--|
| 科目に含める必要事項 |  |
|------------|--|

|             |                     |
|-------------|---------------------|
| 受講する上での注意事項 | フランス語Ⅰの単位を修得した者に限る。 |
|-------------|---------------------|

|          |                                  |
|----------|----------------------------------|
| 授業の目的・概要 | フランス語で日常生活のコミュニケーションを取るための基本を学ぶ。 |
|----------|----------------------------------|

|      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 到達目標 | ① フランス語で趣味について話す。<br>② フランス語で家族を紹介する。 |
|------|---------------------------------------|

|        |   |
|--------|---|
| 授業の進め方 | 会話を優先した授業を進める。<br>授業で学んだことを復習しながら宿題をすることによってフランス語の理解をより深める。授業の最初に、前回の復習と宿題の答えあわせをする。教科書付属の録音音源を聞いて、フランス語の聞き取りや発音の練習に役立てる。 |
|--------|---|

|   |  |
|---|--|
| 第 1 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 2 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 3 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 4 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 5 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 6 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 7 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】 | フランス語Ⅰの復習 出会い1<br>復習：出会い1<br>復習：出会い1（2時間）<br>復習：出会い1（2時間）<br>フランス語の復習 出会い2：紹介する。<br>復習：出会い2 紹介する<br>復習：出会い2 紹介する（2時間）<br>授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。（2時間）<br>専攻と余暇1<br>P19・20 どのような勉強をしたか尋ねる・答える。<br>P19・20を読む。録音を聞く。（2時間）<br>授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。 P20の単語を覚える。宿題。（2時間）<br>専攻と余暇2<br>P21・22 好きな事・ものについて尋ねる・言う。<br>P22のあなたはビデオゲームが好きですか？を読む。録音を聞く。（2時間）<br>授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間）<br>専攻と余暇3<br>P22の週末あなたは何をするのが好きですか？ P24の文法のまとめの部分冠詞。<br>P24の文法のまとめの部分冠詞を読む。（2時間）<br>授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題（2時間）<br>専攻と余暇4<br>P23 7・9 好きなことや習慣について話す。<br>P23の録音を聞く。宿題。（2時間）<br>授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間）<br>専攻と余暇5<br>P23 8 よく行きます。文法のまとめの中性代名詞。<br>P23 文法のまとめの中性代名詞を読む。録音を聞く。（2時間）<br>授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。P24のフランス人の名前を読む。宿題。（2時間） |
|---|--|



|                    |  |
|--------------------|--|
| 授 業 計 画            | <p>第 8 回 家族1<br/> 【学修内容】 P 26 家族・兄弟姉妹。自分の家族を紹介する。<br/> 【事前学修】 P 25のMa Familleの部分を読む。録音を聞く。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。(2時間)</p> <p>第 9 回 家族2<br/> 【学修内容】 P 27 自分の家族の年齢や性格などを説明する。<br/> 【事前学修】 録音を聞く。P30の文法のまとめを読む。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。(2時間)</p> <p>第 10 回 家族3<br/> 【学修内容】 P 28 両親について尋ねる。<br/> 【事前学修】 P 28を読む。録音を聞く。P 30の文法のまとめを読む。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。(2時間)</p> <p>第 11 回 家族4<br/> 【学修内容】 P 29 他人の家族について勉強する。<br/> 【事前学修】 P 30の文法のまとめを読む。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。他の学生と家族の紹介文を交換し勉強する。宿題。(2時間)</p> <p>第 12 回 家族5<br/> 【学修内容】 他人の家族について話す。<br/> 【事前学修】 5課全体の授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。(2時間)</p> <p>第 13 回 まとめ<br/> 【学修内容】 オーラルの練習 - 質問に答える。<br/> 【事前学修】 フランス語IIで習ったことを復習する。(2時間)<br/> 【事後学修】 総復習(2時間)</p> <p>第 14 回 まとめ<br/> 【学修内容】 オーラル練習 - 自分について話す。<br/> 【事前学修】 フランス語IIで学んだことを復習する。(2時間)<br/> 【事後学修】 総復習(2時間)</p> <p>第 15 回 まとめ<br/> 【学修内容】 オーラル練習 - 他人について話す。<br/> 【事前学修】 フランス語IIで学んだことを復習する。(2時間)<br/> 【事後学修】 試験準備(2時間)</p> |
| 評 価 方 法            | 口頭試験(80%)、平素の受講態度(20%)。  |
| 教 科 書              | EN SCENE I Troisième édition 場面で学ぶフランス語1(三修社)  |
| 参 考 書<br>参 考 資 料 等 | 適宜紹介する。  |
| 備 考                | 特に記載事項なし。  |

| 授 業 科 目 名       | 形態  | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|-----------------|---|----|----|-----|-----|----------|---------|
| <b>体育理論</b>     | 講義  | 1  | 選択 | 必修  | 必修  | 1年・通年    | 渡 邊 望   |
| 科目コード           | Hg AAA10014   |    |    |     |     |          | 担当形態：単独 |
| 科目に含める必要事項      |   |    |    |     |     |          |         |
| 受講する上での注意事項     | 保育士資格及び幼稚園教諭免許取得希望の履修者はいずれも必修である。   |    |    |     |     |          |         |
| 授 業 の 目 的 ・ 概 要 | <p>生涯にわたり心身ともに健康な体であるための基本的な知識の理解を深めるとともに、生活習慣の見直しができるようにすることで、自らの健康を管理するだけでなく、より健康的なライフスタイルを確立できる能力を養う。</p> <p>また、女性の体のしくみや、心と体の関連性について学び、健康づくりの一助となることを目的とする。</p>   |    |    |     |     |          |         |
| 到 達 目 標         | <p>① 健康の保持・増進をするための基本的な知識を身に付け、心身の健康を自ら管理できるようにする。</p> <p>② からだのしくみや機能について理解を深め、体内のリズムに合った正しい生活習慣を身に付ける。</p> <p>③ 女性としての体のしくみについて理解する。</p>  |    |    |     |     |          |         |
| 授業の進め方          | 必要な資料は、プリントを配付し、パワーポイントを使用して授業を進めていく。   |    |    |     |     |          |         |
| 授 業 計 画         | <p>第 1 回      オリエンテーション・健康の捉え方<br/> 【学修内容】 健康とはなにか・健康を管理する体内リズムと生活リズム<br/> 【事前学修】 健康とは何か自分の考えをまとめる。(2時間)<br/> 【事後学修】 体内リズムを理解し、正しい生活習慣を身に付けるためにどのようにすればよいかまとめる。(2時間)</p> <p>第 2 回      からだのしくみや機能①<br/> 【学修内容】 骨の新陳代謝・血液循環とリンパ<br/> 【事前学修】 授業で配布した資料に目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習してノートにまとめ、骨の新陳代謝・血液循環とリンパについて理解を深める。(2時間)</p> <p>第 3 回      からだのしくみや機能②<br/> 【学修内容】 消化のリズム・肌と毛髪のサイクル<br/> 【事前学修】 授業で配布した資料に目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習してノートにまとめ、消化と排泄・肌と毛髪のサイクルについて理解を深める。(2時間)</p> <p>第 4 回      からだのしくみや機能③<br/> 【学修内容】 体温調節と熱中症<br/> 【事前学修】 授業で配布した資料に目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習してノートにまとめ、体温調節と熱中症について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 5 回      女性の健康①<br/> 【学修内容】 飲酒・喫煙について<br/> 【事前学修】 授業で配布した資料に目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習してノートにまとめ、飲酒と喫煙について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 6 回      女性の健康②<br/> 【学修内容】 ダイエットについて<br/> 【事前学修】 授業で配布した資料に目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習してノートにまとめ、ダイエットについて理解を深める。(2時間)</p> <p>第 7 回      女性の健康③<br/> 【学修内容】 女性ホルモンについて<br/> 【事前学修】 授業で配布した資料に目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを復習してノートにまとめ、女性ホルモンの働きについて理解を深める。(2時間)</p> |    |    |     |     |          |         |

|                    |  |
|--------------------|--|
|                    | <p>第 8 回           メンタルヘルス</p> <p>【学修内容】    ストレスと健康について</p> <p>【事前学修】    授業で配布した資料に目を通しておく。(2時間)</p> <p>【事後学修】    授業で学んだことを復習してノートにまとめ、メンタルヘルスについて理解を深める。(2時間)</p> |
| 評 価 方 法            | <p>提出物(60%)、筆記試験(小テストを含む)(30%)、平常点(10%)</p> <p>平素の受講態度や課題の取組み等を加味する。</p>   |
| 教 科 書              | <p>使用しない。</p>  |
| 参 考 書 等<br>参 考 資 料 | <p>保育所保育指針(厚生労働省編、フレーベル館)</p> <p>幼稚園教育要領(文部科学省編、フレーベル館)</p> <p>幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館)</p>   |
| 備 考                | <p>提出物の期限厳守。</p>   |

| 授 業 科 目 名   | 形態          | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|-------------|-------------|----|----|-----|-----|----------|---------|
| <b>体育実技</b> | 実技          | 1  | 選択 | 必修  | 必修  | 1年・通年    | 渡 邊 望   |
| 科目コード       | Hg AAC10015 |    |    |     |     |          | 担当形態：単独 |

|            |  |  |  |  |  |  |  |
|------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 科目に含める必要事項 |  |  |  |  |  |  |  |
|            |  |  |  |  |  |  |  |

|             |   |
|-------------|---|
| 受講する上での注意事項 | <p>保育士資格及び幼稚園教諭免許取得希望の履修者はいずれも必修である。<br/>運動ができる服装（ジャージ等）で参加すること。使用する用具の準備や後片付けを積極的に行うこと。<br/>ピアス・ネックレス等の装飾品は、自他ともにケガ防止のためはすすこと。</p> |
|-------------|---|

|          |   |
|----------|---|
| 授業の目的・概要 | <p>① 心身ともに健康であるためには、運動やスポーツを主体的に行うことが不可欠の要件であることから、各種の運動種目を通じて、自らが体を動かす楽しさを味わい、生涯にわたって運動の習慣を身に付ける。また、自己の体力向上に効果的な運動を行うとともに自分に合ったスポーツライフを実現できる。</p> <p>② ゲーム形式を通じて仲間と協力し、体を動かす楽しさを共有することで交流を深め、コミュニケーションを図る。</p> |
|----------|---|

|      |   |
|------|---|
| 到達目標 | <p>① 運動の楽しさや喜びを味わい、自ら進んで運動に取り組むことができる。</p> <p>② 自己の体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付け実践することができる。</p> <p>③ 仲間と協力してスポーツを楽しめる能力を身に付ける。</p> |
|------|---|

|        |  |
|--------|--|
| 授業の進め方 | ウォーミングアップとしてラジオ体操や体づくりのトレーニング、ストレッチ等でしっかり体を動かしてから各運動種目を行う。 |
|--------|--|

|  |  |
|--|--|
|  | <p>第 1 回 オリエンテーション<br/>【学修内容】 シラバスに沿って授業概要、主旨、評価方法の説明と運動の効果を学ぶ。<br/>【事前学修】 授業前にシラバスに目を通しておく。(0.5時間)<br/>【事後学修】 本授業の概要と目標について理解を深め、授業の感想や次回の目標をまとめる。(0.5時間)</p> <p>第 2 回 体力測定・ラジオ体操<br/>【学修内容】 ラジオ体操・体力測定「柔軟性、上体起こし、平衡性、縄跳び」<br/>【事前学修】 授業で配布された資料「ラジオ体操の動きと運動の効果」に目を通しておく。(0.5時間)<br/>【事後学修】 ラジオ体操の運動効果について理解を深め、授業の感想や次回の目標をまとめる。(0.5時間)</p> <p>第 3 回 レクリエーション①<br/>【学修内容】 からだほぐし運動、仲間づくりレクリエーション<br/>【事前学修】 授業内で配布された資料「体ほぐし運動」に目を通しておく。(0.5時間)<br/>【事後学修】 からだほぐし運動の効果について理解を深め、授業の感想や次回の目標をまとめる。(0.5時間)</p> <p>第 4 回 レクリエーション②<br/>【学修内容】 ミニ運動会「リレー・玉入れ・綱引き」<br/>【事前学修】 授業内で行ったラジオ体操やストレッチングを自宅でもできる範囲で取り組む。(0.5時間)<br/>【事後学修】 運動を通して仲間と協力し、楽しさを味わうことができたか振り返る。(0.5時間)</p> <p>第 5 回 ボール運動<br/>【学修内容】 ボールを使った運動<br/>【事前学修】 授業内で行ったラジオ体操やストレッチングを自宅でもできる範囲で取り組む。(0.5時間)<br/>【事後学修】 運動を通して仲間と協力し、楽しさを味わうことができたか振り返る。(0.5時間)</p> <p>第 6 回 ボールゲーム①<br/>【学修内容】 ドッチボール<br/>【事前学修】 授業で配布された資料「いろいろなドッチボール」に目を通しておく。(0.5時間)<br/>【事後学修】 ドッチボールのルールやゲームの中で養われる運動能力について理解を深める。(0.5時間)</p> <p>第 7 回 ボールゲーム②<br/>【学修内容】 バスゲーム<br/>【事前学修】 授業内で行ったラジオ体操やストレッチングを自宅でもできる範囲で取り組む。(0.5時間)<br/>【事後学修】 運動を通して仲間と協力し、楽しさを味わうことができたか振り返る。(0.5時間)</p> <p>第 8 回 縄跳び<br/>【学修内容】 縄を使った運動<br/>【事前学修】 授業で配布された資料「なわとび跳び方一覧」に目を通しておく。(0.5時間)<br/>【事後学修】 縄跳び運動の効果、跳び方やポイントについて理解を深める。(0.5時間)</p> <p>第 9 回 長縄跳び<br/>【学修内容】 長縄跳び、ダブルダッチ<br/>【事前学修】 ダブルダッチの映像資料をに目を通しておく。(0.5時間)<br/>【事後学修】 縄跳び運動の効果、跳び方やポイントについて理解を深める。(0.5時間)</p> |
|--|--|

|                    |   |
|--------------------|---|
| 授 業 計 画            | <p>第10 回 有酸素運動①<br/> 【学修内容】 ウォーキングの正しいフォーム<br/> 【事前学修】 授業で配布された資料「ウォーキングの正しいフォーム」に目を通しておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 ウォーキングの正しいフォームを理解し、ウォーキングを楽しめたか振り返る。(0.5時間)</p> <p>第 11 回 有酸素運動②<br/> 【学修内容】 エアロビクスで有酸素運動<br/> 【事前学修】 有酸素運動について調べ、リズム感を意識して好きなダンスミュージックを聞く。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 エアロビクスの運動効果と有酸素運動について理解を深める。(0.5時間)</p> <p>第12 回 バドミントン①<br/> 【学修内容】 ルール理解・チーム作り<br/> 【事前学修】 バドミントンのルール全般を調べ、自分のバドミントン経験を振り返る。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 バドミントンのルールを理解し、授業の感想や次回の目標をまとめる。(0.5時間)</p> <p>第13 回 バドミントン②<br/> 【学修内容】 ダブルス戦<br/> 【事前学修】 バドミントンダブルスルール全般を調べ、ストレッチングでからだのケアと体調管理に努める。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 バドミントンダブルスルールを理解し、授業の感想や次回の目標をまとめる。(0.5時間)</p> <p>第14 回 バドミントン③<br/> 【学修内容】 シングルス戦<br/> 【事前学修】 バドミントンシングルスルール全般を調べ、ストレッチングでからだのケアと体調管理に努める。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 バドミントンシングルスルールを理解し、授業の感想や次回の目標をまとめる。(0.5時間)</p> <p>第15 回 ミニバレー①<br/> 【学修内容】 ルール理解・チーム作り<br/> 【事前学修】 ミニバレールール全般を調べ、自分の運動経験を振り返る。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 ミニバレールールを理解し、授業の感想や次回の目標をまとめる。(0.5時間)</p> <p>第16 回 ミニバレー②<br/> 【学修内容】 練習試合<br/> 【事前学修】 ミニバレーで使用するボールの特徴を意識して自分の課題を明確にする。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 ミニバレーを通して仲間と協力したり楽しさを味わうことができたか振り返る。(0.5時間)</p> <p>第17 回 ミニバレー③<br/> 【学修内容】 チーム戦<br/> 【事前学修】 仲間と協力してプレーするにはどのようにすればよいか考える。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 ミニバレーを通して仲間と協力したり楽しさを味わうことができたか振り返る。(0.5時間)</p> <p>第18 回 バレーボール①<br/> 【学修内容】 サーブ・レシーブ練習<br/> 【事前学修】 バレーボールのサーブ・レシーブのポイント調べる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 バレーボールのサーブ・レシーブのポイントを理解し、次回の目標をまとめる。(0.5時間)</p> <p>第19 回 バレーボール②<br/> 【学修内容】 バス練習・ラリーボール<br/> 【事前学修】 授業で配布する「ラリーボールのルール」に目を通しておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 ラリーボールのルールと練習の効果を理解し、次回の目標をまとめる。(0.5時間)</p> <p>第20 回 バレーボール③<br/> 【学修内容】 チーム戦<br/> 【事前学修】 仲間と協力してプレーするにはどのようにすればよいか考える。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 バレーボールを通して仲間と協力し、楽しさを味わうことができたか振り返る。(0.5時間)</p> <p>第21 回 体力測定<br/> 【学修内容】 体力測定「柔軟性、上体起こし、平衡性、縄跳び」縄跳び発表(個人課題)<br/> 【事前学修】 授業内で行ったラジオ体操やストレッチングを自宅でもできる範囲で取り組む。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 第2回目に行った測定の結果と比較し、自己の課題を明確化する。(0.5時間)</p> <p>第22 回 まとめ<br/> 【学修内容】 振り返りとリクエスト<br/> 【事前学修】 今まで実施したスポーツを振り返り、もう一度実践したいスポーツを考えておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で経験した運動やスポーツから学んだことや感じたことをまとめ、健康の保持・増進のために自身がどのように行動すればよいかまとめる。(0.5時間)</p> |
| 評 価 方 法            | 平常点(70%)、技能点(30%)<br>授業運営においての積極的に取り組む態度等を加味する。   |
| 教 科 書              | 使用しない。  |
| 参 考 書 等<br>参 考 資 料 | 保育所保育指針(厚生労働省編、フレーベル館)<br>幼稚園教育要領(文部科学省編、フレーベル館)<br>幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館)   |
| 備 考                | 特に記載事項なし。   |

| 授 業 科 目 名 | 形態         | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員    |
|-----------|------------|----|----|-----|-----|----------|------------|
| キャリア教育    | 演習         | 2  | 必修 | 選択  | 選択  | 1年・後期    | 保育科教員 ほか   |
| 科目コード     | HGaaB10016 |    |    |     |     |          | 担当形態：オムニバス |

|            |  |
|------------|--|
| 科目に含める必要事項 |  |
|            |  |

|             |   |
|-------------|---|
| 受講する上での注意事項 | 卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。<br>将来、社会の一員として職に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。 |
|-------------|---|

|          |   |
|----------|---|
| 授業の目的・概要 | 本演習では、社会人に必要な基礎力やマナーを身に付け、社会人としての資質を磨くことを目的とする。<br>また「職業キャリア」にとどまらず、個人の環境や状況、人生の節目や転機に応じて柔軟に、他者・社会とのかかわりのなかで、自分の人生を主体的に創造していく力を身に付け、キャリア教育本来の目標でもある「人間力」や「生きる力」の育成を目指す。 |
|----------|---|

|      |  |
|------|--|
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 自己理解を深めることを通して、社会への関心を深め働くことの意義を知る。</li> <li>② 社会で求められているスキルや能力、姿勢について学ぶ（社会人基礎力）。</li> <li>③ 卒業後のキャリアを自ら考えることができる。</li> </ul> |
|------|--|

|        |   |
|--------|---|
| 授業の進め方 | 授業担当者による社会人基礎力の養成講座と、外部講師による講義・質疑応答を行う。 |
|--------|---|

|  |   |
|--|---|
|  | <p>第 1 回 授業オリエンテーション、キャリアとは何か<br/>【学修内容】 学科長講話・オリエンテーション<br/>【事前学修】 シラバスに目を通しておく。（2時間）<br/>【事後学修】 学んだことをレポートにまとめる。（2時間）</p> <p>第 2 回 社会から求められる資質<br/>【学修内容】 社会から求められる人材になるために大切なこと<br/>【事前学修】 テーマについて調べておく。（2時間）<br/>【事後学修】 学んだことをレポートにまとめる。（2時間）</p> <p>第 3 回 就職活動について<br/>【学修内容】 就職活動の実際<br/>【事前学修】 卒業後の進路について調べる。（2時間）<br/>【事後学修】 学んだことをレポートにまとめる。（2時間）</p> <p>第 4 回 キャリア形成と職業理解Ⅰ<br/>【学修内容】 保育者としての資質、社会人としての資質<br/>【事前学修】 求められる保育者像は何かを考えておく。（2時間）<br/>【事後学修】 学んだことをレポートにまとめる。（2時間）</p> <p>第 5 回 キャリア形成と職業理解Ⅱ<br/>【学修内容】 保育者としての資質、社会人としての資質<br/>【事前学修】 保育者として、社会人として必要なことは何か考える。（2時間）<br/>【事後学修】 学んだことをレポートにまとめる。（2時間）</p> <p>第 6 回 一般常識的知識・文章読解力<br/>【学修内容】 読む・書く・考える<br/>【事前学修】 新聞やニュース、話題の本などを読み、自分なりの考えを持つ。（2時間）<br/>【事後学修】 学んだことをレポートにまとめる。（2時間）</p> <p>第 7 回 キャリア形成と自己理解<br/>【学修内容】 自己分析<br/>【事前学修】 長所・短所、力を入れたことなどを整理する。（2時間）<br/>【事後学修】 学んだことをレポートにまとめる。（2時間）</p> |
|--|---|

|                    |   |
|--------------------|---|
| 授 業 計 画            | <p>第 8 回 社会人としてのマナー<br/> 【学修内容】 社会人として必要なマナー<br/> 【事前学修】 日常の言葉遣い、生活の仕方など振り返り自己を見つめる。(2時間)<br/> 【事後学修】 学んだことをレポートにまとめる。(2時間)</p> <p>第 9 回 書いて伝える力Ⅰ<br/> 【学修内容】 自己PR・志望動機の作り方、エントリーシートの書き方<br/> 【事前学修】 自己分析をもとに、自己PRを考える。(2時間)<br/> 【事後学修】 学んだことをレポートにまとめる。(2時間)</p> <p>第10 回 書いて伝える力Ⅱ<br/> 【学修内容】 論作文<br/> 【事前学修】 論作文の構成について調べる。(2時間)<br/> 【事後学修】 学んだことをレポートにまとめる。(2時間)</p> <p>第 11 回 円滑なコミュニケーションⅠ<br/> 【学修内容】 言葉の表現、話し方、伝え方の工夫<br/> 【事前学修】 コミュニケーションを円滑にするために必要なことをこれまでの経験や書籍、インターネット等で調べる。(2時間)<br/> 【事後学修】 学んだことをレポートにまとめる。(2時間)</p> <p>第12 回 円滑なコミュニケーションⅡ<br/> 【学修内容】 他者理解を深める、聞き上手になること<br/> 【事前学修】 コミュニケーションを円滑にするために必要なことをこれまでの経験や書籍、インターネット等で調べる。(2時間)<br/> 【事後学修】 学んだことをレポートにまとめる。(2時間)</p> <p>第13 回 ストレスマネジメント<br/> 【学修内容】 ストレス評価とリラクゼーション、「生きる力」<br/> 【事前学修】 ストレスやその対処法についてこれまでの経験や書籍、インターネット等で調べる。(2時間)<br/> 【事後学修】 学んだことをレポートにまとめる。(2時間)</p> <p>第14 回 話して伝える力Ⅰ<br/> 【学修内容】 面接試験の基本<br/> 【事前学修】 面接試験の内容を想定してみる。(2時間)<br/> 【事後学修】 学んだことをレポートにまとめる。(2時間)</p> <p>第15 回 話して伝える力Ⅱ<br/> 【学修内容】 面接試験に向けて<br/> 【事前学修】 「面接試験の基本」で学んだことをもとに、面接試験のイメージトレーニングをする。(2時間)<br/> 【事後学修】 学んだことをレポートにまとめる。(2時間)</p> |
| 評 価 方 法            | レポート等(40%)、平常点(60%)平素の受講態度等を加味する。   |
| 教 科 書              | 使用しない。  |
| 参 考 書<br>参 考 資 料 等 | 授業内で適宜紹介する。   |
| 備 考                | 提出物の期限厳守。   |

| 授 業 科 目 名      | 形態   | 単位                   | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|----------------|--|----------------------|----|-----|-----|----------|---------|
| <b>保育原理</b>    | 講義   | 2                    | 選択 | 必修  | 選択  | 1年・後期    | 中 村 章 子 |
| 科目コード          | HgAaA10101   |                      |    |     |     |          | 担当形態：単独 |
| 教育の基礎的理解に関する科目 |  | 科目に含める必要事項           |    |     |     |          |         |
|                |  | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 |    |     |     |          |         |
| 受講する上での注意事項    | 本授業は、中核的な内容であり他の教科目と全てつながっていることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。  |                      |    |     |     |          |         |
| 授業の目的・概要       | 乳幼児期は人間形成の基礎を培う上で重要な時期であり、保育に携わる者には人間性と保育の専門性が求められる。また、今日の社会環境、育児環境の変化から保育ニーズへの多様化が進み、保育には質の高い養護と教育の機能を果たすことへの期待が高まっている。個々の子どもが現在をより良く生き、望ましい未来を創り出す力の基礎を培うことができるよう、保育の基本となる保育原理を学ぶ。また、乳幼児期の子どもの発達特性を理解し、遊びや生活を通して成長していくために保育者にはどのような援助が求められているかを学修する。   |                      |    |     |     |          |         |
| 到達目標           | ① 我が国の保育の意義と目標について理解する。<br>② 日本や諸外国の保育の歴史や、その底流にある保育思想について理解する。<br>③ 保育の内容と方法、計画について事例などを通して理解する。  |                      |    |     |     |          |         |
| 授業の進め方         | 授業計画に沿い、視聴覚機器や板書、プリント等を活用し、グループワーク等を取り入れながら進める。  |                      |    |     |     |          |         |
|                | 第 1 回 講義のガイダンス<br>【学修内容】 シラバスに沿って授業の概要、主旨、評価方法の説明をする。子どもの現状について学ぶ。<br>【事前学修】 シラバスに目を通しておく。(2時間)<br>【事後学修】 授業内で配布したプリント資料を参照にし、講義の概要、目標について理解を深める。(2時間)<br>第 2 回 保育の意義と理念及び目標<br>【学修内容】 保育の意義、役割、保育所の目的、法令及び制度について理解を深める。<br>【事前学修】 教科書第1章1節2節の頁を目を通しておく。(2時間)<br>【事後学修】 今回の授業で学んだ内容を復習する。(2時間)<br>第 3 回 保育基盤としての子ども観<br>【学修内容】 子どもの育ち、子どもの最善の利益と保育について理解を深める。<br>【事前学修】 教科書第2章第1節、2節、3節の頁を目を通しておく。(2時間)<br>【事後学修】 子どもとは何か、発達とは何かをまとめる。(2時間)<br>第 4 回 子ども理解から出発する保育<br>【学修内容】 子どもの育ちや愛着、家庭福祉について理解を深める。<br>【事前学修】 教科書第2章第4節のページを目を通しておく。(2時間)<br>【事後学修】 グループワークの内容をまとめる。(2時間)<br>第 5 回 子どもが育つ環境の理解<br>【学修内容】 子どもの育ちと共にある主な保育施設について役割と責任について理解を深める。<br>【事前学修】 教科書第3章の頁を目を通しておく。(2時間)<br>【事後学修】 保育施設のしくみについて復習する。(2時間)<br>第 6 回 保育内容・方法の原理1<br>【学修内容】 保育所保育指針の制度的位置づけについて理解を深める。<br>【事前学修】 教科書第4章の頁を目を通しておく。(2時間)<br>【事後学修】 保育所保育指針を熟読する。(2時間)<br>第 7 回 保育内容・方法の原理2<br>【学修内容】 保育のねらいと内容、発達段階の理解を深める。<br>【事前学修】 教科書第5章6章の頁を目を通しておく。(2時間)<br>【事後学修】 保育をめぐる状況を整理し、学んだ内容を復習する。(2時間) |                      |    |     |     |          |         |



|                    |   |
|--------------------|---|
| 授 業 計 画            | <p>第8回 保育の計画と実践の原理<br/> 【学修内容】 保育における計画について理解を深める。<br/> 【事前学修】 教科書第8章の頁を目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 保育の計画の意義と評価、反省、改善についてまとめる。(2時間)</p> <p>第9回 健康・安全と特別な支援を必要とする子どもへの対応<br/> 【学修内容】 子ども健康・安全について考えながら、育みたい資質・能力について理解を深めていく。<br/> 【事前学修】 教科書第7章の頁を目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿から保育実践について考察する。(2時間)</p> <p>第10回 欧米の保育の歴史を振り返る<br/> 【学修内容】 海外の保育思想と歴史から現代の保育を考察する。<br/> 【事前学修】 教科書第11章の頁を目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 今回の授業で学んだ内容を復習し、興味のある思想家、実践家について理解を深める。(2時間)</p> <p>第11回 日本の保育の歴史を振り返る<br/> 【学修内容】 日本の保育思想と歴史について理解を深め、これからの保育につなげる。<br/> 【事前学修】 教科書第12章の頁を目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 今回の授業で学んだ内容を復習し、興味のある思想家、実践家について理解を深める。(2時間)</p> <p>第12回 保育者に求められる専門性<br/> 【学修内容】 保育者の専門性、保育の質の向上とは何か理解を深める。<br/> 【事前学修】 教科書第9章の頁を目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 グループワークの内容をまとめる。(2時間)</p> <p>第13回 在園児の保護者及び地域に対する子育て支援の理念と実際<br/> 【学修内容】 現代の家庭と社会の状況から保育における子育て支援を考察する。<br/> 【事前学修】 教科書第13章の頁を目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 グループワークの内容をまとめる。(2時間)</p> <p>第14回 保育の評価と苦情対応及び保育者の研修<br/> 【学修内容】 これからの園、保育者に求められる質について事例を基に理解を深める。<br/> 【事前学修】 教科書第9章第3節の頁を目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 保育者をめざすにあたり、どのような学びが必要かまとめる。(2時間)</p> <p>第15回 保育の現状と課題<br/> 【学修内容】 世界における保育の現状、日本における保育の現状を理解し、課題と取り組みについて理解を深める。<br/> 【事前学修】 教科書第13章の頁を目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 これから、必要とされる保育について各自考察する。(2時間)</p> |
| 評 価 方 法            | 筆記試験(50%)、提出物等平常点(50%)、平素の授業態度等を加味する。   |
| 教 科 書              | つながる保育原理(井上孝之・小原敏郎・三浦主博、みらい)  |
| 参 考 書 等<br>参 考 資 料 | 保育所保育指針(厚生労働省編、フレーベル館)<br>幼稚園教育要領(文部科学省編、フレーベル館)<br>幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館)   |
| 備 考                | 特に記載事項なし。<br>実務経験のある教員：札幌市内の保育所における保育教育に関する実務経験を活かした授業を行う。  |

| 授 業 科 目 名 |            | 形態 | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |         |
|-----------|------------|----|----|----|-----|-----|----------|---------|---------|
| 子ども家庭福祉   |            | 講義 | 2  | 選択 | 必修  |     | 1年・後期    | 磯 部 ゆかり |         |
| 科目コード     | HgAZA10103 |    |    |    |     |     |          |         | 担当形態：単独 |

|  |  |            |  |  |  |  |  |  |
|--|--|------------|--|--|--|--|--|--|
|  |  | 科目に含める必要事項 |  |  |  |  |  |  |
|  |  |            |  |  |  |  |  |  |

|             |  |
|-------------|--|
| 受講する上での注意事項 | 将来、保育士、幼稚園教諭や保育教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。 |
|-------------|--|

|                 |   |
|-----------------|---|
| 授 業 の 目 的 ・ 概 要 | <p>子どもの権利を踏まえ、子どもの福祉とは何かを理解し、子ども、保護者、子育て家庭を支える機関、制度等を学ぶ。</p> <p>① 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷<br/> ② 子どもの人権擁護<br/> ③ 子ども家庭福祉の制度と実施体系<br/> ④ 子ども家庭福祉の現状と課題<br/> ⑤ 子ども家庭福祉の動向と展望</p> |
|-----------------|---|

|         |  |
|---------|--|
| 到 達 目 標 | <p>① 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。<br/> ② 子どもの人権擁護について理解する。<br/> ③ 子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。<br/> ④ 子ども家庭福祉の現状と課題について理解する。<br/> ⑤ 子ども家庭福祉の動向と展望について理解する。</p> |
|---------|--|

|             |   |
|-------------|---|
| 授 業 の 進 め 方 | <p>テキストを基本に進めていく。<br/> プリントは必要に応じて配付する。<br/> DVD等、映像を通して理解を深める。</p> |
|-------------|---|

|        |  |
|--------|--|
| 第 1 回  | 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷Ⅰ                        |
| 【学修内容】 | 子ども家庭福祉の理念、概念                                    |
| 【事前学修】 | テキストに目を通し、子ども家庭福祉とは何かを考える。(2時間)                  |
| 【事後学修】 | 授業で学んだことを振り返り、子ども家庭福祉の理念、概念の理解を深める。(2時間)         |
| 第 2 回  | 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷Ⅱ                        |
| 【学修内容】 | 子ども家庭福祉、子どもの人権擁護の歴史の変遷                           |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                               |
| 【事後学修】 | 授業で学んだことを振り返り、人権擁護と子ども家庭福祉の歴史について理解を深める。(2時間)    |
| 第 3 回  | 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷Ⅲ                        |
| 【学修内容】 | 現代社会と子ども家庭福祉                                     |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                               |
| 【事後学修】 | 授業で学んだことを振り返り、子ども、子育て家庭の現状について理解を深める。(2時間)       |
| 第 4 回  | 子どもの人権擁護   |
| 【学修内容】 | 児童の権利に関する条約と子どもの人権擁護、現代社会の課題                     |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                               |
| 【事後学修】 | 授業で学んだことを振り返り、子どもの権利について理解を深める。(2時間)             |
| 第 5 回  | 子ども家庭福祉の制度と実施体系Ⅰ                                 |
| 【学修内容】 | 子ども家庭福祉の制度と法体系                                   |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                               |
| 【事後学修】 | 授業で学んだことを振り返り、子ども家庭福祉の制度、法体系について理解を深める。(2時間)     |
| 第 6 回  | 子ども家庭福祉の制度と実施体系Ⅱ                                 |
| 【学修内容】 | 子ども家庭福祉の実施体系                                     |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                               |
| 【事後学修】 | 授業で学んだことを振り返り、子ども家庭福祉の実施体系について理解を深める。(2時間)       |
| 第 7 回  | 子ども家庭福祉の制度と実施体系Ⅲ                                 |
| 【学修内容】 | 児童福祉施設と子ども家庭福祉の専門職                               |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                               |
| 【事後学修】 | 授業で学んだことを振り返り、児童福祉施設と子ども家庭福祉の専門職について理解を深める。(2時間) |

|                    |  |
|--------------------|--|
| 授 業 計 画            | <p>第 8 回 子ども家庭福祉の現状と課題Ⅰ<br/> 【学修内容】 少子化と地域子育て支援<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを振り返り、地域子育て支援について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 9 回 子ども家庭福祉の現状と課題Ⅱ<br/> 【学修内容】 母子保健と子どもの健全育成<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを振り返り、母子保健と子どもの健全育成について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 10 回 子ども家庭福祉の現状と課題Ⅲ<br/> 【学修内容】 多様な保育ニーズへの対応<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを振り返り、多様な保育ニーズについて理解を深める。(2時間)</p> <p>第 11 回 子ども家庭福祉の現状と課題Ⅳ<br/> 【学修内容】 子ども虐待・DVとその防止<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを振り返り、子ども虐待・DVとその防止について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 12 回 子ども家庭福祉の現状と課題Ⅴ<br/> 【学修内容】 障がいのある子どもや少年非行等への対応<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを振り返り、障がいのある子どもや少年非行等への対応について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 13 回 子ども家庭福祉の現状と課題Ⅵ<br/> 【学修内容】 貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを振り返り、貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 14 回 子ども家庭福祉の動向と展望Ⅰ<br/> 【学修内容】 次世代育成支援と子ども家庭福祉推進、地域における連携・協働・ネットワーク<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを振り返り、次世代育成支援、地域における連携等について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 15 回 子ども家庭福祉の動向と展望Ⅱ<br/> 【学修内容】 子ども家庭福祉の諸外国の動向<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだことを振り返り、子ども家庭福祉の諸外国の動向について理解を深める。(2時間)</p> |
| 評 価 方 法            | 筆記試験70%、提出課題等30%(提出物、受講態度等)  |
| 教 科 書              | 子ども家庭福祉(喜多一憲監修、みらい)<br>福祉・保育小六法(みらい)   |
| 参 考 書<br>参 考 資 料 等 | 子どもと家庭の福祉を学ぶ(松本園子著、ななみ書房)<br>新保育士養成講座 児童家庭福祉(新保育士養成講座編纂委員会編、全国社会福祉協議会)   |
| 備 考                | 提出物の期限厳守。  |

| 授 業 科 目 名 | 形態         | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|-----------|------------|----|----|-----|-----|----------|---------|
| 社会福祉      | 講義         | 2  | 選択 | 必修  |     | 1年・前期    | 磯部 ゆかり  |
| 科目コード     | HgAZA10104 |    |    |     |     |          | 担当形態：単独 |

|  |            |
|--|------------|
|  | 科目に含める必要事項 |
|--|------------|

|             |   |
|-------------|---|
| 受講する上での注意事項 | 我が国を取り巻く社会保障体制、特に少子高齢化対策や子育て支援策、児童虐待等について、その現状や課題についての学修を、新聞等を通じてしておくことが望ましい。特に児童虐待のニュース等には関心を持って、新聞、ニュース等で把握しておくことが望ましい。 |
|-------------|---|

|          |  |
|----------|--|
| 授業の目的・概要 | 少子高齢化や経済不安により社会福祉に対する需要が増加する一方で、近年の法制度の変革に伴い福祉サービスは複雑化、多様化している。そもそも社会福祉とは何か、意義や内容を学ぶことで、それが人々（私たち）の生活にどのように関係しているのか理解する。 |
|----------|--|

|      |  |
|------|--|
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉におけることも家庭支援の視点について理解する。</li> <li>② 社会福祉の制度や実施体系等について理解する。</li> <li>③ 社会福祉における相談援助について理解する。</li> <li>④ 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する。</li> <li>⑤ 社会福祉の動向と課題について理解する。</li> </ul> |
|------|--|

|        |                                |
|--------|--------------------------------|
| 授業の進め方 | テキストと板書を基本とする。必要に応じてプリントを配付する。 |
|--------|--------------------------------|

|        |                                      |
|--------|--------------------------------------|
| 第 1 回  | オリエンテーション                            |
| 【学修内容】 | シラバスに沿って授業概要、主旨、評価方法の説明をする。          |
| 【事前学修】 | シラバスに目を通しておく。(2時間)                   |
| 【事後学修】 | 授業を振り返り、本授業の概要と目標について理解を深める。(2時間)    |
| 第 2 回  | 社会福祉とは何か                             |
| 【学修内容】 | 社会福祉を学ぶ意義と目的                         |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                   |
| 【事後学修】 | 授業を振り返り、社会福祉を学ぶ意義と目的について理解を深める。(2時間) |
| 第 3 回  | 社会保障①                                |
| 【学修内容】 | 社会保障制度とは                             |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                   |
| 【事後学修】 | 授業を振り返り、社会保障制度について理解を深める。(2時間)       |
| 第 4 回  | 社会保障②                                |
| 【学修内容】 | 社会保険                                 |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                   |
| 【事後学修】 | 授業を振り返り、社会保険について理解を深める。(2時間)         |
| 第 5 回  | 社会福祉の歴史                              |
| 【学修内容】 | 日本とヨーロッパ                             |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                   |
| 【事後学修】 | 授業を振り返り、社会福祉の歴史について理解を深める。(2時間)      |
| 第 6 回  | 社会福祉の法と行財政                           |
| 【学修内容】 | 社会福祉法制                               |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                   |
| 【事後学修】 | 授業を振り返り、社会福祉法制について理解を深める。(2時間)       |
| 第 7 回  | ソーシャルワークの理解                          |
| 【学修内容】 | ソーシャルワークの概念                          |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                   |
| 【事後学修】 | 授業を振り返り、ソーシャルワークについて理解を深める。(2時間)     |

|                    |   |
|--------------------|---|
| 授 業 計 画            | <p>第 8 回 最低生活保障と生活保護制度<br/> 【学修内容】 貧困問題と生活保護<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業を振り返り、生活保護制度について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 9 回 児童家庭福祉と次世代育成の展開①<br/> 【学修内容】 児童の権利と擁護<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業を振り返り、児童の権利と擁護について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 10 回 児童家庭福祉と次世代育成の展開②<br/> 【学修内容】 児童家庭福祉の相談機関と施設<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業を振り返り、児童家庭福祉の相談機関と施設について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 11 回 障がい者の自立と福祉<br/> 【学修内容】 障がいの理解と施策<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業を振り返り、障がいの理解と施策について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 12 回 高齢者の生活と福祉<br/> 【学修内容】 高齢社会における高齢者福祉、介護保険<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業を振り返り、高齢者福祉、介護保険について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 13 回 地域福祉への展開<br/> 【学修内容】 地域福祉の意義<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業を振り返り、地域福祉について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 14 回 これからの社会福祉<br/> 【学修内容】 社会福祉の課題、動向について<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業を振り返り、社会福祉の課題、動向について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 15 回 まとめ<br/> 【学修内容】 社会福祉の役割を確認し、社会福祉従事者としてのあり方を考える。<br/> 【事前学修】 全ての授業の振り返り(2時間)<br/> 【事後学修】 授業を振り返り、社会福祉を学ぶ意義と目的について理解を深める。(2時間)</p> |
| 評 価 方 法            | 筆記試験70%、平常点30%(提出物、受講態度等を加味する。)   |
| 教 科 書              | 新・社会福祉とは何か 第4版(大久保秀子著、中央法規)<br>福祉・保育小六法(みらい)  |
| 参 考 書<br>参 考 資 料 等 | 保育・教育ネオシリーズ7 社会福祉(阿部寛編著、同文書院)   |
| 備 考                | 特に記載事項なし。   |

| 授 業 科 目 名 | 形態         | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|-----------|------------|----|----|-----|-----|----------|---------|
| 社会的養護Ⅰ    | 講義         | 2  | 選択 | 必修  |     | 1年・前期    | 磯部 ゆかり  |
| 科目コード     | HgAZA10106 |    |    |     |     |          | 担当形態：単独 |

|  |            |  |  |  |  |  |  |
|--|------------|--|--|--|--|--|--|
|  | 科目に含める必要事項 |  |  |  |  |  |  |
|--|------------|--|--|--|--|--|--|

|             |  |
|-------------|--|
| 受講する上での注意事項 | 将来、保育士、幼稚園教諭や保育教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。 |
|-------------|--|

|          |   |
|----------|---|
| 授業の目的・概要 | <p>子どもの権利とは何か。権利擁護のための制度や社会的養護の意義、取り組みを理解する。</p> <p>① 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷<br/> ② 社会的養護の基本<br/> ③ 社会的養護の制度と実施体系<br/> ④ 社会的養護の対象・形態・専門職<br/> ⑤ 社会的養護の現状と課題</p> |
|----------|---|

|      |  |
|------|--|
| 到達目標 | <p>① 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。<br/> ② 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。<br/> ③ 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。<br/> ④ 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する。<br/> ⑤ 社会的養護の現状と課題について理解する。</p> |
|------|--|

|        |   |
|--------|---|
| 授業の進め方 | <p>テキストを基本に進めていく。<br/> プリントは必要に応じて配付する。<br/> DVD等、映像を通して理解を深める。</p> |
|--------|---|

|        |                                      |
|--------|--------------------------------------|
| 第 1 回  | 現代社会における社会的養護の意義、歴史の変遷Ⅰ              |
| 【学修内容】 | 社会的養護の理念、概念                          |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                   |
| 【事後学修】 | 授業を振り返り、社会的養護の理念、概念について理解を深める。(2時間)  |
| 第 2 回  | 現代社会における社会的養護の意義、歴史の変遷Ⅱ              |
| 【学修内容】 | 社会的養護の歴史の変遷                          |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                   |
| 【事後学修】 | 授業を振り返り、社会的養護の歴史について理解を深める。(2時間)     |
| 第 3 回  | 社会的養護の基本Ⅰ                            |
| 【学修内容】 | 子どもの人権擁護と社会的養護                       |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                   |
| 【事後学修】 | 授業を振り返り、子どもの人権擁護について理解を深める。(2時間)     |
| 第 4 回  | 社会的養護の基本Ⅱ                            |
| 【学修内容】 | 子ども、子育て家庭の現状                         |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                   |
| 【事後学修】 | 授業を振り返り、子ども、子育て家庭の現状について理解を深める。(2時間) |
| 第 5 回  | 社会的養護の基本Ⅲ                            |
| 【学修内容】 | 社会的養護の基本原則                           |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                   |
| 【事後学修】 | 授業を振り返り、社会的養護の基本原則について理解を深める。(2時間)   |
| 第 6 回  | 社会的養護の基本Ⅳ                            |
| 【学修内容】 | 社会的養護における保育士等の倫理、責務                  |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                   |
| 【事後学修】 | 授業を振り返り、保育士等の倫理、責務について理解を深める。(2時間)   |
| 第 7 回  | 社会的養護の制度と実施体系Ⅰ                       |
| 【学修内容】 | 社会的養護の制度、法体系                         |
| 【事前学修】 | テキストに目を通しておく。(2時間)                   |
| 【事後学修】 | 授業を振り返り、社会的養護の制度、法体系について理解を深める。(2時間) |

|                    |   |
|--------------------|---|
| 授 業 計 画            | <p>第 8 回 社会的養護の制度と実施体系Ⅱ<br/> 【学修内容】 社会的養護の仕組み、実施体系<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業を振り返り、社会的養護の仕組み、実施体系について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 9 回 社会的養護の対象・形態・専門職Ⅰ<br/> 【学修内容】 社会的養護の対象<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業を振り返り、社会的養護の対象について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 10 回 社会的養護の対象・形態・専門職Ⅱ<br/> 【学修内容】 家庭養護と施設養護<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業を振り返り、家庭養護と施設養護について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 11 回 社会的養護の対象・形態・専門職Ⅲ<br/> 【学修内容】 社会的養護に関わる専門職<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業を振り返り、社会的養護の歴史について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 12 回 社会的養護の現状と課題Ⅰ<br/> 【学修内容】 社会的養護に関する社会的状況<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業を振り返り、社会的養護に関する社会的状況について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 13 回 社会的養護の現状と課題Ⅱ<br/> 【学修内容】 施設等の運営管理<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業を振り返り、施設等の運営管理について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 14 回 社会的養護の現状と課題Ⅲ<br/> 【学修内容】 被措置児童等の虐待防止<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業を振り返り、被措置児童等の虐待防止について理解を深める。(2時間)</p> <p>第 15 回 社会的養護の現状と課題Ⅳ<br/> 【学修内容】 社会的養護と地域福祉<br/> 【事前学修】 テキストに目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業を振り返り、社会的養護と地域福祉について理解を深める。(2時間)</p> |
| 評 価 方 法            | 筆記試験70%、提出課題等30%(提出物、受講態度等)   |
| 教 科 書              | 学ぶ・わかる・みえるシリーズ保育と現代社会 保育と社会的養護Ⅰ(大竹智、みらい)<br>保育福祉小六法(みらい)  |
| 参 考 書<br>参 考 資 料 等 | 適宜紹介する。   |
| 備 考                | 提出物の期限厳守。   |

| 授 業 科 目 名 | 形態          | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|-----------|-------------|----|----|-----|-----|----------|---------|
| 教育・保育心理学  | 講義          | 2  | 選択 | 必修  |     | 1年・前期    | 濱 田 康   |
| 科目コード     | Hg AAA10201 |    |    |     |     |          | 担当形態：単独 |

| 科目に含める必要事項     |                        |
|----------------|------------------------|
| 教育の基礎的理解に関する科目 | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 |

|             |  |
|-------------|--|
| 受講する上での注意事項 | 幼児教育・保育と、子育てを取り巻く様々な環境や場面をイメージしながら学習に取り組むこと。 |
|-------------|--|

|                 |  |
|-----------------|--|
| 授 業 の 目 的 ・ 概 要 | <p>幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身に付け、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。</p> <p>① 自分や周りの人間の理解と関係の維持、又は、専門分野の仕事に心理学の知識が参考になると考える。本講義は人間の心と行動を理解しようとして、欧米で発達し展開されてきた学問を紹介することが主な目的である。</p> <p>② 講義は具体的に3つの内容で構成される。(1)心理学の概念・用語 (2)心理学の方法 (3)心理学者(人と主な概念)を中心に、授業を聴きながらこれらについてノートを取ることが学修にとって重要である。</p> |
|-----------------|--|

|         |  |
|---------|--|
| 到 達 目 標 | <p>① 子ども理解に関する心理学発展の先達の考え及び近年の代表的努力の理解。<br/>1) 約50個の代表的子ども理解に関する心理学の概念・用語の理解と習熟。<br/>2) 子ども理解に貢献した心理学者約10人の代表的な概念についての認識。</p> <p>② 子どもの発達と理解を支える保育者・教師としての役割と心構えを学習する。</p> <p>③ 乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、具体的な内容を理解している。</p> <p>④ 主体的学習を支える動機付け・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解する。</p> |
|---------|--|

|             |   |
|-------------|---|
| 授 業 の 進 め 方 | 講義の中で資料や事例に触れながら、保育と教育の心理学の基本について学び、実践につながる知識を身に付けられるよう進める。 |
|-------------|---|

|        |                                    |
|--------|------------------------------------|
| 第 1 回  | 子ども理解に関する心理学の発展 I                  |
| 【学修内容】 | 子ども理解の先達                           |
| 【事前学修】 | テキストで予習し質問事項をまとめておく。(2時間)          |
| 【事後学修】 | 出された復習課題について小レポートを作成する。(2時間)       |
| 第 2 回  | 子ども理解に関する心理学の発展 II                 |
| 【学修内容】 | 子ども理解の最近の知見                        |
| 【事前学修】 | テキストで予習し質問事項をまとめておく。(2時間)          |
| 【事後学修】 | 出された復習課題について小レポートを作成する。(2時間)       |
| 第 3 回  | 発達を捉える視点 I                         |
| 【学修内容】 | 子どもの発達を理解することの意義                   |
| 【事前学修】 | テキストで予習し質問事項をまとめておく。(2時間)          |
| 【事後学修】 | 出された復習課題について小レポートを作成する。(2時間)       |
| 第 4 回  | 発達を捉える視点 II                        |
| 【学修内容】 | 子どもの発達と環境                          |
| 【事前学修】 | テキストで予習し質問事項をまとめておく。(2時間)          |
| 【事後学修】 | 出された復習課題について小レポートを作成する。(2時間)       |
| 第 5 回  | 発達を捉える視点 III                       |
| 【学修内容】 | 発達理論と子ども観・保育観                      |
| 【事前学修】 | テキストで予習し質問事項をまとめておく。(2時間)          |
| 【事後学修】 | 出された復習課題について小レポートを作成する。(2時間)       |
| 第 6 回  | 乳幼児、児童及び生徒の心身の発達過程 I               |
| 【学修内容】 | 外的及び内的要因の相互作用、発達の概念及び教育における発達理解の意義 |
| 【事前学修】 | テキストで予習し質問事項をまとめておく。(2時間)          |
| 【事後学修】 | 出された復習課題について小レポートを作成する。(2時間)       |
| 第 7 回  | 乳幼児、児童及び生徒の心身の発達過程 II              |
| 【学修内容】 | 身体的機能と運動機能の発達                      |
| 【事前学修】 | テキストで予習し質問事項をまとめておく。(2時間)          |
| 【事後学修】 | 出された復習課題について小レポートを作成する。(2時間)       |



|                    |   |
|--------------------|---|
| 授 業 計 画            | <p>第 8 回 乳幼児、児童及び生徒の心身の発達過程Ⅲ<br/> 【学修内容】 言語機能の発達<br/> 【事前学修】 テキストで予習し質問事項をまとめておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 出された復習課題について小レポートを作成する。(2時間)</p> <p>第 9 回 乳幼児、児童及び生徒の心身の発達過程Ⅳ<br/> 【学修内容】 認知の発達<br/> 【事前学修】 テキストで予習し質問事項をまとめておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 出された復習課題について小レポートを作成する。(2時間)</p> <p>第 10 回 乳幼児、児童及び生徒の心身の発達過程Ⅴ<br/> 【学修内容】 社会情動的発達<br/> 【事前学修】 テキストで予習し質問事項をまとめておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 出された復習課題について小レポートを作成する。(2時間)</p> <p>第 11 回 乳幼児、児童及び生徒の学習(学び)の過程と保育Ⅰ<br/> 【学修内容】 学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論<br/> 【事前学修】 テキストで予習し質問事項をまとめておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 出された復習課題について小レポートを作成する。(2時間)</p> <p>第 12 回 乳幼児、児童及び生徒の学習(学び)の過程と保育Ⅱ<br/> 【学修内容】 主体的学習を支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方<br/> 【事前学修】 テキストで予習し質問事項をまとめておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 出された復習課題について小レポートを作成する。(2時間)</p> <p>第 13 回 乳幼児、児童及び生徒の学習(学び)の過程と保育Ⅲ<br/> 【学修内容】 主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方<br/> 【事前学修】 テキストで予習し質問事項をまとめておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 出された復習課題について小レポートを作成する。(2時間)</p> <p>第 14 回 乳幼児、児童及び生徒の学習(学び)の過程と保育Ⅳ<br/> 【学修内容】 保育者と教師の役割<br/> 【事前学修】 テキストで予習し質問事項をまとめておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 出された復習課題について小レポートを作成する。(2時間)</p> <p>第 15 回 まとめ<br/> 【学修内容】 復習<br/> 【事前学修】 前回までの学修内容に目を通し不明点・疑問点をあきらかにしておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 総合的な復習を行い期末試験に備える。(2時間)</p> |
| 評 価 方 法            | 筆記試験50% 課題提出等25% 受講状況等25%   |
| 教 科 書              | おなかちゃん(猫月うた著 みらいパグリスィング)<br>保育福祉小六法(株式会社みらい)  |
| 参 考 書 等<br>参 考 資 料 | 保育所保育指針(厚生労働省編、フレーベル館)<br>幼稚園教育要領(文部科学省編、フレーベル館)<br>幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府、文部科学省、厚生労働省編、フレーベル館)   |
| 備 考                | 提出物の期限厳守。   |

| 授 業 科 目 名 | 形態         | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|-----------|------------|----|----|-----|-----|----------|---------|
| 子どもの保健    | 講義         | 2  | 選択 | 必修  |     | 1年・前期    | 高塚珠美    |
| 科目コード     | HgAZA10204 |    |    |     |     |          | 担当形態：単独 |

|            |  |  |  |  |  |  |  |
|------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 科目に含める必要事項 |  |  |  |  |  |  |  |
|            |  |  |  |  |  |  |  |

|             |  |
|-------------|--|
| 受講する上での注意事項 | 保育者になる自覚を持ち、乳幼児との関わりをイメージしながら受講すること。積極的に講義に参加して学ぶこと。 |
|-------------|--|

|          |  |
|----------|--|
| 授業の目的・概要 | <p>保育現場において、子ども一人ひとりの心身の状態や発達の過程を踏まえて行う保健的対応及び集団全体の健康と安全について考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 子どもの心身の健康と保健の意義</li> <li>② 子どもの身体的発育・発達と保健</li> <li>③ 子どもの心身の健康状態とその把握の方法</li> <li>④ 子どもの疾病の予防及び適切な対応</li> </ol> |
|----------|--|

|      |  |
|------|--|
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。</li> <li>② 子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。</li> <li>③ 子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。</li> <li>④ 子どもの疾病とその予防法及び他職間の連携・協働の下で適切な対応について理解する。</li> </ol> |
|------|--|

|        |   |
|--------|---|
| 授業の進め方 | 教科書をベースにプリントやパワーポイント資料を用いて授業を進める。ミニテスト、レポート、グループワーク、ミニ実習を時折取り入れ、知識を実践的に深める。 |
|--------|---|

|  |  |
|--|--|
|  | <p>第 1 回      子どもの心身の健康と保健の意義Ⅰ</p> <p>【学修内容】 生命の保持と情緒の安定にかかわる保健活動の意義と目的、健康の概念と健康指標</p> <p>【事前学修】 教科書第1章に目を通しておく。わからない言葉は調べておく。(2時間)</p> <p>【事後学修】 復習ノートプリントを使用し授業内容を振り返る。講義のノートを整理しておく。(2時間)</p> <p>第 2 回      子どもの心身の健康と保健の意義Ⅱ</p> <p>【学修内容】 現代社会における子どもの健康に関する現状と課題、地域における保健活動と子ども虐待防止策</p> <p>【事前学修】 教科書第10章に目を通しておく。わからない言葉は調べておく。(2時間)</p> <p>【事後学修】 復習ノートプリントを使用し授業内容を振り返る。講義のノートを整理しておく。(2時間)</p> <p>第 3 回      子どもの身体的発育・発達と保健Ⅰ</p> <p>【学修内容】 身体発育及び運動機能の発達と保健、発育・発達の把握と健康診断</p> <p>【事前学修】 教科書第2章に目を通しておく。わからない言葉は調べておく。(2時間)</p> <p>【事後学修】 復習ノートプリントを使用し授業内容を振り返る。講義のノートを整理しておく。(2時間)</p> <p>第 4 回      子どもの身体的発育・発達と保健Ⅱ</p> <p>【学修内容】 生理機能の発達と保健</p> <p>【事前学修】 第2章に目を通しておく。わからない言葉は調べておく。(2時間)</p> <p>【事後学修】 復習ノートプリントを使用し授業内容を振り返る。講義のノートを整理しておく。(2時間)</p> <p>第 5 回      ミニ実習「身体計測の実践」</p> <p>【学修内容】 健康診断を体験する、身長・体重・頭囲・胸囲測定の実践</p> <p>【事前学修】 教科書第2章の図2を参考に身体測定の方法をまとめておく。(2時間)</p> <p>【事後学修】 子どもの身体計測の方法や測定時の配慮事項について演習を振り返り整理しておく。(2時間)</p> <p>第 6 回      子どもの心身の健康状態とその把握Ⅰ</p> <p>【学修内容】 子どもの健康状態の把握と対応、よくみられる症状とその対応</p> <p>【事前学修】 教科書第7章に目を通しておく。わからない言葉は調べておく。(2時間)</p> <p>【事後学修】 復習ノートプリントを使用し授業内容を振り返る。講義のノートを整理しておく。(2時間)</p> <p>第 7 回      子どもの心身の健康状態とその把握Ⅱ</p> <p>【学修内容】 保護者との情報共有、保育所の家庭との連携</p> <p>【事前学修】 教科書第9章に目を通しておく。わからない言葉は調べておく。(2時間)</p> <p>【事後学修】 復習ノートプリントを使用し授業内容を振り返る。講義のノートを整理しておく。(2時間)</p> |
|--|--|

|                    |   |
|--------------------|---|
| 授 業 計 画            | <p>第 8 回 子どもの疾病の予防Ⅰ<br/> 【学修内容】 感染症とその対応①<br/> 【事前学修】 教科書第7章5, 6に目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 復習ノートプリントを使用し授業内容を振り返る。講義のノートを整理しておく。(2時間)</p> <p>第 9 回 子どもの疾病の予防Ⅱ<br/> 【学修内容】 感染症とその対応②予防接種について<br/> 【事前学修】 教科書第7章5, 6に目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 復習ノートプリントを使用し授業内容を振り返る。講義のノートを整理しておく。(2時間)</p> <p>第 10 回 子どもの疾病の予防Ⅲ<br/> 【学修内容】 実技・GW「感染予防のための手洗い」と「子どもに指導する方法」<br/> 【事前学修】 子どもへの声かけの仕方、生活指導に興味を持たせる工夫などを文献などで調べておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 子どもに生活習慣を指導するときの配慮事項、工夫について演習を踏まえて整理しておく。(2時間)</p> <p>第 11 回 子どもの疾病の適切な対応Ⅰ<br/> 【学修内容】 精神疾患・アレルギー・感覚器<br/> 【事前学修】 教科書第3章に目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 復習ノートプリントを使用し授業内容を振り返る。講義のノートを整理しておく。(2時間)</p> <p>第 12 回 子どもの疾病の適切な対応Ⅱ<br/> 【学修内容】 主な慢性疾患<br/> 【事前学修】 教科書第7章7に目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 復習ノートプリントを使用し授業内容を振り返る。講義のノートを整理しておく。(2時間)</p> <p>第 13 回 子どもの疾病の適切な対応Ⅲ<br/> 【学修内容】 慢性疾患・障害とその支援制度<br/> 【事前学修】 教科書第7章7に目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 復習ノートプリントを使用し授業内容を振り返る。講義のノートを整理しておく。(2時間)</p> <p>第 14 回 子どもの疾病の適切な対応Ⅳ<br/> 【学修内容】 救急処置について<br/> 【事前学修】 教科書第8章に目を通しておく。AEDの使い方、胸骨圧迫の方法を調べておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 復習ノートプリントを使用し授業内容を振り返る。DVD視聴の感想と講義のノートを整理しておく。(2時間)</p> <p>第 15 回 子どもの安全な環境づくり<br/> 【学修内容】 事故と疾病を予防・早期発見するために・全体のまとめ<br/> 【事前学修】 教科書第4章に目を通しておく。子どもがいる環境を思い浮かべ子ども目線での危険な場所を書き出す。(2時間)<br/> 【事後学修】 復習ノートプリントを使用し授業内容を振り返る。講義のノートを整理しておく。(2時間)</p> |
| 評 価 方 法            | 筆記試験(70%)、平常点(30%) 課題提出物・平素の受講態度等を加味する。   |
| 教 科 書              | 子どもの保健・健康と安全―理論と実際―(岩田力・前澤眞理子編著、同文書院)   |
| 参 考 書<br>参 考 資 料 等 | これならわかる!子どもの保健演習ノート 改訂第3版(榊原洋一・小林美由紀著、診断と治療社)<br>こどもの病気の地図帳(鴨下重彦・柳澤正義監修、講談社)<br>子どもの保健・実習(兼松百合子・荒木暁子・羽室俊子編著、同文書院)<br>図説 国民衛生の動向 2019/2020(厚生労働統計協会)他、適宜紹介する。  |
| 備 考                | 提出物の期限厳守。   |

| 授 業 科 目 名 |            | 形態 | 単位      | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|-----------|------------|----|---------|----|-----|-----|----------|---------|
| 子どもの食と栄養  |            | 演習 | 2       | 選択 | 必修  |     | 1年・後期    | 佐藤 恵    |
| 科目コード     | HgAZB10205 |    | 担当形態：単独 |    |     |     |          |         |

|            |  |
|------------|--|
| 科目に含める必要事項 |  |
|------------|--|

|             |   |
|-------------|---|
| 受講する上での注意事項 | 保育者になる自覚を持ち、保育の現場をイメージしながら、積極的かつ主体的に受講すること。 |
|-------------|---|

|                 |   |
|-----------------|---|
| 授 業 の 目 的 ・ 概 要 | <p>子どもの栄養と食生活は、生涯にわたる健康と生活の基盤であり、小児期の食生活がその後の心と体の健康に大きな影響を及ぼす。この時期の発育・発達は著しく、各段階に応じた健全な成長、発達を促すために必要な事柄を栄養と食生活の面から学ぶとともに、現代における子どもを取り巻く問題点を把握し、施設での対応、子どもと保護者への支援方法について、また、食育の計画、実践のため、調理の基礎を学び、小児用の調理器具の扱いや指導方法について学ぶことを目的とする。</p> <p>① 子どもの健康と食生活の意義についての講義・演習・実践<br/> ② 栄養に関する基本的知識についての講義・演習・実践<br/> ③ 子どもの発育・発達と食生活についての講義・演習・実践<br/> ④ 食育の基本と内容についての講義・演習・実践<br/> ⑤ 家庭や児童福祉施設における食事と栄養についての講義・演習・実践<br/> ⑥ 特別な配慮を要する子どもの食と栄養についての講義・演習・実践</p> |
|-----------------|---|

|         |   |
|---------|---|
| 到 達 目 標 | <p>① 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を修得する。<br/> ② 子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。<br/> ③ 養護及び教育の一体性を踏まえた保育における食育の意義・目的、基本的考え方、その内容等について理解する。<br/> ④ 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について理解する。<br/> ⑤ 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。</p> |
|---------|---|

|             |  |
|-------------|--|
| 授 業 の 進 め 方 | <p>授業毎にテーマに沿った講義、その内容についての演習課題への取り組みと実践を行う。<br/> また、絵本やDVD等の視聴覚教材や衛生チェック機器等を用い、より講義内容を深める。</p> |
|-------------|--|

|  |   |
|--|---|
|  | <p>第 1 回      オリエンテーション<br/> 【学修内容】      子どもの食と栄養の学び<br/> 【事前学修】      栄養について調べる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】      子どもにとっての「食」について考える。(0.5時間)</p> <p>第 2 回      オリエンテーション<br/> 【学修内容】      調理実習の心得や子どもへの指導<br/> 【事前学修】      調理時の留意点を調べる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】      調理時の子どもへの指導方法を考える。(0.5時間)</p> <p>第 3 回      子どもの健康と食生活の意義<br/> 【学修内容】      子どもの心身の健康と食生活・子どもの食生活の現状と課題<br/> 【事前学修】      子どもの健康について調べる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】      子どもの食生活の現状についてまとめる。(0.5時間)</p> <p>第 4 回      子どもの健康と食生活の意義<br/> 【学修内容】      衛生管理、正しい手洗い方法を学び指導方法を考える<br/> 【事前学修】      正しい手洗い方法について調べる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】      正しい手洗いについての指導方法を考える。(0.5時間)</p> <p>第 5 回      栄養に関する基本的知識<br/> 【学修内容】      栄養の基本概念と栄養素の種類と機能<br/> 【事前学修】      栄養素の種類について調べる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】      栄養素の種類と機能についてまとめる。(0.5時間)</p> <p>第 6 回      栄養に関する基本的知識<br/> 【学修内容】      実際の食べ物から働きと栄養バランスを考える<br/> 【事前学修】      栄養素の働きについて調べる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】      バランスのとれた食事について考える。(0.5時間)</p> <p>第 7 回      栄養に関する基本的知識<br/> 【学修内容】      食事摂取基準と献立作成・調理の基本<br/> 【事前学修】      食事摂取基準について調べる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】      子どもが喜ぶ献立について考える。(0.5時間)</p> <p>第 8 回      栄養に関する基本的知識<br/> 【学修内容】      調理の基礎と子ども向け献立の調理から食材の栄養を考える<br/> 【事前学修】      調理時の留意点について調べる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】      調理時の指導方法について考える。(0.5時間)</p> |
|--|---|

- 第 9 回 子どもの発育・発達と食生活  
 【学修内容】 胎児期（妊娠期）～乳児期の授乳・離乳の意義と食生活  
 【事前学修】 胎児期（妊娠期）の特徴について調べる。（0.5時間）  
 【事後学修】 胎児期（妊娠期）の生活の留意点についてまとめる。（0.5時間）
- 第10 回 子どもの発育・発達と食生活  
 【学修内容】 胎児期（妊娠期）～乳児期の授乳・離乳期の食事を通して学ぶ  
 【事前学修】 胎児期（妊娠期）の食生活の特徴を調べる。（0.5時間）  
 【事後学修】 胎児期（妊娠期）に喜ばれる食事について考える。（0.5時間）
- 第11 回 子どもの発育・発達と食生活  
 【学修内容】 乳児期の離乳の意義と食生活  
 【事前学修】 乳児期の発育・発達について調べる。（0.5時間）  
 【事後学修】 乳児期の栄養についてまとめる。（0.5時間）
- 第12 回 子どもの発育・発達と食生活  
 【学修内容】 離乳食を通して学ぶ  
 【事前学修】 離乳食について調べる。（0.5時間）  
 【事後学修】 離乳食を調理するときの留意点についてまとめる。（0.5時間）
- 第13 回 子どもの発育・発達と食生活  
 【学修内容】 幼児期の心身の発達と食生活  
 【事前学修】 幼児期の発育・発達について調べる。（0.5時間）  
 【事後学修】 幼児の喜ぶ食事について考える。（0.5時間）
- 第14 回 子どもの発育・発達と食生活  
 【学修内容】 幼児を対象とした食事を通して学ぶ  
 【事前学修】 幼児期の特徴について調べる。（0.5時間）  
 【事後学修】 幼児期に必要な栄養素について考える。（0.5時間）
- 第15 回 子どもの発育・発達と食生活  
 【学修内容】 学童期の心身の発達と食生活・生涯発達と食生活  
 【事前学修】 学童期の特徴について調べる。（0.5時間）  
 【事後学修】 学童期に必要な栄養素についてまとめる。（0.5時間）
- 第16 回 子どもの発育・発達と食生活  
 【学修内容】 学童を対象とした食事を通して学ぶ  
 【事前学修】 学童期の食生活について調べる。（0.5時間）  
 【事後学修】 学童期にふさわしい食事について考える。（0.5時間）
- 第17 回 食育の基本と内容  
 【学修内容】 保育における食育の意義・目的と基本的な考え方  
 【事前学修】 食育基本法に目を通す。（0.5時間）  
 【事後学修】 保育の現場で実施されている食育についてまとめる。（0.5時間）
- 第18 回 食育の基本と内容  
 【学修内容】 郷土食を通して学ぶ  
 【事前学修】 郷土食について調べる。（0.5時間）  
 【事後学修】 郷土食の作り方をまとめる。（0.5時間）
- 第19 回 食育の基本と内容  
 【学修内容】 食育の内容と計画及び評価、食育のための環境  
 【事前学修】 食育について調べる。（0.5時間）  
 【事後学修】 実施してみたい食育体験について考える。（0.5時間）
- 第20 回 食育の基本と内容  
 【学修内容】 行事食を通して学ぶ  
 【事前学修】 行事食について調べる。（0.5時間）  
 【事後学修】 身近な行事食についてまとめる。（0.5時間）
- 第21 回 食育の基本と内容  
 【学修内容】 地域の関係機関や職員間の連携、食生活指導及び食を通した保護者への支援  
 【事前学修】 地域の特徴について調べる。（0.5時間）  
 【事後学修】 保護者への支援時に留意する点をまとめる。（0.5時間）
- 第22 回 食育の基本と内容  
 【学修内容】 弁当を通して食生活を指導する  
 【事前学修】 子どもが喜ぶお弁当について調べる。（0.5時間）  
 【事後学修】 お弁当調理の留意点についてまとめる。（0.5時間）
- 第23 回 家庭や児童福祉施設における食事と栄養  
 【学修内容】 家庭における食事と栄養  
 【事前学修】 朝食の役割について調べる。（0.5時間）  
 【事後学修】 家庭で注意すべき食生活についてまとめる。（0.5時間）
- 第24 回 家庭や児童福祉施設における食事と栄養  
 【学修内容】 日常の食事を通して食事の役割や栄養を考える  
 【事前学修】 家庭における食生活の問題点を調べる。（0.5時間）  
 【事後学修】 家庭への食指導を実施する際の留意点をまとめる。（0.5時間）

|                      |   |
|----------------------|---|
|                      | <p>第25 回 家庭や児童福祉施設における食事と栄養<br/> 【学修内容】 児童福祉施設における食事と栄養<br/> 【事前学修】 児童福祉施設について調べる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 間食の役割についてまとめる。(0.5時間)</p> <p>第26 回 家庭や児童福祉施設における食事と栄養<br/> 【学修内容】 間食を通して食事の提供とマナーを学ぶ<br/> 【事前学修】 食事のマナーについて調べる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 食事のマナーの指導方法について考える。(0.5時間)</p> <p>第27 回 特別な配慮を要する子どもの食と栄養<br/> 【学修内容】 食物アレルギーのある子どもへの対応<br/> 【事前学修】 食物アレルギーについて調べる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 食物アレルギーの対応方法について考える。(0.5時間)</p> <p>第28 回 特別な配慮を要する子どもの食と栄養<br/> 【学修内容】 食物アレルギー対応食を学ぶ<br/> 【事前学修】 食物アレルギー対応食について調べる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 食物アレルギー対応食の留意点をまとめる。(0.5時間)</p> <p>第29 回 特別な配慮を要する子どもの食と栄養<br/> 【学修内容】 疾病及び体調不良の子ども・障がいのある子どもへの対応<br/> 【事前学修】 幼児期におけるトラブルについて調べる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 障がいのある子どもへの対応時の留意点をまとめる。(0.5時間)</p> <p>第30 回 特別な配慮を要する子どもの食と栄養<br/> 【学修内容】 介護食を通して学ぶ<br/> 【事前学修】 介護食について調べる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 介護食についてまとめる。(0.5時間)</p> |
| <p>評価方法</p>          | <p>筆記試験(50%)、平常点(50%)<br/> 筆記試験(知識)、演習課題の取り組み(意欲・態度)、実践(意欲・態度・向上心)等を総合して評価する。</p>   |
| <p>教科書</p>           | <p>オリジナルテキスト</p>  |
| <p>参考書<br/>参考資料等</p> | <p>保育所保育指針(厚生労働省編、フレーベル館)<br/> 幼稚園教育要領(文部科学省編、フレーベル館)<br/> 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館)<br/> ビジュアル食品成分表(大修館書店)</p>   |
| <p>備考</p>            | <p>グループワーク、調理実習を行うため、実習に適した服装、必要な持ち物を準備し、時間を厳守すること。<br/> また、提出物の期限を厳守すること。</p>  |

| 授 業 科 目 名 | 形態          | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|-----------|-------------|----|----|-----|-----|----------|---------|
| 保育・教育課程論  | 講義          | 2  | 選択 | 必修  | 必修  | 1年・後期    | 磯 島 年 成 |
| 科目コード     | Hg AAA10301 |    |    |     |     |          | 担当形態：単独 |

|                |                                   |
|----------------|-----------------------------------|
| 教育の基礎的理解に関する科目 | 科目に含める必要事項                        |
|                | 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。） |

|             |  |
|-------------|--|
| 受講する上での注意事項 | 将来、保育士、幼稚園教諭や保育教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。 |
|-------------|--|

|                 |  |
|-----------------|--|
| 授 業 の 目 的 ・ 概 要 | <p>保育の場としての保育所（園）、幼稚園や認定こども園は、子どもに適切な環境を用意して、心身ともに健全な発達を促し、保障する役割を担っている。ここでは、子ども一人ひとりの年齢や発達段階にふさわしい活動を用意し、子ども自らが主体的に活動し、人とかかわることができる環境の構成が求められる。しかし、子ども自らの主体的な活動といっても、それぞれの興味や関心に基づき気の向くままに活動するのではなく、保育者の方向性や考え方に沿った活動に子どもを導いていくことが重要である。そこで、内容を時系列に沿って配列した指導の全体計画が必要になる。</p> <p>ここでは、保育所保育指針、幼稚園教育要領や認定こども園教育・保育要領のねらいや内容を活動として計画的・意図的に準備する具体としての指導計画案の作成を通して、保育者としての姿勢や心構えを身に付けていくことを目指している。</p> |
|-----------------|--|

|         |  |
|---------|--|
| 到 達 目 標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 教育課程の意義や場に応じた教育計画の必要性について理解し、日常の園生活との関連性を捉えることができる。</li> <li>② 保育教育課程と日常の保育活動のかかわりを捉え、保育計画の作成について具体的に理解する。</li> <li>③ 計画・実践・評価・改善の過程についてその全体構造を能動的に捉え、理解する。</li> <li>④ カリキュラムマネジメントの意義や重要性を理解する。</li> </ol> |
|---------|--|

|             |   |
|-------------|---|
| 授 業 の 進 め 方 | 保育園、幼稚園や認定こども園の現場との関連を図りながら授業を進めていく。必要に応じて、資料プリントを配付し、授業を進める。 |
|-------------|---|

|        |  |
|--------|--|
| 第 1 回  | カリキュラムの基礎理論  |
| 【学修内容】 | カリキュラムの意義について学び、カリキュラムの必要性・変遷・特性について理解する。                  |
| 【事前学修】 | 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼稚園教育要領や認定こども園教育・保育要領の「別表、編成」を一読しておく。（2時間） |
| 【事後学修】 | 第1回の講義資料を読んで復習し、整理しておく。（2時間）                               |
| 第 2 回  | カリキュラムの構造  |
| 【学修内容】 | カリキュラムの編成の前提、基盤、指導計画について理解する。                              |
| 【事前学修】 | 事前に配付された第2回の講義資料を読んで予習しておく。（2時間）                           |
| 【事後学修】 | 第2回の講義資料を読んで復習し、整理しておく。（2時間）                               |
| 第 3 回  | カリキュラムの類型  |
| 【学修内容】 | カリキュラムの類型の比較から幼児教育の役割や機能、形式等について理解する。                      |
| 【事前学修】 | 事前に配付された第3回の講義資料を読んで予習しておく。（2時間）                           |
| 【事後学修】 | 第3回の講義資料を読んで復習し、整理しておく。（2時間）                               |
| 第 4 回  | カリキュラムの法的根拠  |
| 【学修内容】 | 教育基本法、学校教育法、教育要領・指針を通してカリキュラムの法的根拠について理解する。                |
| 【事前学修】 | 事前に配付された第4回の講義資料を読んで予習しておく。（2時間）                           |
| 【事後学修】 | 第4回の講義資料を読んで復習し、整理しておく。（2時間）                               |
| 第 5 回  | 幼稚園、保育所、認定こども園の保育計画  |
| 【学修内容】 | 保育・教育計画の基本、編成、評価について理解する。                                  |
| 【事前学修】 | 事前に配付された第5回の講義資料を読んで予習しておく。（2時間）                           |
| 【事後学修】 | 第5回の講義資料を読んで復習し、整理しておく。（2時間）                               |
| 第 6 回  | 教育課程編成の要件・手順   |
| 【学修内容】 | 教育課程の基本、編成の手順、進め方について理解する。                                 |
| 【事前学修】 | 事前に配付された第6回の講義資料を読んで予習しておく。（2時間）                           |
| 【事後学修】 | 第6回の講義資料を読んで復習し、整理しておく。（2時間）                               |
| 第 7 回  | 保育計画の種類と内容   |
| 【学修内容】 | 長期、短期の計画の種類や内容について理解する。                                    |
| 【事前学修】 | 事前に配付された第7回の講義資料を読んで予習しておく。（2時間）                           |
| 【事後学修】 | 第7回の講義資料を読んで復習し、整理しておく。（2時間）                               |

|           |  |
|-----------|--|
| 授 業 計 画   | <p>第 8 回 長期の指導計画<br/> 【学修内容】 園生活と長期指導計画、作成の仕方について理解する。<br/> 【事前学修】 事前に配付された第8回の講義資料を読んで予習しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 第8回の講義資料を読んで復習し、整理しておく。(2時間)</p> <p>第 9 回 短期の指導計画1<br/> 【学修内容】 短期指導計画の意義、作成、活用について理解する。<br/> 【事前学修】 事前に配付された第9回の講義資料を読んで予習しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 第9回の講義資料を読んで復習し、整理しておく。(2時間)</p> <p>第 10 回 短期の指導計画2<br/> 【学修内容】 「週案」「日案」の作成について理解する。<br/> 【事前学修】 事前に配付された第10回の講義資料を読んで予習しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 第10回の講義資料を読んで復習し、整理しておく。(2時間)</p> <p>第 11 回 保育計画と評価<br/> 【学修内容】 様々な評価、保育実践の評価、保育マネジメントについて理解する。<br/> 【事前学修】 事前に配付された第11回の講義資料を読んで予習しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 第11回の講義資料を読んで復習し、整理しておく。(2時間)</p> <p>第 12 回 幼・保・小との連携カリキュラム<br/> 【学修内容】 幼・保、小の連携の実際について理解する。<br/> 【事前学修】 事前に配付された第12回の講義資料を読んで予習しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 第12回の講義資料を読んで復習し、整理しておく。(2時間)</p> <p>第 13 回 特別支援教育カリキュラム<br/> 【学修内容】 特別支援教育の現状と課題、特別支援に関するカリキュラムについて理解する。<br/> 【事前学修】 事前に配付された第13回の講義資料を読んで予習しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 第13回の講義資料を読んで復習し、整理しておく。(2時間)</p> <p>第 14 回 いろいろなカリキュラム<br/> 【学修内容】 子育て支援や危機管理に関することなど、いろいろな視点からカリキュラムを理解する。<br/> 【事前学修】 事前に配付された第14回の講義資料を読んで予習しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 第14回の講義資料を読んで復習し、整理しておく。(2時間)</p> <p>第 15 回 今後の課題と評価<br/> 【学修内容】 カリキュラムの創造・挑戦 カリキュラム評価など今後の課題について理解する。<br/> 【事前学修】 事前に配付された第15回の講義資料を読んで予習しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 第15回の講義資料を読んで復習し、整理しておく。(2時間)</p> |
| 評 価 方 法   | 講義に関するレポート(20%)、各講義の課題と振り返り(80%)   |
| 教 科 書     | 保育所保育指針(厚生労働省編、フレーベル館)<br>幼稚園教育要領(文部科学省編、フレーベル館)<br>幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館)  |
| 参 考 資 料 等 | 幼稚園教育要領解説(文部科学省編、フレーベル館)<br>保育所保育指針解説(厚生労働省編、フレーベル館)<br>幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館)<br>幼児理解に基づいた評価(文部科学省、チャイルド本社)<br>授業中適宜資料を配付する。   |
| 備 考       | 実務経験のある教員：札幌市立小学校等における実務経験を活かした授業を行う。  |



| 授 業 科 目 名          | 形態  | 単位              | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|--------------------|---|-----------------|----|-----|-----|----------|---------|
| 幼児と健康              | 講義  | 1               | 選択 | /   | 必修  | 1年・前期    | 土橋 弘美   |
| 科目コード              | HgZAA10302  |                 |    |     |     |          | 担当形態：単独 |
| 領域及び保育内容の指導法に関する科目 |   | 科目に含める必要事項      |    |     |     |          |         |
|                    |   | 領域に関する専門的事項（健康） |    |     |     |          |         |
| 受講する上での注意事項        | 将来、幼稚園教諭や保育教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。  |                 |    |     |     |          |         |
| 授業の目的・概要           | 健康な心と体を育て、自ら安全な生活をつくり出す力を養うため、幼児期の健康課題と健康の発達の意味を知り、幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成、安全な生活と怪我や病気の予防、幼児期の運動発達における特徴や大人との相違を理解し、幼児期において多様な動きを獲得していくことの意義と重要性について学ぶ。  |                 |    |     |     |          |         |
| 到達目標               | 領域「健康」の指導に関する、幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの専門的事項についての知識を身に付けることを目標とする。<br>・ 幼児の健康<br>・ 体の諸機能の発達と生活習慣の形成<br>・ 安全な生活と病気の予防<br>・ 幼児期の運動発達と身体活動   |                 |    |     |     |          |         |
| 授業の進め方             | 授業計画にある各回のテーマに沿って、教科書、参考書、参考資料等を用いて授業を進める。  |                 |    |     |     |          |         |
| 授業計画               | 第 1 回 領域「健康」の意味<br>【学修内容】 健康の考え方、人権としての健康、領域「健康」と他領域との関係を理解する。<br>【事前学修】 教科書第1章「領域健康の意味」の頁に目を通しておく。（1時間）<br>【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。（1時間）<br>第 2 回 健康にかかわる子どもの生活実態と心身の健康<br>【学修内容】 遊び、習い事、食生活、生活リズム、心と身体の間を関連を理解する。<br>【事前学修】 教科書第2章「健康にかかわる子どもの生活実態」の頁に目を通しておく。（2時間）<br>【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。（2時間）<br>第 3 回 身体・心の発達と園生活<br>【学修内容】 身体・運動・情緒・社会性・知的能力の発達と園生活について理解する。<br>【事前学修】 教科書第3章「子どもの心身の発達」第5章「心の発達と園生活」の頁に目を通しておく。（2時間）<br>【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。（2時間）<br>第 4 回 遊びと健康、保育者の援助<br>【学修内容】 遊びと心身の健康、室内・戸外遊び、運動遊びの意義、保育者の援助について理解する。<br>【事前学修】 教科書第6章「遊びと健康」の頁に目を通しておく。（2時間）<br>【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。（2時間）<br>第 5 回 基本的な生活習慣の指導・援助<br>【学修内容】 基本的な生活習慣を身に付ける意義・内容、指導・援助のあり方について理解する。<br>【事前学修】 教科書第8章「基本的な生活習慣の指導・援助」の頁に目を通しておく。（2時間）<br>【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。（2時間）<br>第 6 回 保健への配慮と指導・援助<br>【学修内容】 健康状態の把握、疾病とその予防・事故・処置、食育と健康について理解する。<br>【事前学修】 教科書第9章「保健への配慮と指導・援助」の頁に目を通しておく。（2時間）<br>【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。（2時間）<br>第 7 回 安全の管理と指導・援助、園外保育と健康<br>【学修内容】 安全管理、事故やけがの要因と発生場所、安全指導と援助、家庭・地域との連携、園外保育で育つ心身の健康について理解する。<br>【事前学修】 教科書第10章「安全の管理と指導・援助」の頁に目を通して理解する。（2時間）<br>【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。（2時間） |                 |    |     |     |          |         |

|                            |  |
|----------------------------|--|
|                            | <p>第 8 回            まとめ</p> <p>【学修内容】    幼児と健康の内容について確認テストを実施し理解を深める。</p> <p>【事前学修】    前時までの内容に目を通しておく。(2時間)</p> <p>【事後学修】    授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。(2時間)</p> |
| <p>評 価 方 法</p>             | <p>筆記試験(70%)、平常点・提出物(30%)等を総合して評価する。</p>   |
| <p>教 科 書</p>               | <p>保育内容 健康(榎沢良彦・入江礼子編著、建帛社)</p>  |
| <p>参 考 書<br/>参 考 資 料 等</p> | <p>幼稚園教育要領(文部科学省編、フレーベル館)<br/>         保育所保育指針(厚生労働省編、フレーベル館)<br/>         幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館)<br/>         その他、適宜紹介する。</p>            |
| <p>備 考</p>                 | <p>特に記載事項なし。</p>   |

| 授 業 科 目 名 |            | 形態 | 単位      | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|-----------|------------|----|---------|----|-----|-----|----------|---------|
| 幼児と人間関係   |            | 講義 | 1       | 選択 | /   | 必修  | 1年・前期    | 加藤 貴子   |
| 科目コード     | HgZAA10303 |    | 担当形態：単独 |    |     |     |          |         |

|                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 領域及び保育内容の指導法に関する科目 | 科目に含める必要事項        |
|                    | 領域に関する専門的事項（人間関係） |

|             |  |
|-------------|--|
| 受講する上での注意事項 | 将来、保育士、幼稚園教諭や保育教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。 |
|-------------|--|

|             |   |
|-------------|---|
| 授 業 の 目的・概要 | <p>「人間関係」の希薄化が指摘されている現代、保育所（園）、幼稚園や認定こども園は、子どもが安心できる場でなければならない。</p> <p>また、子どもが身近な「もの」「ひと」「こと」と出会い、かかわりあいながら学び成長していく場である。</p> <p>ここでは、幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領に示されている「人間関係」の内容を吟味しながら保育所（園）、幼稚園、認定こども園が、子どもにとって居心地の良い場所と感ぜられるための要素を探っていく。</p> <p>更に、映像資料や実践事例等を効果的に活用し、実際の場面を想定しながら、子どもとともに生活する保育者のあり方や資質に気づき、高める機会となることを目標としている。</p> |
|-------------|---|

|      |  |
|------|--|
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 幼児を取り巻く人間関係の現代の特徴とその社会的背景を理解する。</li> <li>② 幼児期の遊びや生活の中で育つ人と関わる力の発達について、身近な大人との関係、幼児との関係、集団の中での育ちの観点から理解する。</li> <li>③ 幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領の内容を捉え、人間関係を深めていくための模擬実践を行うことができる。</li> <li>④ 事例をもとに保育者として、どう行動すべきかを理解し、総合的な知識・技術・判断力を修得する。</li> </ol> |
|------|--|

|        |  |
|--------|--|
| 授業の進め方 | 幼児期に育てるべき人間関係形成の力について、発達を意識した内容構成の講義を行う。理論・実践等を交え、より具体的に理解を深める講義内容とする。 |
|--------|--|

|         |   |
|---------|---|
| 授 業 計 画 | <p>第 1 回 人間関係の全体像、内容と留意点</p> <p>【学修内容】 ねらいの確認、幼稚園・保育所・認定こども園での内容</p> <p>【事前学修】 教科書序章 保育・幼児教育の基本を通読し、資質・能力の三つの柱を理解しておく。（1時間）</p> <p>【事後学修】 幼稚園教育要領等に記載されている幼児教育の基本を確認する。（1時間）</p> <p>第 2 回 発達から見た人間関係</p> <p>【学修内容】 発達特性、自我の芽生え、環境とのかかわり</p> <p>【事前学修】 教科書第1部第1章から第4章までを通読し、乳幼児の人とかかわる力の発達と保育を理解する。（2時間）</p> <p>【事後学修】 乳幼児期の社会的発達について特徴を整理する。（2時間）</p> <p>第 3 回 一人遊びから集団遊び</p> <p>【学修内容】 集団の特性、集団の展開、規範意識、道徳性</p> <p>【事前学修】 教科書第5章「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿における領域人間関係に関する発達と保育」を通読する。（2時間）</p> <p>【事後学修】 授業内容や配付された資料から内容を振り返り、理解を深める。（2時間）</p> <p>第 4 回 環境構成から見た人間関係</p> <p>【学修内容】 教材の選び方、情報機器等の利用の仕方</p> <p>【事前学修】 教科書第4章を通読し、人とかわる力の発達と遊びについて考えをまとめておく。（2時間）</p> <p>【事後学修】 授業内容をふまえ、乳幼児期の人間関係にかかわる具体的な遊びについて整理する。（2時間）</p> <p>第 5 回 小学校以降を意識した人間関係</p> <p>【学修内容】 幼保小連携、小学生や大人とのかかわり</p> <p>【事前学修】 教科書第6章と第9章を通読し、家庭や地域とのかかわりや幼保小連携・接続について理解しておく。（2時間）</p> <p>【事後学修】 配付された資料などを振り返り、学んだことや自分自身の考えを整理する。（2時間）</p> <p>第 6 回 多様な人とかかわり</p> <p>【学修内容】 特別な支援を要する子とかかわり、配慮、地域とのかかわり</p> <p>【事前学修】 園における特別な教育的支援を必要とする幼児について調べ、質問等をまとめておく。（2時間）</p> <p>【事後学修】 授業内容をふまえ、保育者はどのように援助や配慮をしなければならないか整理する。（2時間）</p> |
|---------|---|

|                    |  |
|--------------------|--|
|                    | <p>第 7 回 指導案の作成</p> <p>【学修内容】 部分指導案の作成を通して具体的ななかかわり方の方法を理解する</p> <p>【事前学修】 教科書第8章を通読し、3歳から5歳の子どもが楽しめる遊びの指導案を構想する。(2時間)</p> <p>【事後学修】 ねらいと内容について復習し、指導案を完成させる。(2時間)</p> <p>第 8 回 模擬保育</p> <p>【学修内容】 作成した部分指導案の概要発表と交流、評価(チェックリスト等)について</p> <p>【事前学修】 領域「人間関係」のねらいを意識した指導案の作成・見直しを進める。(2時間)</p> <p>【事後学修】 指導案の立案作成・実践(模擬保育)・振り返り・評価・改善について理解を深める。(2時間)</p> |
| <p>評 価 方 法</p>     | <p>受講姿勢(関心・意欲・態度)10%、課題取組(意欲・知識・向上心)50%、筆記試験(知識・向上心)40%の事項を総合して評価する。</p>   |
| <p>教 科 書</p>       | <p>子どもの姿から始める 領域・人間関係【シリーズ知ゆりかご】(秋田喜代美・三宅茂夫監修、三宅茂夫編 みらい)</p>   |
| <p>参 考 資 料 書 等</p> | <p>保育所保育指針解説(厚生労働省編、フレーベル館)</p> <p>幼稚園教育要領解説(文部科学省編、フレーベル館)</p> <p>幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館)</p> <p>新訂 事例で学ぶ保育内容 領域 人間関係(無藤隆監修、岩立京子編者代表 萌文書林)</p>   |
| <p>備 考</p>         | <p>実務経験のある教員:札幌市立幼稚園における幼児教育に関する実務経験を活かした授業を行う。</p>  |

| 授 業 科 目 名 | 形態          | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|-----------|-------------|----|----|-----|-----|----------|---------|
| 健康（指導法）   | 演習          | 1  | 選択 | 必修  | 必修  | 1年・後期    | 土 橋 弘 美 |
| 科目コード     | Hg AAB20308 |    |    |     |     |          | 担当形態：単独 |

|                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 領域及び保育内容の指導法に関する科目 | 科目に含める必要事項                |
|                    | 保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） |

|             |  |
|-------------|--|
| 受講する上での注意事項 | 将来、保育士、幼稚園教諭や保育教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。 |
|-------------|--|

|                 |   |
|-----------------|---|
| 授 業 の 目 的 ・ 概 要 | <p>幼児期に「健康的な生活習慣」を確立することは、児童期、青年期へと成長していく基礎を築く大切なことである。子どもたちが、自ら健康な心と体を育て、健康で安全な生活をつくり出す力を養い身に付けていくために、保育者としてどのようなかわりができるか考察し、実践的な知識と技能の基礎を修得することをねらいとする。</p> |
|-----------------|---|

|      |  |
|------|--|
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらいと内容を理解する。</li> <li>② 健康についての理解を深め、心と体の健康をつくり上げていく生活習慣や遊びの大切さを理解する。</li> <li>③ 安全への配慮を理解し、健康で安全な体の維持を図る方策を理解する。</li> <li>④ 事例を基に、幼稚園教諭、保育士、保育教諭としてどのように行動すべきかが分かり、総合的な知識、技能、判断力を修得する。</li> </ol> |
|------|--|

|        |   |
|--------|---|
| 授業の進め方 | それぞれの場面で具体的に子どもが見える授業を、情報機器の利用や演習を通して健康の意味理解を進める。 |
|--------|---|

|       |  |
|-------|--|
| 第 1 回 | 健康とは<br>【学修内容】 オリエンテーション、健康の法的根拠、健康のねらいについて理解する。<br>【事前学修】 幼稚園教育要領 総則 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に目を通しておく。（0.5時間）<br>【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。（0.5時間） |
| 第 2 回 | 健康の内容と留意点<br>【学修内容】 要領・指針から求められていることについて理解する。<br>【事前学修】 保育所保育指針 「健康の内容」について目を通しておく。（0.5時間）<br>【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。（0.5時間）                |
| 第 3 回 | 子どもの生活実態と健康<br>【学修内容】 遊び 食生活 生活リズム 心の問題について理解する。<br>【事前学修】 教科書 Part3 第3章 「三間の減少」について目を通しておく。（0.5時間）<br>【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。（0.5時間）       |
| 第 4 回 | 幼児期の生活習慣①<br>【学修内容】 身に付ける意義、基本的な生活習慣（食事・睡眠）について理解する。<br>【事前学修】 実習期間に見聞きした、食や睡眠への保育者の対応について、まとめておく。（0.5時間）<br>【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。（0.5時間） |
| 第 5 回 | 幼児期の生活習慣②<br>【学修内容】 基本的な生活習慣排泄（排泄・着衣・清潔）について理解する。<br>【事前学修】 実習期間に見聞きした、排泄や清潔への保育者の対応について、まとめておく。（0.5時間）<br>【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。（0.5時間）   |
| 第 6 回 | 幼児期の精神の発達<br>【学修内容】 心の発達と保育者の関わりについて理解する。<br>【事前学修】 保育所保育指針の健康の内容を確認しておく。（0.5時間）<br>【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。（0.5時間）                          |
| 第 7 回 | 幼児期の健康安全<br>【学修内容】 健康安全の特徴 健康状態の把握 けがについて理解する。<br>【事前学修】 教科書 Part2 第7章に目を通しておく。（0.5時間）<br>【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。（0.5時間）                    |

|                      |  |
|----------------------|--|
| 授 業 計 画              | <p>第 8 回 保育と安全<br/> 【学修内容】 保育中のケガの状況 遊びと安全 事故への対応について理解する。<br/> 【事前学修】 実習期間に見聞きした、保育者の安全への対応について、まとめておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。(0.5時間)</p> <p>第 9 回 幼児期の身体の発達<br/> 【学修内容】 発達の原則 形態発達について理解する。<br/> 【事前学修】 幼児期の身体発達の特徴について調べておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。(0.5時間)</p> <p>第 10 回 体力・運動能力の発達<br/> 【学修内容】 経験しておきたい遊び 小学校体育とのつながりについて理解する。<br/> 【事前学修】 教科書Part3 第2章「小学校との連携・接続の実践について学ぼう」に目を通しておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。(0.5時間)</p> <p>第 11 回 運動遊びの具体化<br/> 【学修内容】 遊びと健康 遊びと保育者の関わりを理解する。<br/> 【事前学修】 教科書 Part2 第4章に目を通しておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。(0.5時間)</p> <p>第 12 回 多様な運動経験とその援助<br/> 【学修内容】 体を動かす楽しさについて理解する。<br/> 【事前学修】 教科書 Part2 第4章に目を通しておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。(0.5時間)</p> <p>第 13 回 自ら体を動かそうとする意欲<br/> 【学修内容】 遊びの支援について理解する。<br/> 【事前学修】 教科書 Part2 第5章に目を通しておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。(0.5時間)</p> <p>第 14 回 事例検討・確認テスト<br/> 【学修内容】 子どもの運動遊びと育ちについて理解する。健康指導法の内容について確認テストを実施し理解を深める。<br/> 【事前学修】 授業で配付された全てのプリントに目を通し、整理をしておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を整理しておく。(0.5時間)</p> <p>第 15 回 健康(指導法)まとめ<br/> 【学修内容】 まとめ 幼児期の健康に関する指導について理解を深める。<br/> 【事前学修】 教科書 Part1 第4章に目を通しておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、内容を深める。(0.5時間)</p> |
| 評 価 方 法              | 筆記試験(60%)、平常点・提出物(40%)   |
| 教 科 書                | 健康指導法(清水将之・相楽真樹子編著 わかば社<br>保育所保育指針(厚生労働省編、フレーベル館)<br>幼稚園教育要領(文部科学省編、フレーベル館)<br>幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館)   |
| 参 考 書 等<br>参 考 資 料 等 | 適宜紹介する。  |
| 備 考                  | 特に記載事項なし。  |

| 授 業 科 目 名          | 形態   | 単位   | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員             |
|--------------------|--|--|----|-----|-----|----------|---------------------|
| 人間関係（指導法）          | 演習   | 1  | 選択 | 必修  | 必修  | 1年・後期    | 南部ユンクィアンしず子<br>山坂真紀 |
| 科目コード              | HgAAB20309   |  |    |     |     |          | 担当形態：オムニパス          |
| 領域及び保育内容の指導法に関する科目 |  | 科目に含める必要事項   |    |     |     |          |                     |
|                    |  | 保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）  |    |     |     |          |                     |
| 受講する上での注意事項        | 将来、保育士、幼稚園教諭や保育教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。   |  |    |     |     |          |                     |
| 授 業 の 意 義          | 現代社会において「人間関係」の希薄さが指摘されている。保育所（園）、幼稚園や認定こども園は、子どもが安心して生活できる場であればならない。また、子どもが身近な「もの」「ひと」「こと」と出会い、かかわりあいながら学び、成長していく場である。<br>ここでは、「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」や「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に示されている「人間関係」の内容を吟味しながら保育所（園）、幼稚園や認定こども園が、子どもにとって居心地のよい場所と感ぜられるための要素を探っていく。<br>更に、実際の場面を想定しながら、子どもとともに生活する保育者のあり方や保育者としての資質に気づき、それを高める機会となることを目標としている。 |  |    |     |     |          |                     |
| 到達目標               | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 時代の変遷を押さえ、良好な人間関係の必要性と、作り上げていくための方策を理解する。</li> <li>② 保育指針・教育要領や認定こども園教育・保育要領の内容を捉え、人間関係を深めていくための模擬実践を行うことができる。</li> <li>③ 事例を基に保育者として、どう行動すべきかを理解し、総合的な知識・技術・判断力を修得する。</li> </ol>   |  |    |     |     |          |                     |
| 授業の進め方             | 講義の中では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を常に意識し、具体的場面を想定していく。<br>また、それぞれの場面で、情報機器の利用を意識しながら、指導案の作成、模擬保育を行っていく。   |  |    |     |     |          |                     |
|                    | 第 1 回  | 人間関係の全体像をつかむ<br>【学修内容】 必要性 基本的なねらい<br>【事前学修】 保育指針・教育要領を確認する。(0.5時間)<br>【事後学修】 人間関係の重要なポイントを理解する。(0.5時間)                  |    |     |     |          | (担当：南部)             |
|                    | 第 2 回  | 人間関係の内容と留意点<br>【学修内容】 幼稚園、保育所、認定こども園での内容<br>【事前学修】 幼稚園、保育所、認定こども園の役割を知る。(0.5時間)<br>【事後学修】 5領域の中で人間関係の位置づけを知りまとめる。(0.5時間) |    |     |     |          | (担当：南部)             |
|                    | 第 3 回  | 発達から見た人間関係<br>【学修内容】 発達特性 自我の芽生え 環境とのかかわり<br>【事前学修】 0～5歳児の発達の特性を調べる。(0.5時間)<br>【事後学修】 0～5歳児の発達についてまとめる。(0.5時間)           |    |     |     |          | (担当：南部)             |
|                    | 第 4 回  | 一人遊びから集団遊び<br>【学修内容】 集団の特性 集団の展開 規範意識<br>【事前学修】 集団遊びとは何か？また内容について考える。(0.5時間)<br>【事後学修】 乳幼児期の遊びについてまとめる。(0.5時間)           |    |     |     |          | (担当：山坂)             |
|                    | 第 5 回  | 環境構成から見た人間関係<br>【学修内容】 教材の選び方 情報機器の利用の仕方<br>【事前学修】 乳幼児期のあそびについて振り返る。(0.5時間)<br>【事後学修】 日案の立て方についてまとめる。(0.5時間)             |    |     |     |          | (担当：南部)             |
|                    | 第 6 回  | 園生活と人とのかかわり<br>【学修内容】 依存、生活行動の自立、群れから集団へ<br>【事前学修】 日案の立て方を振り返る。(0.5時間)<br>【事後学修】 乳幼児期におけるけんかについてまとめる。(0.5時間)             |    |     |     |          | (担当：山坂)             |
|                    | 第 7 回  | 保育者としての役割<br>【学修内容】 子どもの理解者として、情報機器の利用の工夫<br>【事前学修】 保育者の役割について実習を思い出し考える。(0.5時間)<br>【事後学修】 保育者としての役割をまとめる。(0.5時間)        |    |     |     |          | (担当：南部)             |

|         |                      |   |         |
|---------|----------------------|---|---------|
| 授 業 計 画 | 第 8 回                | 小学校以降を意識した人間関係<br>【学修内容】 大人とのかかわり 地域とのかかわり<br>【事前学修】 こどもたちの周囲にはどのような環境があるか考える。(0.5時間)<br>【事後学修】 保育者としてのかかわり方をまとめる。(0.5時間)                   | (担当：南部) |
|         | 第 9 回                | 多様な人とかかわり<br>【学修内容】 特別支援児とかかわり 気になる子どもへの配慮<br>【事前学修】 気になる子どもとはどのような子どもがいるか考える。(0.5時間)<br>【事後学修】 保育者としての配慮点・留意点についてまとめる。(0.5時間)              | (担当：山坂) |
|         | 第 10 回               | 入園当初の子どもとかかわり<br>【学修内容】 共同で使うものの意識 カギとなる言葉<br>【事前学修】 保育者としての配慮点・留意点について振り返る。(0.5時間)<br>【事後学修】 日案の全体的な立て方を把握し自分なりにまとめる。(0.5時間)               | (担当：山坂) |
|         | 第 11 回               | 体験を通じた学び<br>【学修内容】 行事を通して、規範意識、道徳性の芽生え<br>【事前学修】 クラスだよりについて他園のものを参照する。(0.5時間)<br>【事後学修】 クラスだよりの作り方についてまとめる。(0.5時間)                          | (担当：山坂) |
|         | 第 12 回               | 指導案の作成<br>【学修内容】 経験した保育を基に作成 自分の思いを表す<br>【事前学修】 今までの指導案を振り返り学習する。(0.5時間)<br>【事後学修】 模擬保育に向けての日案を作成する。(0.5時間)                                 | (担当：山坂) |
|         | 第 13 回               | 模擬保育 ①<br>【学修内容】 興味のひきつけ方、手遊び、用具の使い方<br>【事前学修】 模擬保育についての日案を確認する。(0.5時間)<br>【事後学修】 模擬保育を振り返る。また反省点などは日案に記入をする。(0.5時間)                        | (担当：山坂) |
|         | 第 14 回               | 模擬保育 ②<br>【学修内容】 子ども同士のかかわり、保育評価<br>【事前学修】 模擬保育についての日案を確認する。(0.5時間)<br>【事後学修】 模擬保育を振り返る。また反省点などは日案に記入をする。0.5時間)                             | (担当：山坂) |
|         | 第 15 回               | 現代社会における課題<br>【学修内容】 これからの課題 評価(チェックリスト)<br>【事前学修】 今までの授業を振り返る。(0.5時間)<br>【事後学修】 自分の課題を見つけ今後の学びについて考える。(0.5時間)                              | (担当：南部) |
|         | 評 価 方 法              | 筆記試験(90%)、平素点(10%)、平素の授業態度を加味する。  |         |
|         | 教 科 書                | イラストたっぷりやさしく読み解く幼保連携型認定こども園教育・保育要領ハンドブック<br>保育所保育指針(厚生労働省編、フレーベル館)<br>幼稚園教育要領(文部科学省編、フレーベル館)<br>幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館) |         |
|         | 参 考 書 等<br>参 考 資 料 等 | 保育内容人間関係(徳安敦編著、青踏社)<br>保育内容人間関係(酒井幸子編著、萌文書林)  |         |
|         | 備 考                  | 特に記載事項なし。   |         |



| 授 業 科 目 名 | 形態         | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員                             |
|-----------|------------|----|----|-----|-----|----------|-------------------------------------|
| 音楽Ⅰ       | 演習         | 2  | 選択 | 必修  | 必修  | 1年・通年    | 今野くる美・下司 貴大<br>加藤ゆかり・天明屋優佳<br>前田奈央子 |
| 科目コード     | HgAAB10313 |    |    |     |     |          | 担当形態：単独                             |

| 科目に含める必要事項 |  |
|------------|--|
|            |  |

|             |  |
|-------------|--|
| 受講する上での注意事項 | 将来、保育士、幼稚園教諭や保育教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。 |
|-------------|--|

|          |  |
|----------|--|
| 授業の目的・概要 | 保育者（保育士・幼稚園教諭）として必要なピアノ奏法の修得を目的とする科目である。少人数グループで構成され、基本的には個々人のグレードに応じた個人レッスンの形態で進められる。ピアノという楽器の持つ様々な機能や、指・腕・姿勢等演奏に必要な身体の動き、更には運指や暗譜等を実践しながら学ぶ。また、基本的な楽典の知識にも触れながら、音楽の素晴らしさと技能・技術の重要性を認識することも主眼としている。 |
|----------|--|

|      |  |
|------|--|
| 到達目標 | ① プルグミュラー25の練習曲以上のレベルを修得する。<br>② 教本の弾き歌い曲の暗譜による演奏ができる。 |
|------|--|

|        |   |
|--------|---|
| 授業の進め方 | 前期の授業内容は、バイエル、プルグミュラー25の練習曲、ソナチネ等の教本を中心に個々の進度に合わせたレッスンを行う。前期発表会以降は、教本と併用して「こどものうた」の弾き歌いを学ぶ。 |
|--------|---|

|         |   |   |
|---------|---|---|
| 授 業 計 画 | 第 1 回   | 音楽歴の調査、保育者としてのピアノの意義の説明   |
|         | 【学修内容】  | シラバスに沿って授業概要等について説明し、個々のレベルに合わせて分けられたグループで、自己課題を明確にする。                        |
|         | 【事前学修】  | 授業前にシラバスに目を通し、主旨を確認し理解する。（0.5時間）  |
|         | 【事後学修】  | 授業で取り組んだ内容や他者の演習の様子を基に自己課題を明確化し、習得した技術が定着するように継続的な練習を行う。（0.5時間）               |
|         | 第2回～第13回  | 個人のレベルに合った教則本を選定し、毎回学生の能力に合わせて2～3曲の課題曲を宿題として課す。授業では、宿題の曲を題材にして、以下のことを身に付けさせる。 |
| 【学修内容】  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ピアノ奏法の基本的技術と知識 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) ピアノの技能と基本的奏法について</li> <li>2) 姿勢・腕・指等身体的動き</li> </ul> </li> <li>● 読譜力や基本的楽典の知識 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) リズムの読み取りとリズム感</li> <li>2) 強弱・速度等記号の理解と実践</li> <li>3) 基本的な調と鍵盤の位置関係</li> </ul> </li> </ul> |   |
| 【事前学修】  | 前回までの授業で取り組んだ内容を振り返り、それぞれの自己課題を明確化し技術練習を行う。（0.5時間）  |   |
| 【事後学修】  | 授業で取り組んだ内容や他者の演習の様子を基に自己課題を明確化し、習得した技術が定着するように継続的な練習を行う。（0.5時間）   |   |
| 第 14 回  | 後期から行う弾き歌いの概要説明（弾き歌い表の配付）、夏休みの宿題の提示   |   |
| 【学修内容】  | 前期発表会に向けての演習を行うとともに、弾き歌いの課題について説明を行う。   |   |
| 【事前学修】  | 第1回目から第13回目までの学修内容を振り返り、前期発表会に向けた準備、技術練習等を行う。（0.5時間）  |   |
| 【事後学修】  | 授業で取り組んだ内容や他者の演習の様子を基に自己課題を明確化し、習得した技術が定着するように継続的な練習を行うとともに、弾き歌いの課題について確認する。（0.5時間）   |   |
| 第 15 回  | バイエル以上の中から演奏する発表会   |   |
| 【学修内容】  | バイエル以上のピアノ教則本から課題曲を選曲（バイエルの場合は、2曲）し、暗譜で演奏する。  |   |
| 【事前学修】  | 第1回目から第14回目までの学修内容を振り返り、前期発表会に向けた最終の準備、技術練習等を行う。（0.5時間）   |   |
| 【事後学修】  | 発表会での演奏について振り返り、担当教員からの講評等も加味した自己課題を明確化する。（0.5時間）   |   |

|                      |  |
|----------------------|--|
|                      | <p>第16回～第29回</p> <p>前期発表会の反省を生かし、引き続き教則本の中から課題曲を決定し、宿題として課す。それに加え配付済みの弾き歌い表の中の課題から1～2曲を選曲し、毎回の課題として、併せて宿題に課す。つまり教則本と弾き歌いの両方の題材を扱い、次のことを身に付けさせる。</p> <p>【学修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 表現豊かな演奏を目指し、自己の感性を磨く       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 美しいピアノの音やフレーズ感等を感じ取る。</li> <li>2) 表現する力を養う。</li> </ol> </li> <li>● 幼児教育に即した弾き歌いの実践       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 聞き取りやすい明瞭な声、発音の仕方</li> <li>2) 正確な音程</li> <li>3) 歌とピアノの同時進行</li> </ol> </li> </ul> <p>【事前学修】<br/>前回までの授業で取り組んだ内容を振り返り、それぞれの自己課題を明確化し技術練習を行う。(0.5時間)</p> <p>【事後学修】<br/>授業で取り組んだ内容や他者の演習の様子を基に自己課題を明確化し、習得した技術が定着するように継続的な練習を行う。(0.5時間)</p> <p>第 30 回</p> <p>ブルグミュラー以上の中から1曲、更に任意の2曲を弾き歌いする発表会</p> <p>【学修内容】<br/>ブルグミュラー以上の中から1曲、更に弾き歌い表のA群、B群からそれぞれ1曲ずつ選曲し、演奏する。(暗譜の必要はない。)</p> <p>【事前学修】<br/>第1回目から第29回目までの学修内容を振り返り、後期の発表会に向けた最終の準備、技術練習等を行う。(0.5時間)</p> <p>【事後学修】<br/>発表会での演奏について振り返り、担当教員からの講評等も参考に自己課題を明確化する。(0.5時間)</p> |
| <p>評価方法</p>          | <p>発表会(90%) 提出課題等、平常点(10%) 平素の受講態度等を加味する。</p>  |
| <p>教科書</p>           | <p>標準バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社)、ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) ソナチネアルバム(全音楽譜出版社)等の中から個人の進度に合わせた教本<br/>こどものうた200(チャイルド本社)、続こどものうた200(チャイルド本社)</p>  |
| <p>参考書等<br/>参考資料</p> | <p>適宜紹介する。</p>   |
| <p>備考</p>            | <p>特に記載事項なし。</p>   |

| 授 業 科 目 名 | 形態         | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|-----------|------------|----|----|-----|-----|----------|---------|
| 幼児造形 I    | 演習         | 1  | 選択 | 必修  | 必修  | 1年・前期    | 加藤 貴子   |
| 科目コード     | HgAAB10316 |    |    |     |     |          | 担当形態：単独 |

|            |  |  |  |  |  |  |  |
|------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 科目に含める必要事項 |  |  |  |  |  |  |  |
|------------|--|--|--|--|--|--|--|

|             |  |
|-------------|--|
| 受講する上での注意事項 | <p>将来、保育士、幼稚園教諭や保育教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。</p> <p>ハサミ・カッター・ホチキス・のり（水溶性）・ヤマトのり又はフェキのり・両面テープ（1cm幅）・セロテープ（1cm幅）・木工ボンド（紙・布・木用）は、工具箱にまとめ、毎回持参すること。準備や後片付け等も学習の一つである事を意識できるようにする。</p> |
|-------------|--|

|          |  |
|----------|--|
| 授業の目的・概要 | <p>① 幼児期における造形表現の特徴を理解し、色や形やものを通して子どもとふれ合う保育者としての実践力を培う。</p> <p>② 授業では、材料・用具の基本を理解し、保育環境の創作、及び教材づくりに役立てるようにする。</p> <p>③ 「遊び」を通して子どもの造形感覚を豊かにし、人や事象（もの・こと）のつながりを深められるようなかわり、子どもの表現の支援を実践から学ぶ。</p> |
|----------|--|

|      |   |
|------|---|
| 到達目標 | <p>① 造形素材の基本を理解し、実践できる。</p> <p>② 幼児の発達に応じた、適切な支援ができる。</p> <p>③ 幼児の造形活動が楽しいものであるための安全に十分配慮した環境を準備し、製作ができる。</p> |
|------|---|

|        |  |
|--------|--|
| 授業の進め方 | <p>・幼児の年齢発達の違いを理解し、発達に合った幼児造形の基本的な材料、用具の扱い方や活かし方を身に付けることができるように理論と実技を行う。</p> |
|--------|--|

|  |   |
|--|---|
|  | <p>第 1 回      オリエンテーション</p> <p>【学修内容】 幼児期の造形表現の特徴について。</p> <p>【事前学修】 教科書「幼児造形の基礎」第1章と第2章を通読し、質問の準備をする。（0.5時間）</p> <p>【事後学修】 今後の計画を立て、次回の内容を調べてまとめる。（0.5時間）</p> <p>第 2 回      子どもの表現から学ぶ。</p> <p>【学修内容】 幼児期の造形表現の特徴を作品から学ぶ。</p> <p>【事前学修】 幼児の描画における発達段階とその特徴を調べ、まとめておく。（0.5時間）</p> <p>【事後学修】 教科書第5章を通読し、幼児の造形表現の道筋を理解する。（0.5時間）</p> <p>第 3 回      描く～基本①</p> <p>【学修内容】 クレヨンを使って。</p> <p>【事前学修】 教科書第3章を読み、クレヨン・クレパス等の活用について調べ、まとめておく。（0.5時間）</p> <p>【事後学修】 保育現場での実践や活用を理解し、深める。（0.5時間）</p> <p>第 4 回      描く～基本②</p> <p>【学修内容】 折り紙を使って。</p> <p>【事前学修】 幼児と折り紙について調べ、まとめておく。必要な材料を準備しておく。（0.5時間）</p> <p>【事後学修】 展開や保育現場での活用を調査し、理解を深める。（0.5時間）</p> <p>第 5 回      描く～基本③</p> <p>【学修内容】 クレヨンと折り紙を使って。</p> <p>【事前学修】 クレヨンと折り紙を使った遊びについて調べ、必要な材料を準備しておく。（0.5時間）</p> <p>【事後学修】 展開や保育現場での活用を調査し、理解を深める。（0.5時間）</p> <p>第 6 回      描く～基本④</p> <p>【学修内容】 水彩絵の具を使って。</p> <p>【事前学修】 教科書第4章を読み、平面技法の応用について調べ質問をまとめておく。（0.5時間）</p> <p>【事後学修】 展開や保育現場での活用を調査し、理解を深める。（0.5時間）</p> <p>第 7 回      描く～基本⑤</p> <p>【学修内容】 水彩絵の具を使った表現の応用</p> <p>【事前学修】 教科書第4章を読み、平面技法の応用について調べ理解を深めておく。（0.5時間）</p> <p>【事後学修】 展開や保育現場での活用を調査し、理解を深める。（0.5時間）</p> |
|--|---|

|                 |   |
|-----------------|---|
| 授 業 計 画         | <p>第 8 回 描く～応用①<br/> 【学修内容】クレヨンと水彩のコラボレーション<br/> 【事前学修】教科書第4章を読み、平面技法の応用について調べ理解を深めておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】展開や保育現場での活用を調査し、理解を深める。(0.5時間)</p> <p>第 9 回 描く～応用②<br/> 【学修内容】クレヨンと水彩のコラボレーションから表現の広がりを求めて。<br/> 【事前学修】教科書第4章を読み、平面技法の応用について調べ理解を深めておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】次回の内容を調べ、製作の材料を準備しておく。(0.5時間)</p> <p>第10 回 つくってあそぶ①<br/> 【学修内容】身近な素材を活用してつくる。<br/> 【事前学修】教科書P84～P85と第4章の「いろいろな材料の造形」を読み、理解を深めておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】保育現場での活用を調査し、理解を深める。(0.5時間)</p> <p>第 11 回 つくってあそぶ②<br/> 【学修内容】身近な素材を活用して遊ぶものをつくる。<br/> 【事前学修】教科書第4章の「いろいろな材料の造形」を読み、製作のイメージを深め計画を立てておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】保育現場での活用を調査し、理解を深める。(0.5時間)</p> <p>第12 回 つくってあそぶ③<br/> 【学修内容】対話を生む遊びの工夫をしてつくる。<br/> 【事前学修】内容に関して調べ、実技演習での製作物についてイメージをまとめ準備しておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】保育現場での活用を調査し、理解を深める。(0.5時間)</p> <p>第13 回 たのしいおたより製作①<br/> 【学修内容】保育がみえるおたより製作の基礎<br/> 【事前学修】情報機器を活用しおたより製作に必要な情報を集め、計画を作成しておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】保育現場での活用を調査し、理解を深める。(0.5時間)</p> <p>第14 回 たのしいおたより製作②<br/> 【学修内容】保育がみえるおたよりの製作<br/> 【事前学修】情報機器を活用しおたより製作に必要な情報を、自分なりのイメージに応用しまとめておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】保育現場での活用を調査し、理解を深める。(0.5時間)</p> <p>第15 回 作品集の製本と交流<br/> 【学修内容】作品集の製本完成と発表交流<br/> 【事前学修】製本に必要な材料を準備し、今までの資料や作品をまとめておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】授業で学んだ内容を復習し、理解を深める。(0.5時間)</p> |
| 評 価 方 法         | 作品及び作品製作への意欲関心態度等(80%)平常点(20%)平素の受講態度等を加味する。  |
| 教 科 書           | 幼児造形の基礎(樋口一成著、萌文書林)2年次にも使用する。   |
| 参 考 書 参 考 資 料 等 | 新訂 事例で学ぶ保育内容<領域>表現 (無藤隆監修、浜口順子編者代表 萌文書林)  |
| 備 考             | 提出物の期限厳守。<br>実務経験のある教員：札幌市立幼稚園における幼児教育に関する実務経験を活かした授業を行う。   |

| 授 業 科 目 名          | 形態   | 単位 | 卒業 | 保育士  | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|--------------------|--|----|----|------|-----|----------|---------|
| 幼児造形Ⅱ              | 演習   | 1  | 選択 | 選択必修 | 必修  | 1年・後期    | 加藤 貴子   |
| 科目コード              | HgaAB20317   |    |    |      |     |          | 担当形態：単独 |
| 科目に含める必要事項         |  |    |    |      |     |          |         |
| 受講する上で<br>の注意事項    | <p>ハサミ・カッター・ホチキス・のり（水溶性）・ヤマトのり又はフェキのり・木工ボンド（紙・布・木用）・両面テープ（1cm幅）・セロテープ（1cm幅）は、道具箱にまとめ、毎回持参すること。準備や後片付け等も学習の一つである事を意識できるようにする。</p> <p>保育士資格取得のためには、音楽Ⅱ、幼児造形Ⅱ、保育方法論、教育・保育相談、教育・保育社会学、児童文学、音楽総合表現、図画工作、保育実践研究から6単位以上を修得すること。</p>   |    |    |      |     |          |         |
| 授 業 の<br>目 的 ・ 概 要 | <p>① 教室や廊下等の園内や行事の造形環境について理解と知識を深め、造形表現が子どもに果たす役割の重要性を学ぶ。</p> <p>② 材料・用具等の特性を活かし、グループで造形環境を企画制作する。</p>   |    |    |      |     |          |         |
| 到 達 目 標            | <p>① 子どもたちにとって明るく楽しい環境づくりを意識して行える。</p> <p>② 園の行事等の造形スペースの展示方法を工夫し、適切な素材の選択・活用しながら造形遊びを支援できる。</p> <p>③ 幼児の造形活動が楽しいものであるために、安全に十分配慮した環境を準備し制作ができる。</p>   |    |    |      |     |          |         |
| 授 業 の 進 め 方        | <p>・子どもの遊びやイメージを豊かにし、感性を養うための環境構成と幼児の造形表現について解説する。</p> <p>・幼児にとってよりよい造形環境を創りあげることができるように実践に即した内容とする。</p>   |    |    |      |     |          |         |
|                    | <p>第 1 回      メッセージカード作成①</p> <p>【学修内容】      ポップアップカードの技法について学ぶ。</p> <p>【事前学修】      内容について調べ、質問の準備をする。（0.5時間）</p> <p>【事後学修】      配付された資料で授業内容を振り返り理解を深める。（0.5時間）</p> <p>第 2 回      メッセージカード作成②</p> <p>【学修内容】      園の誕生カードをつくる。</p> <p>【事前学修】      幼稚園等の誕生カードを調べ、イメージをまとめ、制作の準備をする。（0.5時間）</p> <p>【事後学修】      配付された資料で授業内容を振り返り、理解を深める。（0.5時間）</p> <p>第 3 回      遠足の指導にも生かせる楽しいリュックサックをつくる。</p> <p>【学修内容】      身近な材料でリュックサックをつくる。</p> <p>【事前学修】      制作に必要な材料を集め、制作のイメージをまとめておく。（0.5時間）</p> <p>【事後学修】      配付された資料で授業内容を振り返り、実際の保育の展開について理解を深める。（0.5時間）</p> <p>第 4 回      食指導にも生かせるランチマットをつくる。</p> <p>【学修内容】      幼児が喜ぶランチマットをつくる。</p> <p>【事前学修】      保育場面で使用するランチマットについて調べ、幼児が制作するランチマットについてイメージをまとめておく。（0.5時間）</p> <p>【事後学修】      配付された資料で授業内容を振り返り、理解を深める。（0.5時間）</p> <p>第 5 回      イメージをふくらませて①</p> <p>【学修内容】      ヒヨコの生活</p> <p>【事前学修】      幼児が「なりきって遊ぶ」ために必要な造形材料について調べ、制作のイメージをまとめておく。（0.5時間）</p> <p>【事後学修】      配付された資料で授業内容を振り返り、理解を深める（0.5時間）</p> <p>第 6 回      イメージをふくらませて②</p> <p>【学修内容】      素敵なパフェ</p> <p>【事前学修】      身近な材料でパフェをつくるために素材を集めておくとともに、制作のイメージをまとめておく（0.5時間）</p> <p>【事後学修】      配付された資料で授業内容を振り返り、理解を深める。（0.5時間）</p> <p>第 7 回      つくる 手づくりおもちゃ</p> <p>【学修内容】      身近な素材を使ってつくる。</p> <p>【事前学修】      幼児が作って遊ぶことができるものについて調べ、まとめておく。（0.5時間）</p> <p>【事後学修】      配付された資料で授業内容を振り返り、理解を深める。（0.5時間）</p> |    |    |      |     |          |         |

|         |         |   |
|---------|---------|---|
| 授 業 計 画 | 第 8 回   | つくる 手づくりおもちゃ<br>【学修内容】 身近な素材を使ってつくって遊ぶ。<br>【事前学修】 幼児が作って遊ぶものについて年齢発達での違いを調べ、まとめておく。(0.5時間)<br>【事後学修】 配付された資料で授業内容を振り返り、実際の保育でどのように展開するか理解を深める。(0.5時間)       |
|         | 第 9 回   | つくる 作って遊ぶおもちゃ①<br>【学修内容】 制作の基本<br>【事前学修】 教科書P77、P200を読み、共同制作や段ボール箱制作について理解を深めておく。(0.5時間)<br>【事後学修】 配付された資料で授業内容を振り返り、理解を深める。(0.5時間)                         |
|         | 第10 回   | つくる 作って遊ぶおもちゃ②<br>【学修内容】 遊びの工夫<br>【事前学修】 段ボール箱で幼児が遊ぶおもちゃをつくるために必要な材料を準備する。(0.5時間)<br>【事後学修】 制作方法等を振り返り、完成に向け計画を修正したり、準備をしたりする。(0.5時間)                       |
|         | 第 11 回  | つくる 作って遊ぶおもちゃ③<br>【学修内容】 制作の発表交流<br>【事前学修】 幼児の動きを想定し、制作物でどのように遊ぶかイメージを企画書にまとめておく。(0.5時間)<br>【事後学修】 配付された資料で授業内容を振り返り、反省点や学んだことをまとめ、理解を深める。(0.5時間)           |
|         | 第12 回   | 季節やイベントに生かせる折のいろいろ<br>【学修内容】 幼児が喜ぶ季節の壁面飾りをつくる①<br>【事前学修】 教科書P190～P191を読み、園の壁面装飾について調べ、まとめておく。(0.5時間)<br>【事後学修】 共同制作の仕方を振り返り、完成に向け計画を修正したり、準備をする。(0.5時間)     |
|         | 第13 回   | 行事やイベントに生かせる折のいろいろ<br>【学修内容】 幼児が喜ぶ季節の壁面飾りの発表交流②<br>【事前学修】 共同制作の仕方を振り返り、完成に向け計画を修正したり、準備をする。(0.5時間)<br>【事後学修】 配付された資料で授業内容を振り返り、反省点や学んだことをまとめ、理解を深める。(0.5時間) |
|         | 第14 回   | アートカードをつかって①<br>【学修内容】 豊かな気付きを感じる<br>【事前学修】 教科書P202～P204と第6章、第7章を読み、幼児造形教育の広がりについて理解をしておく。(0.5時間)<br>【事後学修】 配付された資料で授業内容を振り返り、理解を深める(0.5時間)                 |
|         | 第15 回   | アートカードをつかって②<br>【学修内容】 アート作品を演じる等身体表現やお話づくり。<br>【事前学修】 配付された資料で授業内容を振り返り、理解を深めておく。(0.5時間)<br>【事後学修】 授業全体の理解を確認するための振り返り課題を記入し、提出する。(0.5時間)                  |
|         | 評 価 方 法 | 作品、レポート等(80%) 平常点(20%) 平素の受講態度を加味する。  |
|         | 教 科 書   | 幼児造形の基礎(樋口一成著、萌文書林)   |
|         | 参 考 書 等 | 新訂 事例で学ぶ保育内容<領域>表現 (無藤隆監修、浜口順子編者代表 萌文書林)  |
|         | 備 考     | 提出物の期限厳守。<br>実務経験のある教員：札幌市立幼稚園における幼児教育に関する実務経験を活かした授業を行う。   |

| 授 業 科 目 名 | 形態         | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|-----------|------------|----|----|-----|-----|----------|---------|
| 社会的養護Ⅱ    | 演習         | 1  | 選択 | 必修  |     | 1年・後期    | 齊 藤 晋   |
| 科目コード     | HgAZB20322 |    |    |     |     |          | 担当形態：単独 |

|            |  |
|------------|--|
| 科目に含める必要事項 |  |
|            |  |

|             |   |
|-------------|---|
| 受講する上での注意事項 | <p>保育者になる自覚を持ち、楽しみながら規律を守り、授業中の私語はしないで積極的に学ぶ意識を持って受講すること。</p> <p>演習科目等で授業中に行われるグループワーク等、積極的に参加すること。</p> |
|-------------|---|

|             |   |
|-------------|---|
| 授 業 の 目的・概要 | <p>社会福祉施設の中でも子どもや家庭の支援を目的として設置されている施設に児童福祉施設がある。児童福祉施設で取り組まれている養護活動は、児童には家庭に代わる「生活の場」としての養育支援を得るために大切な環境であり、国の責任において実施される「きわめて責任の重い養護活動」である。</p> <p>児童福祉施設で実践されるケアワークは保育士や児童指導員等の支援担当職員を中心に行われており、保育士には児童養護に関する知識や実践が求められる。</p> <p>保育士として必要な「社会的養護内容」の学修を進め、子どもたちの生活を支えるために不可欠である社会的養護の実際について理解を深めることを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 社会的養護の内容</li> <li>② 社会的養護の実際</li> <li>③ 社会的養護における支援の計画と記録及び自己評価</li> <li>④ 社会的養護に関わる専門技術</li> <li>⑤ 今後の課題と展望</li> </ol> |
|-------------|---|

|      |  |
|------|--|
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に理解する。</li> <li>② 施設養護及び家庭養護の実際について理解する。</li> <li>③ 社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する。</li> <li>④ 社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解する。</li> <li>⑤ 社会的養護における子ども虐待の防止と家庭支援について理解する。</li> </ol> |
|------|--|

|        |   |
|--------|---|
| 授業の進め方 | <p>授業はプロジェクターを使って行う。授業の中で、理解度を把握するため小テスト、感想等を書かせる。</p> <p>穴埋め式のレジュメを配付し、重要な事柄を学生と一緒に埋めながら進める。</p> |
|--------|---|

|  |   |
|--|---|
|  | <p>第 1 回 社会的養護の内容Ⅰ</p> <p>【学修内容】 社会的養護における子どもの理解</p> <p>【事前学修】 社会的養護とは何か。社会的養護を担う児童福祉施設を事前に理解する。(0.5時間)</p> <p>【事後学修】 配付資料とノートを整理し復習する。(0.5時間)</p> <p>第 2 回 社会的養護の内容Ⅱ</p> <p>【学修内容】 社会的養護の児童福祉施設の日常生活支援について学ぶ。</p> <p>【事前学修】 児童養護施設、乳児院の日常生活について理解する。(0.5時間)</p> <p>【事後学修】 配付資料とノートを整理し復習する。(0.5時間)</p> <p>第 3 回 社会的養護の内容Ⅲ</p> <p>【学修内容】 社会的養護の児童福祉施設の治療的支援を学ぶ。</p> <p>【事前学修】 被虐待児童の治療的側面について事前学習する。(0.5時間)</p> <p>【事後学修】 配付資料とノートを整理し復習する。(0.5時間)</p> <p>第 4 回 社会的養護の内容Ⅳ</p> <p>【学修内容】 児童福祉施設の自立支援について学ぶ。</p> <p>【事前学修】 自立とはどういうことなのか自分なりに考えてみる。(0.5時間)</p> <p>【事後学修】 配付資料とノートを整理し復習する。(0.5時間)</p> <p>第 5 回 社会的養護の実際Ⅰ</p> <p>【学修内容】 施設養護の生活特性及び実際について学ぶ。①</p> <p>【事前学修】 施設養護の生活特性とはどういうことなのか事前学習する。(0.5時間)</p> <p>【事後学修】 配付資料とノートを整理し復習する。(0.5時間)</p> <p>第 6 回 社会的養護の実際Ⅱ</p> <p>【学修内容】 施設養護の生活特性及び実際について学ぶ。②</p> <p>【事前学修】 集団養護のメリットとデメリットを自分なりの考えをまとめておく。(0.5時間)</p> <p>【事後学修】 配付資料とノートを整理し復習する。(0.5時間)</p> <p>第 7 回 社会的養護における支援の計画と記録及び自己評価Ⅰ</p> <p>【学修内容】 アセスメントの重要性を学ぶ。</p> <p>【事前学修】 施設養護におけるアセスメントとはどういうことなのか理解する。(0.5時間)</p> <p>【事後学修】 配付資料とノートを整理し復習する。(0.5時間)</p> |
|--|---|

|           |   |
|-----------|---|
| 授 業 計 画   | <p>第 8 回 社会的養護における支援の計画と記録及び自己評価Ⅱ<br/> 【学修内容】 社会的養護の施設における記録及び自己評価を学ぶ。<br/> 【事前学修】 社会的養護の施設ではどのような記録や書類があるのか調べる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 配付資料とノートを整理し復習する。(0.5時間)</p> <p>第 9 回 社会的養護に関わる専門技術Ⅰ<br/> 【学修内容】 保育の専門性に関わる知識について理解する。<br/> 【事前学修】 社会的養護関連施設の保育の専門性について学ぶ。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 配付資料とノートを整理し復習する。(0.5時間)</p> <p>第 10 回 社会的養護に関わる専門技術Ⅱ<br/> 【学修内容】 保育の専門性に関わる技術とその実践について学ぶ。<br/> 【事前学修】 保育の専門性に関わる技術とその実践について学ぶ。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 配付資料とノートを整理し復習する。(0.5時間)</p> <p>第 11 回 社会的養護に関わる専門技術Ⅲ<br/> 【学修内容】 社会的養護に関わる相談援助の知識を学ぶ。<br/> 【事前学修】 社会的養護に関わる相談援助とはどのようなことなのか学ぶ。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 配付資料とノートを整理し復習する。(0.5時間)</p> <p>第 12 回 社会的養護に関わる専門技術Ⅳ<br/> 【学修内容】 社会的養護に関わる相談援助の技術とその実践を学ぶ。<br/> 【事前学修】 社会的養護に関わる相談援助とはどのようなことなのか学ぶ。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 配付資料とノートを整理し復習する。(0.5時間)</p> <p>第 13 回 今後の課題と展望Ⅰ<br/> 【学修内容】 社会的養護における家庭支援について学ぶ。<br/> 【事前学修】 家庭支援とはどういうことなのか事前学習する。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 配付資料とノートを整理し復習する。(0.5時間)</p> <p>第 14 回 今後の課題と展望Ⅱ<br/> 【学修内容】 社会的養護の課題と展望について学ぶ。<br/> 【事前学修】 現代の社会的養護の課題を自分の視点が考えてみる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 配付資料とノートを整理し復習する。(0.5時間)</p> <p>第 15 回 まとめ<br/> 【学修内容】 社会的養護Ⅱのまとめの授業。<br/> 【事前学修】 今までの配付資料に目を通しておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 配付資料とノートを整理し復習する。(0.5時間)</p> |
| 評 価 方 法   | 筆記試験（50%）、受講態度（30%）、提出物・小テスト（20%）   |
| 教 科 書     | 使用しない。  |
| 参 考 資 料 等 | 保育所保育指針（厚生労働省編、フレーベル館）<br>幼稚園教育要領（文部科学省編、フレーベル館）<br>幼保連携型認定こども園教育・保育要領（内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館）   |
| 備 考       | 実務経験のある教員：北海道内の福祉施設における社会福祉に関する実務経験を活かした授業を行う。  |



| 授 業 科 目 名    | 形態         | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員              |
|--------------|------------|----|----|-----|-----|----------|----------------------|
| 保育実習指導Ⅰ（保育所） | 演習         | 1  | 選択 | 必修  |     | 1年・通年    | 中村 章子・加藤 貴子<br>中越亜貴乃 |
| 科目コード        | HgZAA10304 |    |    |     |     |          | 担当形態：オムニバス           |

| 科目に含める必要事項 |  |
|------------|--|
|            |  |

|             |  |
|-------------|--|
| 受講する上での注意事項 | 将来、保育・福祉分野に就くことを念頭に置きながら、積極的かつ主体的に受講すること。実習と実習指導は連携した科目でなければならない。そのため、保育実習Ⅰと保育実習指導Ⅰのいずれかの単位が不認定の場合、両方の単位が不認定になる。 |
|-------------|--|

|             |  |
|-------------|--|
| 授 業 の 目的・概要 | <p>保育実習の意義・目的を理解する。実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。</p> <p>●1年前期～1年後期（15回）：1年次10月の保育実習Ⅰ（保育所）に向けての事前・事後指導を行う。</p> |
|-------------|--|

|      |  |
|------|--|
| 到達目標 | <p>① 保育実習の意義、目的、内容を理解する。<br/>② 保育実習の方法を理解する。<br/>③ 保育実習の心構えを学び、実習課題を明確化する。</p> |
|------|--|

|        |                        |
|--------|------------------------|
| 授業の進め方 | 講義・実技・提出物等を中心に授業を展開する。 |
|--------|------------------------|

|     |   |            |
|-----|---|------------|
| 第1回 | <p>実習全般に関するオリエンテーション<br/>【学修内容】 実習までの日程を理解する。実習に関わる事務的な書類と手続きがあることを知り、記述のポイントを学ぶ。（0.5時間）<br/>【事前学修】 教科書該当箇所を目を通しておく。（0.5時間）<br/>【事後学修】 配付された事務的な書類、資料を適切に整理保存をし、各書類の必要性と理解を深める。</p> | （担当：中村・加藤） |
| 第2回 | <p>保育実習の意義（実習の目的、実習の概要）<br/>【学修内容】 保育所実習の概要とその意義、目的について学ぶ。<br/>【事前学修】 教科書該当箇所を目を通しておく。（0.5時間）<br/>【事後学修】 授業内容の復習をする。（0.5時間）</p>   | （担当：中村・加藤） |
| 第3回 | <p>実習の内容と課題の明確化Ⅰ<br/>【学修内容】 保育所の1日<br/>【事前学修】 保育園の役割について調べる。（0.5時間）<br/>【事後学修】 授業内容を振り返り、まとめる。（0.5時間）</p>   | （担当：中越）    |
| 第4回 | <p>実習の内容と課題の明確化Ⅱ<br/>【学修内容】 発達区分<br/>【事前学修】 保育所保育指針（保育の内容）を目を通しておく。（0.5時間）<br/>【事後学修】 授業内容を振り返り、まとめる。（0.5時間）</p>  | （担当：中越）    |
| 第5回 | <p>実習の内容と課題の明確化Ⅲ<br/>【学修内容】 実習課題の意義と明確化<br/>【事前学修】 保育技術の課題に取り組む。（0.5時間）<br/>【事後学修】 実習日程における課題と目的について理解を深める。（0.5時間）</p>  | （担当：中村・加藤） |
| 第6回 | <p>実習の計画と記録<br/>【学修内容】 指導計画を立てることの必要性、意義を知り指導案の構造について学ぶ。<br/>【事前学修】 指導計画について参考資料をもとにイメージをしておく。（0.5時間）<br/>【事後学修】 配付された資料を参考に指導案を作成する。（0.5時間）</p>                                    |            |
| 第7回 | <p>実習における観察、記録及び評価<br/>【学修内容】 実習日誌の必要性、記述方法、文章記述の要点について学ぶ。<br/>【事前学修】 教科書、日誌の記述について目を通してイメージをしておく。（0.5時間）<br/>【事後学修】 実習日誌演習シートを完成させる。（0.5時間）</p>                                    | （担当：中村・加藤） |

|         |           |  |            |
|---------|-----------|--|------------|
| 授 業 計 画 | 第 8 回     | 実習に際しての留意事項<br>【学修内容】 実習に関わる事務的な書類と手続きを知り、記述について学ぶ。<br>【事前学修】 教科書該当箇所に目を通しておく。(0.5時間)<br>【事後学修】 授業内容の復習をする。(0.5時間)   | (担当：中村・加藤) |
|         | 第 9 回     | 実習生としての心構え<br>【学修内容】 実習生の心構えと求められる態度について学ぶ。<br>【事前学修】 教科書の該当箇所に目を通しておく。(0.5時間)<br>【事後学修】 授業内容を復習し、自身を振り返り課題に取り組む。(0.5時間)                                   | (担当：中村・加藤) |
|         | 第10 回     | 子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシー保護と守秘義務<br>【学修内容】 子どもの人権に配慮された保育、保育士に求められる守秘義務等について学ぶ。<br>【事前学修】 教科書の該当箇所に目を通しておく。(0.5時間)<br>【事後学修】 授業内容を振り返り、保育士の倫理についてまとめる。(0.5時間) | (担当：中村・加藤) |
|         | 第 11 回    | 事後指導における実習の総括と課題の明確化<br>【学修内容】 保育実習の内容について振り返りを行い、課題を明確にする。<br>【事前学修】 保育実習について、観点毎に振り返る。(0.5時間)<br>【事後学修】 課題から実習Ⅱに向けた取り組みについて考察する。(0.5時間)                  | (担当：中村・加藤) |
|         | 第12 回     | 実習の総括と自己評価<br>【学修内容】 保育実習の内容について振り返りを行い、報告書の作成について学ぶ。<br>【事前学修】 過年度の報告書に目を通しておく。(0.5時間)<br>【事後学修】 実習経験を振り返り、実習報告に向け内容をまとめる。(0.5時間)                         | (担当：中村・加藤) |
|         | 第13 回     | 実習の経験を生かす<br>【学修内容】 事例検討<br>【事前学修】 実習を振り返り、検討事例を整理する。(0.5時間)<br>【事後学修】 グループワークの内容についてまとめる。(0.5時間)  | (担当：中村・加藤) |
|         | 第14 回     | 課題の明確化<br>【学修内容】 保育実習Ⅰ(保育所)を振り返り、実習経験からの学びを整理する。<br>【事前学修】 報告内容を整理する。(0.5時間)<br>【事後学修】 他園の実習内容を理解しながら、実習のまなびを整理する。(0.5時間)                                  | (担当：中村・加藤) |
|         | 第15 回     | まとめ<br>【学修内容】 保育実習Ⅰ(保育所)を振り返る。交流会を通し、自己評価から保育実習Ⅱに向け課題を明確にする。<br>【事前学修】 保育実習Ⅰ(保育所)を振り返り実習Ⅱに向けた課題について整理する。(0.5時間)<br>【事後学修】 交流会で学んだ内容を振り返りまとめる。(0.5時間)       | (担当：中村・加藤) |
|         | 評 価 方 法   | 平素の受講態度・実技・実習等を総合評価する。<br>平常点(30%) 授業内提出物等(20%) 日誌・報告書提出等(50%)   |            |
|         | 教 科 書     | 事前・事後学習のポイントを理解! 保育所・施設・幼稚園実習ステップブック(山本美貴子・松山洋平編、みらい)  |            |
|         | 参 考 資 料 等 | 保育所保育指針(厚生労働省編、フレーベル館)<br>幼稚園教育要領(文部科学省編、フレーベル館)<br>幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館)  |            |
|         | 備 考       | 提出物の期限厳守。  |            |

| 授 業 科 目 名   | 形態         | 単位 | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期    | 担 当 教 員 |
|-------------|------------|----|----|-----|-----|-------------|---------|
| 保育実習指導Ⅰ（施設） | 演習         | 1  | 選択 | 必修  |     | 1年・後期/2年・前期 | 齊 藤 晋   |
| 科目コード       | HgAZB10402 |    |    |     |     |             | 担当形態：単独 |

| 科目に含める必要事項 |  |
|------------|--|
|            |  |

|             |  |
|-------------|--|
| 受講する上での注意事項 | 将来、保育・福祉分野に就くことを念頭に置きながら、積極的かつ主体的に受講すること。実習と実習指導は連携した科目でなければならない。そのため、保育実習Ⅰ（施設）と保育実習指導Ⅰ（施設）のいずれかの単位が不認定の場合、両方の単位が不認定となる。 |
|-------------|--|

|          |  |
|----------|--|
| 授業の目的・概要 | <p>保育実習を円滑に進めていくための知識・技術を修得し、学修内容、課題を明確化するとともに、事前・事後指導を通して、保育所及び施設の総合的な理解・対象児者の理解・保育者としての基礎力を高めていくことが目的である。</p> <p>●1年後期～2年前期（15回）：2年次5月又は7月の保育実習Ⅰ（施設）に向けての事前・事後指導を行う。</p> |
|----------|--|

|      |  |
|------|--|
| 到達目標 | <p>① 保育実習の意義、目的、内容を理解する。</p> <p>② 保育実習の心構えについて理解する。</p> <p>③ 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。</p> <p>④ 実習の事前事後指導を通して、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。</p> |
|------|--|

|        |                        |
|--------|------------------------|
| 授業の進め方 | 講義・実技・提出物等を中心に授業を展開する。 |
|--------|------------------------|

|        |                                       |
|--------|---------------------------------------|
| 第 1 回  | 施設実習の意義Ⅰ                              |
| 【学修内容】 | 保育所以外の児童福祉施設で実習することの意義を理解する。          |
| 【事前学修】 | 保育所以外の児童福祉施設の中で実習対象となる施設を理解する。(0.5時間) |
| 【事後学修】 | 授業で学んだ内容を復習し、配付資料とノートを整理しておく。(0.5時間)  |
| 第 2 回  | 施設実習の意義Ⅱ                              |
| 【学修内容】 | 保育所以外の児童福祉施設実習で何を学び体験するかを理解する。        |
| 【事前学修】 | 保育所以外の児童福祉施設実習で何を学びたいのか考える。(0.5時間)    |
| 【事後学修】 | 障がい系施設、養護系施設の選択を考える。(0.5時間)           |
| 第 3 回  | 実習の内容と課題の明確化Ⅰ                         |
| 【学修内容】 | 児童福祉施設の意義と子どもの権利を学ぶ。                  |
| 【事前学修】 | 保育所以外の児童福祉施設の機能を理解する。(0.5時間)          |
| 【事後学修】 | 障がい系施設、養護系施設の選択を考える。(0.5時間)           |
| 第 4 回  | 実習の内容と課題の明確化Ⅱ                         |
| 【学修内容】 | 児童福祉施設の役割・機能・課題を学ぶ。                   |
| 【事前学修】 | 児童福祉施設の役割・機能・課題を学ぶ。(0.5時間)            |
| 【事後学修】 | 授業で学んだ内容を復習し、配付資料とノートを整理しておく。(0.5時間)  |
| 第 5 回  | 実習の内容と課題の明確化Ⅲ                         |
| 【学修内容】 | 障がい系施設の対象・現状について理解する。                 |
| 【事前学修】 | 障がい系の施設の種類について学ぶ。(0.5時間)              |
| 【事後学修】 | 授業で学んだ内容を復習し、配付資料とノートを整理しておく。(0.5時間)  |
| 第 6 回  | 実習の内容と課題の明確化Ⅳ                         |
| 【学修内容】 | 障がい系施設における保育士の役割・課題を学ぶ。               |
| 【事前学修】 | 障がい系の施設での保育士としての役割を学ぶ。(0.5時間)         |
| 【事後学修】 | 授業で学んだ内容を復習し、配付資料とノートを整理しておく。(0.5時間)  |
| 第 7 回  | 実習の内容と課題の明確化Ⅴ                         |
| 【学修内容】 | 養護系施設の対象・現状を理解する。                     |
| 【事前学修】 | 児童養護施設、乳児院について理解する。(0.5時間)            |
| 【事後学修】 | 授業で学んだ内容を復習し、配付資料とノートを整理しておく。(0.5時間)  |

|                    |  |
|--------------------|--|
| 授 業 計 画            | <p>第 8 回 実習の内容と課題の明確化Ⅳ<br/> 【学修内容】 養護系施設における保育士の役割・課題<br/> 【事前学修】 自立支援施設、児童心理治療施設について事前学習する。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、配付資料とノートを整理しておく。(0.5時間)</p> <p>第 9 回 実習に際しての留意事項Ⅰ<br/> 【学修内容】 子どもの人権と最善の利益について学ぶ。<br/> 【事前学修】 子どもの権利条約について調べておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、配付資料とノートを整理しておく。(0.5時間)</p> <p>第 10 回 実習に際しての留意事項Ⅱ<br/> 【学修内容】 プライバシーの保護、守秘義務、個人情報保護について理解する。<br/> 【事前学修】 施設実習における個人情報保護とはどういう事なのか事前学習する。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、配付資料とノートを整理しておく。(0.5時間)</p> <p>第 11 回 実習における計画と記録Ⅰ<br/> 【学修内容】 実習の3段階計画を学ぶ。<br/> 【事前学修】 実習の3段階とはどういうことなのか事前学習する。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、配付資料とノートを整理しておく。(0.5時間)</p> <p>第 12 回 実習における計画と記録Ⅱ<br/> 【学修内容】 施設実習における観察・記録・評価について学ぶ。<br/> 【事前学修】 施設実習における観察・記録・評価について事前学習する。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、配付資料とノートを整理しておく。(0.5時間)</p> <p>第 13 回 事後指導における実習の総括と課題の明確化Ⅰ<br/> 【学修内容】 保育所以外の児童福祉施設実習の総括と自己評価をする。<br/> 【事前学修】 自己評価項目について事前に確認しておく。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、配付資料とノートを整理しておく。(0.5時間)</p> <p>第 14 回 事後指導における実習の総括と課題の明確化Ⅱ<br/> 【学修内容】 施設実習の振り返りをして、今後の自己課題を見つける。<br/> 【事前学修】 授業前に施設実習の振り返りをする。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、配付資料とノートを整理しておく。(0.5時間)</p> <p>第 15 回 事後指導における実習の総括と課題の明確化Ⅲ<br/> 【学修内容】 実習中の事例検討と今後の自己課題を整理する。<br/> 【事前学修】 授業前に自己課題を検索してみる。(0.5時間)<br/> 【事後学修】 授業で学んだ内容を復習し、配付資料とノートを整理しておく。(0.5時間)</p> |
| 評 価 方 法            | 平素の受講態度・実技・実習等を総合評価する。<br>平常点(30%) 提出物(20%) 報告書(50%)   |
| 教 科 書              | 使用しない。   |
| 参 考 書<br>参 考 資 料 等 | 保育所保育指針(厚生労働省編、フレーベル館)<br>幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館)  |
| 備 考                | 実務経験のある教員：北海道内の福祉施設における社会福祉に関する実務経験を活かした授業を行う。   |

| 授 業 科 目 名   | 形態  | 単位         | 卒業 | 保育士 | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員    |
|-------------|---|------------|----|-----|-----|----------|------------|
| 保育実習Ⅰ（保育所）  | 実習  | 2          | 選択 | 必修  |     | 1年・後期    | 保育科教員      |
| 科目コード       |   |            |    |     |     |          | HgAZC30403 |
|             |   | 科目に含める必要事項 |    |     |     |          |            |
| 受講する上での注意事項 | <p>保育士資格取得には、保育実習Ⅰ（4単位）と、保育実習Ⅱ（2単位）又は保育実習Ⅲ（2単位）のいずれかを修得しなければならない。実習と実習指導は連携した科目でなければならない。そのため、保育実習Ⅰと保育実習指導Ⅰのいずれかの単位が不認定の場合、両方の単位が不認定となる。</p> <p>実技（折り紙、ゲーム遊び、制作等）に関する参考書は、各自、参照し実習に備えること。</p>   |            |    |     |     |          |            |
| 授業の目的・概要    | <p>保育所の役割や機能を具体的に理解する。観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する。保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。</p> <p>保育所で日々営まれる保育活動に参加し、生活や遊びを通して、保育士としての基礎的な知識を定着させ、実践力を修得する。</p>   |            |    |     |     |          |            |
| 到達目標        | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 保育所の内容、機能等を現場での体験を通して理解する。</li> <li>② 既習の教科全体の知識・機能を基礎とし、これらを総合的に実践する力を養う。</li> <li>③ 保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体化について学ぶ。</li> </ol>  |            |    |     |     |          |            |
| 授業の進め方      | 「保育実習Ⅰ」は、保育所における2週間、保育所以外の施設における2週間の学外実習である。  |            |    |     |     |          |            |
| 時間外学修学修上の助言 | 保育士としての基礎的な知識を定着し能力を高められる重要な機会と捉え、真摯な態度で取り組むことが求められる。   |            |    |     |     |          |            |
| 授業計画        | <p>保育所実習</p> <p>保育所の役割と機能Ⅰ：保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり<br/>         保育所の役割と機能Ⅱ：保育所保育指針に基づく保育の展開<br/>         子どもの理解Ⅰ：子どもの観察とその記録による理解<br/>         子どもの理解Ⅱ：子どもの発達過程の理解<br/>         子どもの理解Ⅲ：子どもへの援助や関わり<br/>         保育内容・保育環境Ⅰ：保育の計画に基づく保育内容<br/>         保育内容・保育環境Ⅱ：子どもの発達過程に応じた保育内容<br/>         保育内容・保育環境Ⅲ：子どもの生活や遊びと保育環境<br/>         保育内容・保育環境Ⅳ：子どもの健康と安全<br/>         保育の計画・観察・記録Ⅰ：全体的な計画と指導計画及び評価の理解<br/>         保育の計画・観察・記録Ⅱ：記録に基づく省察・自己評価<br/>         専門職としての保育士の役割と職業倫理Ⅰ：保育士の業務内容<br/>         専門職としての保育士の役割と職業倫理Ⅱ：職員間の役割分担や連携・協働<br/>         専門職としての保育士の役割と職業倫理Ⅲ：保育士の役割と職業倫理<br/>         まとめ</p> <p>*実習1日につき<br/>         【事前学修】 実習施設の概要および実習内容等の基礎的な知識を予習する。（0.5時間）<br/>         【事後学修】 実習ノートを整理し、実習で学んだ知識・技術等を復習しておく。（0.5時間）</p> |            |    |     |     |          |            |
| 評価方法        | 各実習施設からの評価（100%）  |            |    |     |     |          |            |

|              |  |
|--------------|--|
| 教科書          | 使用しない。   |
| 参考書<br>参考資料等 | 保育所保育指針（厚生労働省編、フレーベル館）<br>幼保連携型認定こども園教育・保育要領（内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館）<br>事前・事後学習のポイントを理解！保育所・施設・幼稚園実習ステップブック（山本美貴子・松山洋平編著、みらい） |
| 備考           | 提出物の期限厳守。  |

| 授 業 科 目 名                           | 形態  | 単位   | 卒業 | 保育士  | 幼稚園 | 開設年次・開講期 | 担 当 教 員 |
|-------------------------------------|---|--|----|------|-----|----------|---------|
| <b>保育方法論</b>                        | 講義  | 2  | 選択 | 選択必修 | 必修  | 1年・後期    | 中 村 章 子 |
| 科目コード                               | HgaAA10324  |  |    |      |     |          | 担当形態：単独 |
| 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 |   | 科目に含める必要事項<br>教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）   |    |      |     |          |         |
| 受講する上での注意事項                         | 将来、教職・児童福祉分野に就くことを念頭に置きながら、積極的かつ主体的に受講すること。<br>保育士資格取得のためには、音楽Ⅱ、幼児造形Ⅱ、保育方法論、教育・保育相談、教育・保育社会学、児童文学、音楽総合表現、図画工作、保育実践研究から6単位以上を修得すること。   |  |    |      |     |          |         |
| 授業の目的・概要                            | 幼児期の特性を踏まえて子どもにとってふさわしい環境とは何かを考え、保育・教育方法の工夫と理解を深めていく。<br>① 子どもの内面及び発達理解と保育方法<br>② 保育・教育の展開、指導、援助、形態等の保育・教育方法<br>③ 子どもの興味、関心、意欲を引き出す環境づくり  |  |    |      |     |          |         |
| 到達目標                                | ① 教育の目的に適した指導技術を理解し、子どもの生活、遊びを見る目を養う。<br>② 子ども達に求められる資質・能力を育成するための指導計画案作成上の観点を理解する。<br>③ 保育方法の基本を理解し、情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付ける。   |  |    |      |     |          |         |
| 授業の進め方                              | 保育・教育の方法についての理解を深める。様々な子どもの問題に関心をもち、理解を深める。事例研究を行う。   |  |    |      |     |          |         |
|                                     | 第 1 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 2 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 3 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 4 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 5 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 6 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】<br>第 7 回<br>【学修内容】<br>【事前学修】<br>【事後学修】 | 保育・教育方法の基本とは何か<br>保育の方法とは何か理解を深める。シラバスに沿って授業の概要、主旨、評価方法の説明をする。<br>保育者の魅力について考察する。（2時間）<br>授業の内容を振り返り復習する。（2時間）<br>乳幼児の理解と保育方法<br>子どもの内面の理解と保育について理解を深める。<br>事例に目を通しておく。（2時間）<br>事例から検討した事項についてレポートをまとめる。（2時間）<br>乳幼児の理解と保育方法<br>子どもの発達の理解と保育について理解を深める。<br>子どもの発達について考察する。（2時間）<br>事例から検討した事項についてレポートをまとめる（2時間）<br>環境による保育とは<br>子どもにとって環境の持つ意味、環境の構成について理解を深める。<br>子どもにとって望ましい環境とは何か考察する。（2時間）<br>グループワークの内容をまとめる。（2時間）<br>遊びによる総合指導とは<br>遊びとは何か、遊びの本質について理解を深める。<br>子どもが楽しいと思う遊びは何かを考察する。（2時間）<br>授業内容を復習（2時間）<br>遊びによる総合指導とは<br>遊びの展開と、展開への配慮等、遊びを通しての総合的な指導について理解を深める。<br>幼稚園教育要領、領域箇所を熟読する。（2時間）<br>授業内容を振り返りレポートをまとめる。（2時間）<br>保育における個と集団とは<br>集団の育ち、個の育ち、一人ひとりを大切にする保育について理解を深める。<br>望ましい集団について考察する。（2時間）<br>事例から検討した事項についてレポートをまとめる。（2時間） |    |      |     |          |         |

|                    |   |
|--------------------|---|
| 授 業 計 画            | <p>第 8 回 子どもにふさわしい園生活と保育者のかかわり<br/> 【学修内容】 多様な保育形態から、幼児にふさわしい生活について理解を深める。<br/> 【事前学修】 実習園の保育形態と子どもの生活について考察する。(2時間)<br/> 【事後学修】 事例から検討した事項についてレポートをまとめる。(2時間)</p> <p>第 9 回 発達の時期に応じた保育・教育のあり方<br/> 【学修内容】 入園から卒園までの保育について理解を深める。<br/> 【事前学修】 事例に目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 事例から検討した事項についてレポートをまとめる。(2時間)</p> <p>第10 回 発達の時期に応じた保育・教育のあり方<br/> 【学修内容】 仲間と協力して生活する時期・卒園を前にした時期について理解を深める。<br/> 【事前学修】 事例に目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 事例から検討した事項についてレポートをまとめる。(2時間)</p> <p>第 11 回 保育の計画と実践<br/> 【学修内容】 保育の計画について事例から理解を深める。<br/> 【事前学修】 様々な幼稚園・保育所における週案、月案等を調べ違いに気付く。(2時間)<br/> 【事後学修】 グループディスカッションの内容をまとめる。(2時間)</p> <p>第12 回 行事を生かした保育・教育の展開<br/> 【学修内容】 行事の意味、保育に生かされる行事について理解を深める。<br/> 【事前学修】 事例に目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 事例から検討した事項についてレポートをまとめる。(2時間)</p> <p>第13 回 保育指導計画と保育指導案について<br/> 【学修内容】 指導計画とは何か実習の振り返りから考察し理解を深める。<br/> 【事前学修】 指導案作成のための資料を準備する。(2時間)<br/> 【事後学修】 授業内容を振り返り復習をする。(2時間)</p> <p>第14 回 情報機器を活用した保育者の成長と保育実践の深まり<br/> 【学修内容】 情報機器を利用した発達、記録について学ぶ。<br/> 【事前学修】 幼稚園・保育園における情報機器の使用について資料を収集する。(2時間)<br/> 【事後学修】 グループワークの内容をまとめる。(2時間)</p> <p>第15 回 講義のまとめ<br/> 【学修内容】 保育者の成長と保育実践の深まりについて学ぶ。<br/> 【事前学修】 事例に目を通しておく。(2時間)<br/> 【事後学修】 保育者の成長についてレポートをまとめる。(2時間)</p> |
| 評 価 方 法            | 筆記試験(70%) 平常点(30%) 授業態度等を加味する(提出物等)   |
| 教 科 書              | 保育所保育指針(厚生労働省編、フレーベル館)<br>幼稚園教育要領(文部科学省編、フレーベル館)<br>幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館)   |
| 参 考 書<br>参 考 資 料 等 | 適宜紹介する。   |
| 備 考                | 実務経験のある教員：札幌市内の保育所における保育方法に関する実務経験を活かした授業を行う。   |